ルトキハ期間ヲ限リ事業經營ノ停止ヲ命シ又ハ事業經營ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ法人又ハ團體ニ在リテハ理事其ノ他ノ代表者カ第一號又ハ第二號ニ該當スル場合亦同シ

一　船員職業紹介ニ關スル法令ノ規定又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

二　事業ノ經營上不正ノ所爲アリト認ムルトキ

三　許可ヲ受ケタル後三月内ニ事業ヲ開始セス又ハ引續キ三月以上事業ヲ休止シタルトキ

第七條　船員職業紹介事業ヲ行フ者事業所ノ所在地若ハ設備ヲ變更シ又ハ事業所ヲ增設セムトスルトキハ豫メ事業所ノ所在地又ハ事業所ヲ增設セムトスル地ヲ管轄スル遞信局長ノ認可ヲ受クヘシ

第八條　船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ遲滯ナク事業所毎ニ其ノ從業者ノ氏名、住所及履歷ヲ記載シタル書面ヲ所轄遞信局長ニ提出スヘシ

第八條ノ二　船員職業紹介從業者事業所外ニ於テ業務ニ從事スルトキハ船員職業紹介從業者證票ヲ携帶シ當該官吏又ハ利害關係者ノ請求アルトキハ之ヲ提示スヘシ

船員職業紹介從業者證票ハ第一號書式ニ依ル

第八條ノ三　船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ所轄遞信局長ニ船員職業紹介從業者證票ノ交付ヲ申請スヘシ

第八條ノ四　船員職業紹介事業ヲ行フ者船員職業紹介從業者證票ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ其ノ書換ヲ要スルトキハ遲滯ナク所轄遞信局長ニ届出テ其ノ再交付ヲ申請スヘシ

船員職業紹介事業ヲ行フ者廢業、死亡又ハ法人ニシテ解散シタルトキハ遲滯ナク船員職業紹介從業者證票ヲ所轄遞信局長ニ返還スヘシ

船員職業紹介從業者證票ヲ滅失シタルトキ又ハ之ヲ返還スヘキ場合ニ於テ返還セサルトキハ其ノ無效ナルコトヲ官報ニ公告ス

第九條　遞信局長ハ船員職業紹介事業ノ經營ニ關シ不適當ト認ムルトキハ船員職業紹介事業ヲ行フ者ニ對シ從業者ノ解任ヲ命シ又ハ設備ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第十條　船員職業紹介事業ヲ行フ者第四條第一項第四號ノ諸規程ヲ變更セムトスルトキハ所轄遞信局長ヲ經由シ豫メ遞信大臣ノ認可ヲ受クヘシ

船員職業紹介事業ヲ行フ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ本人（第三號ノ場合ニハ其ノ家族又ハ戸主、第四條ノ場合ニハ其ノ清算人）ヨリ遲滯ナク所轄遞信局長ヲ經由シ遞信大臣ニ届出ツヘシ

一　第四條第一項第一號ニ掲クル事項、定款、約款又ハ理事其ノ他ノ代表者、其ノ氏名、本籍、住所ニ變更ヲ生シタルトキ

二　廢業シタルトキ

三　死亡シタルトキ

四　法人解散シタルトキ

第十一條　左ノ各號ノ場合ニ於テハ船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ遲滯ナク所轄遞信局長ニ届出ツヘシ

一　一月以上引續キ休業セムトスルトキ

二　從業者死亡シタルトキ又ハ之ヲ解任シタルトキ

第十二條　船員職業紹介事業ヲ行フ者外國船舶ニ對シ船員ノ職業紹介ヲ爲シタル場合ニ於テ就職者日本人ナルトキハ當該船舶所有者又ハ船長ヲシテ左ノ事項ヲ記載シタル書面二通ヲ作成セシメ乘船前ニ一通ハ之ヲ就職者ニ交付シ一通ハ之ヲ所轄遞信局長ニ差出スヘシ

一　船種、船名及總噸數

二　船籍港及就職期間中航行區域

三　船舶所有者及船長ノ氏名又ハ名稱竝國籍

四　就業者ノ氏名、年齡、本籍及住所

五　就職者ノ職務、給料及手當ノ額竝食料ニ關スル取極

六　乘船地、乘船年月日及就職期間

七　契約ノ解除及終了ノ原因竝此等ノ場合ニ於ケル當事者間ノ權利及義務

八　乘船地以外ノ地ニ於テ下船スル場合ノ送還ニ關スル取極

九　其ノ他契約ノ内容ヲ明ニシ得ヘキ事項

就職者未成年者ナルトキハ法定代理人ノ就職許可書ヲ徵シ之ヲ遞信局長ニ差出スヘキ前項ノ書面ニ添附スヘシ

第一項ノ書面外國語ヲ以テ作成セラレタルトキハ日本語ノ譯文ヲ附スヘシ

第十二條ノ二　船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ其ノ事業所ノ名稱中ニ船員職業紹介所ナル文字ヲ用フルコトヲ得ス

第十三條　船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス事實ヲ虚構シテ船員タルヘキコトヲ勸誘シ又ハ勸誘セシムルコトヲ得ス

第十四條　船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ船員ノ下船又ハ雇傭契約ノ廢棄ヲ勸誘シ又ハ勸誘セシムルコトヲ得ス

第十五條 船員職業紹介事業ヲ行フ者及其ノ從業者ハ求人者又ハ求職者ト金品ノ授受貸借ヲ爲シ、求人者又ハ求職者ニ代リ金品ヲ授受シ又ハ求職者ノ所持スル物品ヲ買受ケ、擔保トシテ受取リ若ハ質入賣却ノ周旋ヲ爲スヘカラス但シ豫メ所轄遞信局長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 船員職業紹介事業ヲ行フ者及其ノ從業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル業務ヲ爲スコトヲ得ス但シ豫メ其ノ業務ヲ行ハムトスル地ヲ管轄スル遞信局長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 兩替
二 質屋
三 酒類販賣
四 日用品ノ販賣
五 飲食店、宿泊所其ノ他類似ノ業務

船員職業紹介事業ヲ行フ者及其ノ從業者ハ前項各號ノ業務ヲ爲ス者ト通謀シテ利ヲ圖ルコトヲ得ス

第十七條 船員職業紹介事業ニ從事スル者ハ故ナク其ノ業務上取扱ヒタルコトニ付知得タル人ノ秘密ヲ漏泄スルコトヲ得ス

第十八條 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ正當ノ事由ナクシテ紹介ノ申込ヲ拒ムコトヲ得ス

第十九條 削除

第二十條 削除

第二十一條 求職ノ申込ハ申込ノ日ヨリ起算シ遞信局長ノ公示スル期間ヲ經過シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ期間ハ申込者ニ於テ之ヲ更新スルコトヲ得

船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ求職申込ノ有效期間滿了前ニ於テ申込者ニ對シ期間更新ノ意思ヲ確ムルニ付適當ノ措置ヲ執ルヘシ

第二十二條 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ求人票及求職票ヲ備ヘ取扱ノ都度遲滯ナク之カ記入ヲ爲スヘシ

求人票及就職ノ契約成立シタル者ノ求職票ハ最後記入ノ日ヨリ二年間之ヲ保存スヘシ

求人票及求職票ハ第二號書式ニ依ル

第二十三條 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ每月紹介成立シタルモノニ在リテハ其ノ求職票ノ寫ヲ、紹介成立セサルモノニ在リテハ第三號書式ノ報告書ヲ事業所每ニ取纏メ翌月五日迄ニ所轄遞信局長ニ提出スヘシ

第三章 罰則

第二十四條乃至第三十條 削除

第四章 罰則

第三十一條 船員職業紹介事業ヲ行フ者又ハ其ノ從業者正當ノ事由ナクシテ紹介ノ申込ヲ拒ミタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

第 號

經營者氏名
事業所所在地
從業者氏名

船員職業紹介從業者證票

遞信局印

縱 9.1糎　橫 6.4糎

備考

第二號書式ノ一

紹介所名　求人票　自　年　月　日
至　年　月　日

申込

月/日	求人番號	求人者名	船種船名	職名	給料	備考

處理

月/日	求職番號	就職者名	備考

備考

1 紙質强靱ナルモノ
2 縱 26糎　横 38糎

第二號書式ノ二（表）

求職票	求職番號	第　號			
氏名			年　月　日生		
現住所					
本籍					
免狀又ハ證書ノ種類		前雇主氏名（名稱）			
船員手帖番號	第　號	前職			
教育程度		前給料及手當	給料	手當	
經驗技能	年　ケ月	最後下船又ハ離職年月日及原因			
扶養家族數	配偶者有無	其ノ他人	他ノ紹介所ニ申込ミタルトキハ其ノ紹介所名		
希望條件	職務	給料	船舶ノ用途	航路	其ノ他
申込年月日	年　月　日		紹介所名及取扱者印		
就職顚末					
求人者名		求人番號	第　號		
船種船名航路	船丸	總噸數船舶用途	噸		
職務		雇入期間			
給料及手當	給料	手當	食料	金給品給	
就職年月日	年　月　日	乘船地			
備考					

備考 1. 紙質强靱ナルモノ
2. 縱 22糎　横 15糎

（裏）

求職申込年月日	年　月　日		
更新ノ意思ヲ確メタル年月日	右回答アリタル年月日	更新ノ意思ヲ確メタル年月日	右回答アリタル年月日
年月日	年月日	年月日	年月日
年月日	年月日	年月日	年月日
記事			

求職票記載心得

一、求職者女子ナルトキハ氏名欄ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ

二、免狀又ハ證書ノ種類欄ニハ求職者ノ受有スル海技免狀ノ種類、水夫適任證書又ハ救命艇手適任證書等ノ別ヲ記入スヘシ

三、前雇主氏名(名稱)欄及前職欄ニハ其ノ海上勤務タルト否トニ拘ラス求職直前ノ雇主及職業又ハ職務ニ付記入スヘシ

求職直前船員タリシ者ニ付テハ例ヘハ淺間丸水夫ノ如ク前職欄ニ乘船名ヲ併記スルヲ妨ケス

四、船員手帖番號欄ニハ例ヘハ東京第一號ノ如ク手帖交付廳ノ所在地名ヲ冠附スヘシ

五、教育程度欄ニハ小學校卒、同中途退學、高等小學校卒、同中途退學、中等學校卒、同中途退學、專門學校以上卒、同中途退學等ノ例ニ依リ記入スヘシ

六、經驗技能欄ニハ海上實歷何年、水夫何年等、其ノ他ノ特殊經驗技能者ニ付テハ機關工場油差何年等ト記入スヘシ

七、最後ノ下船又ハ離職年月日及原因欄ニハ海上勤務タルト否トニ拘ラス最後ノ職ヲ離レタル年月日及其ノ原因ヲ記入スヘシ但シ前職船員ニシテ下船後一定ノ職業又ハ職務ヲ有セシ者ニ付テハ下船及離職年月日ヲ併記スルハ妨ケナキモ此ノ場合ハ前職欄モ同樣併記スルコト

八、船舶ノ用途欄ニハ旅客船、貨客船、貨物船、漁船等ノ區別ニ依リ記入スヘシ

九、航路欄ニハ實際航路、航行區域又ハ從業制限ヲ記入スヘシ

十、帆船乘組ヲ希望スル者ニ付テハ希望條件中其ノ他ノ欄ニ記入スヘシ

十一、食料欄ニハ金額ノ外金給又ハ品給ノ別ヲ記入スヘシ

十二、就職年月日欄ニハ紹介所ニ於テ紹介成立シタル年月日ヲ記入スヘシ

十三、備考欄ニハ紹介手數料幾何、金品ノ授受ヲ爲シタルトキ例ヘハ紹介所ニ於テ金錢ノ立替ヲ爲シタルトキハ其ノ金額、使途及年月日、償還シタルトキハ其ノ金額及年月日ヲ記入シ授受關係ヲ明カナラシムルコト、其ノ他紹介申込ノ取消、失效アリタルトキハ其ノ旨及年月日ヲ朱書スル等必要事項ヲ適宜記入スヘシ

十四、各欄中該當事項ナキトキハ斜線ヲ施シ不明ナルトキハ不明ト記入スヘシ

第三號書式ノ一（用紙美濃判）

求人未濟者報告書

紹介所名　　年　　月分

職務別	員數	求人者名	職務別	員數	求人者名
計					

備考

一、本表ハ月末現在ニ依リ作成スヘシ

二、職務別欄ニハ甲板部ニ在リテハ船長、一等運轉士及各等運轉士、航海實習生、水夫長、大工、舵夫、甲板倉庫番水夫、水夫見習、漁撈長、漁業監督、漁夫長、漁夫、砲手並砲手見習等、機關部ニ在リテハ機關長、一等機關士及各等機關士、機關實習生、火夫長、油差、機關倉庫番、副汽罐番、火夫、火夫見習、石炭夫、石炭夫見習、電氣技士、電工、旋盤工並冷藏機關士等、事務部ニ在リテハ事務長、買辨、事務員、貨物掛、船醫、看護人、首席無線電信技士、次席無線電信技士、無線電信聽守員、司厨長、司厨、料理人、料理人見習、ベーカー、ベーカー見習、炊夫、炊夫見習、給仕、給仕見習、洗濯人、理髮人並電話交換手等ノ職務ノ順序ニ從ヒ記入スヘシ但シ勤務ノ内容同一ナルモノハ可成同一職名ノ下ニ一括シテ記入スヘシ

三、取消數ハ其ノ合計ヲ欄外ニ附記スヘシ

第三號書式ノ二（用紙美濃判）

就職未濟者報告書

紹介所名　　年　　月日

希望職務別		汽船			帆船			計		
		遠洋	近海	沿海	遠洋	近海	沿海	遠洋	近海	沿海
合計										

希望職務別		汽船			帆船			計		
		遠洋	近海	沿海	遠洋	近海	沿海	遠洋	近海	沿海
合計										

備考

一、本表ハ月末現在ニ依リ作成スヘシ

二、職務別欄ニハ求人未濟者報告書備考ノ記載方ニ依ルヘシ

三、取消及失效數ハ其ノ合計ヲ欄外ニ附記スヘシ

船員職業紹介業務規則

（昭和十五年十月遞信省令第五十二號）

第一條　船員職業紹介法第三條第一項ノ規定ニ依リ政府ノ行フ船員職業紹介ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　求人ノ申込ハ求人者ノ事務所所在地又ハ船舶入港地ノ最寄船員職業紹介所ニ之ヲ爲スヘシ

第三條　求人ノ申込ハ本人又ハ其ノ代理人出頭シ左ノ事項ヲ具シ之ヲ爲スヘシ但シ出頭シ難キ場合又ハ急ヲ要スル場合ニハ書面又ハ電話ヲ以テ申込ムコトヲ得

一　求人者ノ氏名又ハ名稱及事務所所在地
二　雇傭セントスル船員ノ乘組船舶（船舶ノ種類、名稱、總噸數、用途、航行區域等）又ハ勤務地
三　雇傭セントスル船員ノ職務、員數、資格、年齡、技能經驗ノ要否及學歷
四　給料手當其ノ他ノ待遇
五　雇傭期間
六　採用地
七　採用方法（銓衡方法、銓衡旅費支給ノ有無等）
八　紹介期限
九　其ノ他求人ニ付參考ト爲ルヘキ事項

第四條　求職ノ申込ハ本人自ラ出頭シ左ノ事項ヲ具シ船員職業紹介所ニ之ヲ爲スヘシ但シ已ムコトヲ得サル事由ニ因リ出頭シ難キ場合ニハ書面ヲ以テ申込ムコトヲ得

一　求職者ノ氏名及年齡
二　求職者ノ現住所及本籍地
三　學歷、經歷及技能經驗
四　就職先、職務、給料手當其ノ他希望事項
五　其ノ他求職ニ付參考ト爲ルヘキ事項

前項ノ場合ニ於テ船員手帳ヲ受有スル者ハ之ヲ提出スヘシ

二以上ノ船員職業紹介所ニ求職ノ申込ヲ爲ス場合ニハ申込ニ際シ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第五條　求職ノ申込ハ之ヲ受理シタル日ヨリ翌翌月末日迄ノ間之ヲ有效トス

第六條　求職ノ申込ヲ爲シタル者ハ前條ノ有效期間滿了前ニ期間ノ更新ヲ爲スコトヲ得

第七條　船員職業紹介所ハ求人者又ハ求職者ニ對シ出頭ヲ求メ又ハ必要ナル書類ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第八條　求人者又ハ求職者紹介ヲ受クル必要ナキニ至リタルトキ又ハ求人若ハ求職ノ申込ノ內容ヲ變更セントスルトキハ直ニ取消ノ旨又ハ變更ノ內容ヲ船員職業紹介所ニ屆出ツヘシ

第九條　船員職業紹介所紹介ヲ爲サントスルトキハ求職者ニ紹介狀ヲ交付ス

求職者紹介狀ノ交付ヲ受ケタルトキハ紹介セラレタル求人者ニ之ヲ提示スヘシ

第十條　求人者求職者ノ採否決定ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ顚末ヲ船員職業紹介所ニ報告スヘシ

第十一條　船員職業紹介所必要アリト認ムルトキハ求人者又ハ求職者ニ對シ求人申込ノ員數、紹介期限、希望就職先其ノ他ノ事項ニ付變更ヲ求ムルコトアルヘシ

第十二條　求人又ハ求職ノ申込ハ其ノ內容法令ニ違反スルトキ若ハ著シク不適當ト認メラルルトキ又ハ前條ノ變更ノ要求ニ應セサルトキハ之ヲ受理セサルモノトス

求人又ハ求職ノ申込ヲ受理シタル後ト雖モ前項ノ場合ニ該當スルニ至リタルトキハ之カ受理ヲ取消スコトアルヘシ

第十三條　求人者又ハ求職者本令ノ規定ニ違反シ又ハ正當ノ事由ナクシテ船員職業紹介所ノ指示ニ從ハサルトキハ其ノ紹介ヲ拒ムコトアルヘシ

第十四條　船員職業紹介所ハ紹介ヲ受ケタル求人者ニ對シ紹介シタル船員ニ關シ必要ナル報告ヲ求ムルコトアルヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員職業紹介法取扱心得

（大正十一年十一月公達第千二百八十一號）
改正　昭和十五年十月公達第千四十六號

第一條　遞信局ハ船員需要供給ノ狀況其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ調査シ臨時遞信省ニ報告スヘシ

第二條　遞信局ハ求人及求職ノ調節其ノ他事業ノ聯絡統一ニ關シ臨機必要ナル措置ヲ講スヘシ此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク遞信省ニ報告スヘシ

第三條　求人者又ハ求職者ノ特別依頼ニ依リ支出シタル費

用ニシテ償還ヲ求ムヘキモノハ船員職業紹介ニ關スル諸規程中ニ之ヲ記載セシムヘシ

前項ノ費用ハ通常紹介ノ爲ニ要スル費用又ハ手數料其ノ他報酬ト認ムヘカラサルモノニ限ルモノトス

第四條　削除

第五條　遞信局船員職業紹介法施行規則（以下單ニ規則ト稱ス）第四條ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ許可申請者（法人其ノ他ノ團體ナル場合ニ在リテハ理事其ノ他ノ代表者）ニ付左ノ事項ヲ取調ヘ許否ノ意見ヲ附シ遞信省ニ進達スヘシ

一　規則第五條第一項各號ノ一ニ該當スル者ニ非サルヤ否

二　素行、資產狀態、信用ノ程度其ノ他參考トナルヘキ事項

民法第三十四條ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ得テ設立シタル法人ニ在リテハ規則第四條第二項ノ規定ニ依ル書面ノ添附ヲ免除シ且前項ノ取調ヲ爲スコトヲ要セス

第六條　事業所ノ設備ハ左ノ各號ニ依ラシムヘシ

一　事業所ハ成ルヘク專用ノ場屋ニ之ヲ設ケシメ若他ノ場屋ノ一部ヲ以テ之ニ充ツルトキハ區劃ヲ施サシムルコト

二　事業所ニハ必要アリト認ムルトキハ待合室ヲ設ケシムルコト

三　事業所ニハ見易キ場所ニ看板ヲ揭ケ之ニ無料ナル旨ヲ明記セシムルコト

四　船員職業紹介ニ關スル法令、諸規程類ヲ見易キ場所ニ揭ケ又ハ備付シムルコト

第七條　遞信局規則第五條第二項又ハ第六條ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シ又ハ事業ノ經營ヲ停止スヘキ必要アリト認メタルトキハ遲滯ナク事實ヲ具シ遞信省ニ進達スヘシ

第八條　遞信局長事業所ノ增設又ハ所在地若ハ設備ノ變更ヲ認可シ又ハ設備ノ改善ヲ命シタルトキハ其ノ事項ヲ遞信省ニ報告スヘシ

第八條ノ二　規則第八條ノ三ニ依リ紹介從業者證票ノ交付ノ申請アリタルトキハ遞信局ハ當該事業所ノ紹介事務ノ實情ヲ考慮シ必要ト認ムル枚數ノ證票ヲ交付スヘシ

第八條ノ三　規則第八條ノ四第一項ニ依リ紹介從業者證票ノ再交付ヲ爲ス場合ニハ新證票ノ番號ハ原證票ノ番號ニ依リ何號ノ二何號ノ三等ト爲スヘシ

第八條ノ四　紹介從業者證票滅失ノ屆出アリタルトキ又ハ其ノ滅失アリタルコトヲ知リタルトキハ遞信局ハ遲滯ナク左ノ各號ノ事項ヲ遞信省ニ報告スヘシ

一　當該證票ノ番號、事業所名及交付年月日

二　滅失ノ年月日及場所

三　滅失ノ事由

紹介從業者證票ヲ返還スヘキ場合ニ於テ之ヲ返還セサルトキハ遞信局ハ遲滯ナク前項第一號ノ事項ヲ遞信省ニ報告スヘシ

第九條　遞信局長從業者ノ解任ヲ命シタルトキハ事實ヲ具シ遞信省ニ報告スヘシ

第十條　遞信局規則第十條第一項ノ認可申請書ヲ受理シタルトキハ意見ヲ附シ遞信省ニ進達スヘシ

第十一條　規則第十條第二項第二號及第四號竝規則第十一條ノ屆出（從業者死亡シタル場合ヲ除ク）ニハ其ノ事由ヲ記載セシムヘシ

第十二條　規則第十二條ノ規定ハ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ船籍港ヲ有スル船舶ニハ之ヲ適用セサルモノトス

規則第十二條第二項ノ就職許可書ハ外國船舶ニ就職スルコトヲ許可シタル旨ヲ明ニシ得ルモノナルコトヲ要ス

遞信局規則第十二條ノ書面ヲ受理シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ就職者ヲ呼出シ契約ノ內容ヲ讀聞カセタル上異議ナキヤ否ヲ確ムヘシ

第十三條　規則第十五條ニ依リ許可ヲ受ケムトスル場合ニハ左ノ事項及其ノ事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ提出セシムヘシ

一　授受又ハ貸借セムトスル金額、物品、其ノ見積價額、返濟方法、利子又ハ使用料

二　買入又ハ賣却セムトスル物品及其ノ價格

三　擔保物品又ハ質入物品、其ノ見積價格、受戻方法

遞信局前項ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ事情ヲ調查シ許可ヲ受クヘキ事項カ當事者ノ自由意志ニ出テ且又一方ノ損失ニ於テ不正又ハ不當ノ利益ヲ受クルコトナキヤ否ヲ調查シタル上許否ヲ決定スヘシ

遞信局公益法人其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ特定ノ事項ヲ限リ豫メ包括的許可ヲ與ヘムトスル場合ニハ意見ヲ具シ遞信大臣ニ經伺スヘシ

第十四條　規則第十六條ニ依リ許可ヲ受ケムトスル場合ニハ業務ノ種類、營業所所在地等ヲ記載シタル許可申請書ヲ提出セシムヘシ

遞信局長前項ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ弊害ナキ

ヤ否ヲ調査シ許否ノ意見ヲ具シ遞信大臣ニ經伺スヘシ

許可ノ指令書ニハ何時ニテモ許可ヲ取消スコトアルヘキ旨ヲ附記スヘシ

第十五條 紹介ノ申込ヲ拒ムヘキ事由ハ成ルヘク船員職業紹介ニ關スル諸規程中ニ之ヲ記載セシムヘシ

第十六條 紹介ノ申込ヲ爲シタル者他ノ事業所ニモ申込ミタル旨申出テタルトキハ該事業所ヲシテ其ノ者ノ氏名ヲ他ノ關係事業所ニ通知セシムヘシ

二箇以上ノ事業所ニ紹介ノ申込ヲ爲シタル者ニ付就職ノ契約ヲ成立セシメタルトキハ該事業所ヲシテ其ノ旨他ノ關係事業所ニ通知セシムヘシ

第十七條 求人票及求職票ハ船員ニ對スル施設ノ基礎タル勞働統計ノ重要ナル材料ナルヲ以テ之カ記入ノ正確ヲ期セシムヘシ

第十八條 遞信局ハ求職票ノ寫ニシテ就職契約成立シタル分ハ月別ニ取纏メ二年間之ヲ保存スヘシ

第十八條ノ二 削除

第十九條 遞信局ハ別表書式ニ依リ各事業所取扱數ヲ集計シテ左ノ表ヲ作成シ一月毎ニ取纏メ遲滯ナク遞信省ニ之ヲ送付スヘシ

一 就職者航路別統計表
二 求人未濟者統計表
三 就職未濟者統計表

附 則

本公達ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

（用紙美濃判）

（別表）一 就職者航路別統計表

事業所名　　年　　月分

職務別	就職成立數			
	遠洋	近海	沿海	計
合計				

備考

一、帆船々員ニ付テハ就職成立數各欄ニ其ノ員數ヲ朱書スヘシ

船員職業紹介法取扱心得

二、漁船ニ在リテハ從業制限第一種ニ屬スルモノハ沿海、第二種乙及第三種乙ニ屬スルモノハ近海、又第二種甲及第三種甲ニ屬スルモノハ遠洋ノ欄ニ包括シテ之ヲ記入スヘシ

二　求人未濟者統計表

三　就職未濟者統計表

備考　二及三ノ書式ハ船員職業紹介法施行規則第二十三條第三號書式ノ一及二ニ同シ

船員職業紹介業務取扱規程

（昭和十五年十月遞信省公達第千四十八號）

改正　昭和十五年十月遞信省公達第千九十號

第一章　總則

第一條　船員職業紹介所ニ於ケル職業紹介事務ノ取扱手續ハ本規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ

遞信局長ハ事務ノ狀況ニ依リ本規程ニ依ルヲ不便ト認ムルトキハ遞信大臣ノ承認ヲ經テ別段ノ取扱方ヲ定ムルコトヲ得

船員職業紹介所ハ遞信局長ニ於テ別段ノ取扱方ヲ定メタルトキハ其ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條　船員職業紹介所ハ其ノ執務時間外、休日又ハ休暇日ト雖モ當該所長ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ事務ヲ取扱フヘシ

第三條　船員職業紹介所ノ業務ニ從事スル者ハ懇切ヲ旨トシ公正且迅速ナル取扱ヲ爲シ職務上知得セル他人ノ身分又ハ秘密ヲ故ナク他ニ漏洩スヘカラス

第四條　船員職業紹介所ニハ業務日誌ヲ備ヘ所員ノ服務狀況、職務上ノ重大ナル事項其ノ他必要ト認メラルル事項ヲ記載スヘシ

第五條　船員職業紹介所ニ第一號樣式ノ求人者原票ヲ備ヘ常時之ヲ現狀ニ即應セシムヘシ

第六條　船員職業紹介所中別表ニ定ムルモノヲ聯絡船員職業紹介所トス

第二章　求人申込ノ處理

第七條　求人ノ申込ヲ受理シタルトキハ直ニ第二號樣式ノ求人票ニ登錄スヘシ

第八條　求人者ハ雇傭主又ハ其ノ人事擔當責任者ニ限ルヘシ但シ船舶ヨリノ求人申込ニ在リテハ船長ナルモ妨ケス

第九條　求人者ノ代理人カ求人ノ申込ヲ爲ス場合ニ於テハ求人者トノ關係ヲ充分確ムヘシ

第十條　求人ノ申込ヲ受理シタル場合ニ於テ處理困難ナルトキハ直ニ聯絡船員職業紹介所ニ通報シ指揮ヲ受クヘシ

求人ノ通報ニ際シテハ成ルヘク求人者ニ面接シタル上申込內容ヲ明ラカニシ特ニ必要ト認ムルトキハ採用條件、給衡方法、採用者ノ赴任方法、求職者アリタル場合ノ措置其ノ他紹介ニ付必要ナル事項ヲ明ラカニシタル求人要綱ヲ作成スヘシ

第十一條　前條ノ通報ヲ爲シタル船員職業紹介所ハ當該求人ニ付テハ求人票ニ登錄スヘカラス

第十二條　聯絡船員職業紹介所第十條ノ通報ヲ受ケタルトキハ管內各船員職業紹介所ニ於ケル職業紹介狀況ニ照シ管內船員職業紹介所ニ通報ヲ受ケタル求人員數ヲ割當聯絡スヘシ

前項ノ割當聯絡ハ第四號樣式ノ割當聯絡票ニ依ルヘシ

聯絡船員職業紹介所ニ前項ニ準シ通知スヘシ

第三章　求職申込ノ處理

旨通知スヘシ

第十三條　聯絡船員職業紹介所前項ノ割當聯絡困難ナルトキハ他ノ適當ナル船員職業紹介所ニ聯絡スヘシ

前項ノ聯絡ハ第五號樣式ノ聯絡票ニ依ルヘシ

第十四條　聯絡船員職業紹介所前條ノ聯絡ヲ受ケタルトキハ第十二條ニ準シ其ノ管內船員職業紹介所ニ割當聯絡スヘシ

第十五條　聯絡船員職業紹介所第十三條ノ聯絡困難ナルトキハ所轄遞信局ニ報告シ指揮ヲ受クヘシ

第十六條　船員職業紹介所聯絡船員職業紹介所ヨリ割當聯絡ヲ受ケタルトキハ求人票ニ登錄スヘシ

第十七條　船員職業紹介所ハ聯絡船員職業紹介所ニ通報セル求人ニ付求人者ヨリ求人申込ノ變更其ノ他ノ屆出アリタルトキハ電信電話其ノ他適當ナル方法ニ依リ速ニ之ヲ聯絡船員職業紹介所ニ通知スヘシ

文書ニ依ル場合ニハ第六號樣式ニ依ルヘシ

聯絡船員職業紹介所ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ割當聯絡シタル船員職業紹介所又ハ聯絡シタル聯絡船員職業紹介所ニ前項ニ準シ通知スヘシ

第十八條 求職ノ申込ヲ受理シタルトキハ第七號樣式ノ求職票ニ登錄スヘシ

第十九條 求職者ヨリ船員手帳ノ提出ヲ受ケタルトキハ本人ノ所有ニ相違ナキコトヲ確メタル上紹介成立ニ至ル迄之ヲ保管スヘシ

前項ノ船員手帳ヲ保管スルトキハ第八號樣式ノ船員手帳保管證ヲ交付スヘシ

第二十條 求職者ヨリ他ノ船員職業紹介所ニ求職ヲ申込ミタル旨ノ申出アリタルトキハ其ノ旨求職票ニ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ求職者ヨリ求職申込ノ變更其ノ他ノ届出アリタルトキハ速ニ第九號樣式ニ依リ他ノ船員職業紹介所ニ通知スヘシ

第四章 不良求人又ハ不良求職

第二十一條 求人又ハ求職ニシテ其ノ申込ノ内容船員職業紹介法、船員法、船舶職員法其ノ他ノ法令ニ違反スル場合ニハ之ヲ受理スヘカラス

第二十二條 求人又ハ求職ノ申込ニシテ其ノ内容著シク不適當ト認メラルルトキ、事實ヲ虚構シ又ハ不實ノ申込ヲ爲スト認メラルルトキ、雇傭條件ヲ履行セサル虞アリト認メラルルトキ其ノ他申込カ著シク適當ナラスト認メラルルトキハ之ヲ受理スヘシ

第二十三條 求職者ノ提出セル船員手帳ニ不正ノ事實アルトキハ求職申込ノ受理ヲ拒絶シタル上告發スル等必要ナル措置ヲ爲スヘシ

第二十四條 不良求人者又ハ不良求職者ハ船員職業紹介所相互ニ第十號樣式ニ依リ之ヲ通報スヘシ

第五章 求人又ハ求職ノ開拓

第二十五條 船員職業紹介所ノ業務ニ從事スル者ハ必要ニ應シ求人開拓又ハ求職開拓ヲ行フヘシ

第六章 紹 介

第二十六條 紹介ヲ爲サントスルトキハ第十一號樣式ノ紹介狀ヲ求職者ニ交付スヘシ

第二十七條 求人者ヨリ紹介シタル求職者ノ採否其ノ他ノ事項ノ申出ヲ受ケタルトキハ求職票顛末欄ニ記載スヘシ

第二十八條 第二十條第一項ノ求職者ニ付紹介成立シタルトキハ同條第二項ヲ準用ス

第七章 報 告

第二十九條 船員職業紹介所ハ第十二號樣式ニ依リ求人、求職及紹介成立狀況ヲ日日聯絡船員職業紹介所ニ報告スヘシ

第三十條 聯絡船員職業紹介所ハ遲滯ナク前條ノ報告ヲ集計シ第十二號樣式ニ依リ他ノ聯絡船員職業紹介所及所轄遞信局ニ報告スヘシ

第三十一條 遞信局ハ前條ノ報告ヲ集計シ毎旬ノ事業報告ヲ第十三號樣式ニ依リ遲滯ナク管船局ニ報告スヘシ

第八章 書類及帳簿

第三十二條 船員職業紹介所ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ之ニ必要ナル事項ヲ記載スヘシ

一 文書受付簿及文書發行簿
二 通報記錄簿
三 船員手帳保管證發行簿
四 不良求人求職者名簿

第三十三條 保存スヘキ書類及帳簿ノ種類及保存期間左ノ如シ但シ遞信局長ニ於テ遞信大臣ノ承認ヲ受ケ保存期間ヲ延伸シ又ハ短縮シタルトキハ其ノ定ムル所ニ依ルヘシ

書類名稱	保存期間
求人票	五年
通報票	二年
割當聯絡票	二年
聯絡票	二年
求人聯絡訂正票	二年
求職票	五年
求職訂正紹介通知票	二年
不良求人求職者通報票	五年
紹介採否通知書	二年
船員職業紹介成績統計類	五年

帳簿名稱	保存期間
業務日誌	十年
文書受付簿及文書發行簿	五年
通報記錄簿	五年
船員手帳保管證發行簿	三年
不良求人求職者名簿	三年

保存期間ノ異ナル書類及帳簿ニシテ合綴シ又ハ一ノ書類ヲ他ノ書類若ハ帳簿ニ添付整理シタルモノノ保存期間ハ其ノ内ノ最長ノモノニ依ルヘシ

附 則

本規程ハ本日ヨリ之ヲ施行ス

別表

聯絡船員職業紹介所	聯絡所管區域
横濱船員職業紹介所	東京清水及新潟各船員職業紹介所
名古屋船員職業紹介所	敦賀及伏木各船員職業紹介所
神戸船員職業紹介所	大阪及高知各船員職業紹介所
廣島船員職業紹介所	木ノ江船員職業紹介所
門司船員職業紹介所	戸畑、長崎、三池及鹿兒島各船員職業紹介所
石巻船員職業紹介所	青森船員職業紹介所
函館船員職業紹介所	小樽及室蘭各船員職業紹介所

第一號様式〔第五條關係〕（用紙ノ大サハ日本標準規格A4）

求人者原票

會社名	代表者名	住所	電話	人事取扱主任者名
主ナル支店、代理店、取扱店名	代表者名	住所	電話	人事取扱主任者名

事業ノ種類	
事業ノ規模	
附帯事業	
常時雇傭船員ノ概數	
豫備員制度	
公暇制度	
共濟施設	

宿泊施設	
福利慰安施設	
備考	

記載心得

一、人事取扱主任者欄ニハ海務課長、勞務課長、人事課長、海務監督其ノ他人事ヲ取扱フ責任者ヲ記入スルコト
二、事業ノ種類欄ニハ營業種目、營業航路等ヲ記入スルコト
三、事業ノ規模欄ニハ資本金額、保有船腹數量等ヲ記載スルコト
四、常時雇傭船員ノ概數欄ニハ雇傭船員ノ高級、普通別並ニ甲板、機關、事務部別ヲ記入スルコト
五、豫備員制度欄ニハ其ノ有無並ニ豫備員ノ種類、待遇等ヲ記入スルコト
六、公暇制度欄ニハ其ノ有無並ニ一年間ニ於ケル休暇日數、有給無給ノ別等大綱ヲ記入スルコト
七、共濟、宿泊、福利慰安施設欄ニハ設置場所別ニ其ノ概略ヲ記入スルコト

第二號樣式〔第七條關係〕（用紙ノ大サハ日本標準規格A5）

求人番號	第　　號	求人票																	
申込年月日	昭和　年　月　日																		
紹介期限		採用地																	
求人者名		取扱主任者																	
事務所		電話																	
雇傭條件	船又ハ船勤務地	船名	船種	總噸數（馬力）（公噸）	用途	航行區域（航路）	勤務地	要否ノ履歷書等所要書類	有無支給ノ旅費	聯絡狀況	年月日	聯絡番號	報通番號	當制番號					
		丸船		（　）		（　）													
	職務																		
	員數																		
	年齡																		
	給料																		
	手當																		
	雇傭期間																		
	免狀、證書種類																		
	技能、經驗																		
	學歷																		
	其ノ他																		
採用方法																			
備考																			

處理經過

紹介月日	求職番號	求職者名	紹介顚末	不調理由	取扱者印

記載心得

一、取扱主任者欄ニハ海務課長、勞務課長、人事課長、海務監督其ノ他人事ヲ取扱フ責任者ヲ記入スルコト

二、用途欄ニハ旅客船、貨客船、貨物船、漁船ノ區別ニ依リ記入スルコト

三、航行區域（航路欄）ノ航行區域ハ平水區域、沿海區域、近海區域、遠洋區域、漁船ニ在リテハ從業制限及漁業ノ種類ノ區別ニ依リ、航路ハ實際就航航路ヲ記入スルコト

四、勤務地欄ハ豫備員ノ場合ニ記入スルコト

五、免狀、證書種類欄ニハ求人者ノ希望スル海技免狀ノ種類、無線通信士資格證明書、水夫適任證書又ハ救命艇手適任證書等ノ別ヲ記入スルコト

六、技能、經驗欄ニハ海上實歷ヲ、水夫何年、大工何年等ノ例ニ依リ記入スルコト

七、學歷欄ニハ小學校卒、同中途退學、高等小學校卒、同中途退學、養成所卒、商船學校卒等ノ例ニ依リ記入スルコト

八、採用方法欄ニハ面會場所、日時、銓衡方法等ヲ記入スルコト

九、聯絡狀況欄ニハ聯絡船員職業紹介所ヨリ聯絡ヲ受ケタル場合ニ記入スルコト

十、處理經過各欄ニハ求職者ヲ紹介シタル場合ニ記入スルコト

十一、各欄中該當事項ナキトキハ斜線ヲ施シ不明ナルトキハ不明ト記入スルコト

第三號樣式〔第十條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

通報票		通報番號	
		發日	昭和　年　月　日
申込年月日		所介紹業職員船	
紹介期限		採用地	
求人者名		取扱主任者	
事務所		電話	

雇傭條件		船名	船種	總噸數（力馬稱公）	用途	航行區域（航路）	勤務地
	船舶又ハ先勤務	丸	船	（）		（）	
	職務						
	員數						
	年齡						
	給料						
	手當						
	雇傭期間						
	免狀、類種證書						
	技能、經驗						
	學歷						
	其ノ他						
採用方法							

割當聯絡先	職務	員數	備考
聯絡先			
遞信局報告			

記載心得

一、本票中各欄記入事項ハ第二號樣式ノ記載心得ニ準シ記入スルコト

二、二重線以下各欄ハ通報ヲ受ケタル聯絡船員職業紹介所ニ於テ割當聯絡、聯絡又ハ遞信局報告ノ控トシテ之ヲ記入スルコト

第四號樣式〔第十二條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

割當聯絡票		割當番號	
		通報番號	
		聯絡番號	
		昭和　年　月　日發	
申込年月日		船員職業紹介所	
紹介期限		採用地	
求人者名		取扱主任者	
事務所		電話	

雇傭條件		船舶又ハ勤務地	船種船名	總噸數（馬力公稱）	用途	航行區域（航路）	勤務地
			船丸	（）		（）	
	職務						
	員數						
	年齡						
	給料						
	手當						
	雇傭期間						
	免狀、證書種類						
	技能、經驗						
	學歷						
	其ノ他						
採用方法							

紹介所名	職務	割當員數	備考

記載心得

本票中各欄記入事項ハ第二號樣式ノ記載心得ニ準シ記入スルコト

第五號樣式〔第十三條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

聯絡票		聯絡番號	
		昭和　年　月　日發	
申込年月日		船員職業紹介所	
紹介期限		採用地	
求人者名		取扱主任者	
事務所		電話	

雇傭條件		船舶又ハ勤務地	船種船名	總噸數（馬力公稱）	用途	航行區域（航路）	勤務地
			船丸	（）		（）	
	職務						
	員數						
	年齡						
	給料						
	手當						
	雇傭期間						
	免狀、證書種類						
	技能、經驗						
	學歷						
	其ノ他						
採用方法							

割當聯絡先	職務	員數	備考

記載心得

一、本票中各欄記入事項ハ第二號樣式ノ記載心得ニ準シ記入スルコト

二、二重線以下各欄ハ聯絡ヲ受ケタル聯絡船員職業紹介所ニ於テ割當聯絡ノ控トシテ之ヲ記入スルコト

船員職業紹介業務取扱規程

第七號樣式〔第十八條關係〕（用紙ノ大サハ日本標準規格A5）

求職番號	第　號	求職票	
申込年月日	昭和年月日		
氏名		通知先	
生年月日(歳)	年月日(歳)	就職シ得ル時期	
現住所			
本籍			
船員手帳番號	第　號	戸主名	
免狀、證書種類		職業	
技能、經驗		續柄	
學歴		世帶主	
兵役關係		家族 父母	
希望條件 職務		配偶者	有　無
給料		其ノ他扶養家族	
手當		前職 雇主 氏名	
雇傭期間		雇主 職業	
船舶種類		乘船船舶又ハ勤務地	
航路		職務	
其ノ他		雇傭期間	
健康狀況 健康良否		給料	
既往症		手當	
其ノ他		離船又ハ下船 年月日	
他ノ紹介所ニ申込タルトキハ紹介所名		事由	
訂正通知			
紹介通知			

就職顚末		紹介年月日	求人番號	紹介先	不調理由
就職年月日					
紹介先(求人者名)					
求人番號	第　號				
乘船又ハ勤務地					
船種船名	船　丸				
總噸數					
職務					
雇傭期間					
給料					
手當		備考			

第六號樣式〔第十七條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

求人聯絡訂正票	
昭和　年　月　日發　船員職業紹介所	
聯絡訂正番號	
通報番號	
割當番號	
求人者名	
求人條件變更	
割當員數變更	
其ノ他	

記載心得

一、求職者女子ナルトキハ氏名欄ニ其ノ旨ヲ記入スルコト

二、通知先欄ニハ求職者ニ通知ヲ爲スニ最モ便利ナル場所ヲ記入スルコト

三、船員手帳番號欄ニハ例ヘハ東京第一號ノ如ク記入スルコト

四、技能、經驗欄ニハ海上實歷ヲ水夫何年、大工何年等、其ノ他ノ特殊經驗技能者ニ付テハ機關工場油差何年等ト記入スルコト

五、學歷欄ニハ小學校卒、同中途退學、高等小學校卒、同中途退學、養成所卒、商船學校卒等ノ例ニ依リ記入スルコト

六、兵役關係欄ニハ陸海軍別ニ歸休、豫備役、後備兵役、第一補充兵役、第二補充兵役、第一國民兵役等ノ區別ニ依リ記入スルコト

七、船舶種類欄ニハ客船、貨物船、漁船、帆船等ノ區別ニ依リ記入スルコト

八、航路欄ニハ實際航路、航行區域又ハ從業制限ヲ記入スルコト

九、訂正通知欄ニハ他ノ船員職業紹介所ニ求職ノ申込ヲ爲シ居ル求職者ヨリ求職申込ノ內容ノ變更其ノ他屆出アリタルトキ當該紹介所ニ其ノ旨ヲ通知濟ト記入スルコト

十、紹介通知欄ニハ他ノ船員職業紹介所ニ求職ノ申込ヲ爲シ居ル求職者ニ付紹介成立シタル場合ニ於テ當該紹介所ニ其ノ旨通知濟ト記入スルコト

十一、前職欄ニハ求職直前ノ狀況ニ付記入スルコト

十二、就職顚末各欄ニハ紹介所ニ於テ求人者ニ紹介ヲ爲シ就職シタルトキノ狀況ヲ記入スルコト

十三、紹介年月日、求人番號、紹介先、不調理由欄ニハ紹介ヲ爲シタルモ不成立トナリタルトキノ狀況ヲ記入スルコト

十四、備考欄ニハ紹介申込ノ取消失效、期間更新アリタルトキ其ノ旨及年月日ヲ朱書スル等必要事項ヲ適宜記入スルコト

十五、各欄中該當事項ナキトキハ斜線ヲ施シ不明ナルトキハ不明ト記入スルコト

十六、求職者新海員ナルトキハ求職票ノ上ニ㊕ノ印ヲ、募集海員ナルトキハ求職票ノ上ニ㊞ノ印ヲ押捺スルコト

第八號樣式〔第十九條關係〕（用紙ノ大サハ日本標準規格A8）

（表）

第　號

氏名

船員手帳番號　第　號

船員手帳保管證

昭和　年　月　日

船員職業紹介所長印

（裏）

一、本證ハ他人ニ貸與シ又ハ讓渡スヘカラス

二、本證ヲ紛失シタルトキハ直ニ發行者ニ屆出ツヘキモノトス

三、船員手帳ノ返還ハ本證ト引換ニ之ヲ爲スヘキモノトス

第九號様式〔第二十條第二十八條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

求職訂正紹介通知票			
昭和　年　月　日發　　船員職業紹介所			
求職訂正紹介通知番號		受付年月日	
求職者名			
住所			
變更成立其ノ他事項			
備考			

記載心得

一、第二十條第二項ノ場合ニハ本票中紹介ナル字句ヲ抹消スルコト

二、第二十八條ノ場合ニハ本票中求職訂正ナル字句ヲ抹消スルコト

第十號様式〔第二十四條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

不良求人求職者通報票			
昭和　年　月　日發　　船員職業紹介所			
氏名		生年月日	
		船員手帳番號	第　號
住所			
本籍			
言語容貌服裝其ノ他			
被害經過			
處理顛末			
其ノ他			

記載心得

一、不良求人者ノ場合ニハ求職ナル字句ヲ抹消シタル上船員手帳番號欄ニ斜線ヲ施シ、不良求職者ノ場合ニハ求人ナル字句ヲ抹消スルコト

二、言語容貌服裝其ノ他、被害經過、處理顛末欄ハ簡單明瞭ニ記入スルコト

三、船員手帳番號欄ニハ例ヘハ東京第一號ノ如ク記入スルコト

第十一號樣式（第二十六條關係）（用紙ノ大サハ往復葉書大）

（表）

氏名

生年月日　年齢　年　月　日　歳

本籍

現住所

職務　本給　御申込給料其ノ他事項

備考

……切……取……リ……

郵便はがき

（船員職業紹介所住所）

船員職業紹介所長殿

……線……

（裏）

採否通知書

求人者名

事務所

被紹介者名

紹介職務

紹介年月日

採

乘船地	船種船名	總噸數	職務	雇傭期間	給料	手當	其ノ他

否

不採用ノ事由其ノ他

……切……取……リ……

……線……

船員紹介ノ件

殿

御申込ニ依リ左記ノ者御紹介申上候

追而採否ハ別紙通知書ニ御記入ノ上折返シ御送付相成度候

（採否ノ通知ハ電話又ハ本人持參ニテモ可）

記

昭和　年　月　日

船員職業紹介所長印

住所

（電話　番）

（裏面ツヅク）

第十二號様式〔第二十九條・第三十條關係〕（用紙ノ大サハ日本標準規格A4）

高級船員職業紹介成績日報　紹介所名

昭和　年　月　日現在

職務別		求人数 本日申込	求人数 前日未濟	求人数 計	求職者数 本日申込	求職者数 前日未濟	求職者数 計	就職者数	取消及失效数 求人 取消	取消及失效数 求人 失效	取消及失效数 求人 計	取消及失效数 求職 取消	取消及失效数 求職 失效	取消及失效数 求職 計	未濟者数 求人	未濟者数 求職 即日可	未濟者数 求職 乘船不可	未濟者数 計	備考
甲板部																			
	計																		
機關部																			
	計																		
事務部																			
	計																		
合計																			

普通船員職業紹介成績日報　紹介所名

昭和　年　月　日現在

職務別		求人数 本日申込	求人数 前日未濟	求人数 計	求職者数 本日申込	求職者数 前日未濟	求職者数 計	就職者数	取消及失效数 求人 取消	取消及失效数 求人 失效	取消及失效数 求人 計	取消及失效数 求職 取消	取消及失效数 求職 失效	取消及失效数 求職 計	未濟者数 求人	未濟者数 求職 即日可	未濟者数 求職 乘船不可	未濟者数 計	備考
甲板部																			
	計																		
機關部																			
	計																		
事務部																			
	計																		
合計																			

記載心得　数字ハ「アラビア」数字ヲ以テ記入スルコト

免狀別高級船員職業紹介成績日報　紹介所名

昭和　年　月　日現在

免狀別		求人数 本日申込	求人数 前日未済	求人数 計	求職者数 本日申込	求職者数 前日未済	求職者数 計	就職者数	取消及失効数 求人 取消	取消及失効数 求人 失効	取消及失効数 求人 計	取消及失効数 求職 取消	取消及失効数 求職 失効	取消及失効数 求職 計	未済者数 求人	未済者数 求職 即日可	未済者数 求職 乗船不可	未済者数 計	備考
甲板部																			
	計																		
機関部																			
	計																		
無線部																			
	計																		
合計																			

船員職業紹介業務取扱規程

第十三號様式〔第三十一條關係〕（用紙ノ大サハ日本標準規格A4）

高級船員職業紹介成績旬報　逓信局名

昭和　年　月　日現在

職務別		求人数	求職者数	就職者数	取消及失効数 求人 取消	取消及失効数 求人 失効	取消及失効数 求人 計	取消及失効数 求職 取消	取消及失効数 求職 失効	取消及失効数 求職 計	未済者数 求人	未済者数 求職 即日可	未済者数 求職 乗船不可	未済者数 計	備考
甲板部															
	計														
機関部															
	計														
事務部															
	計														
合計															

普通船員職業紹介成績旬報　　逓信局名

昭和　年　月　日現在

職務別		求人数	求職者数	就職者数	取消及失効数 求人 取消	失効	計	求職 取消	失効	計	未済者数 求人	求職 即日可	乗船不可	計	備考
甲板部															
	計														
機關部															
	計														
事務部															
	計														
合計															

免狀別高級船員職業紹介成績旬報　　逓信局名

昭和　年　月　日現在

記載心得　数字ハ「アラビア」数字ヲ以テ記入スルコト

免狀別		求人数	求職者数	就職者数	取消及失効数 求人 取消	失効	計	求職 取消	失効	計	未済者数 求人	求職 即日可	乗船不可	計	備考
甲板部															
	計														
機關部															
	計														
無線部															
	計														
合計															

船員職業紹介所官制

（昭和十五年九月勅令第六百二十八號）

第一條 船員職業紹介所ハ遞信大臣ノ管理ニ屬シ船員職業紹介事業其ノ他船員ノ職業紹介ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 各船員職業紹介所ノ名稱及位置ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三條 船員職業紹介所ニ通シテ左ノ職員ヲ置ク

所長　一人　奏任官待遇

主事　專任　五人　奏任官待遇

主事補　專任三十七人　判任官待遇

所長ハ主事又ハ主事補ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 所長ハ遞信局長ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第五條 主事補ハ所長タル者ヲ除クノ外上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第六條 遞信大臣必要アリト認ムルトキハ船員職業紹介所ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員職業紹介所及同出張所ノ名稱及位置ノ件

（昭和十五年九月遞信省告示第二千六百三十六號）

改正　昭和十五年十月遞信省告示第二千七百六十七號

改正　昭和十五年十月遞信省告示第二千七百八十八號

船員職業紹介所及同出張所ノ名稱及位置左ノ通定ム

名稱	位置
東京船員職業紹介所	東京市
横濱船員職業紹介所	横濱市
清水船員職業紹介所	清水市
新潟船員職業紹介所	新潟市
名古屋船員職業紹介所	名古屋市
敦賀船員職業紹介所	敦賀市
伏木船員職業紹介所	富山縣射水郡伏木町
大阪船員職業紹介所	大阪市
神戸船員職業紹介所	神戸市
高知船員職業紹介所	高知市
廣島船員職業紹介所	廣島市
木ノ江船員職業紹介所	廣島縣豐田郡木ノ江町
門司船員職業紹介所	門司市
戸畑船員職業紹介所	戸畑市
若松船員職業紹介所分室	福岡縣若松市
長崎船員職業紹介所	長崎市
三池船員職業紹介所	大牟田市
鹿兒島船員職業紹介所	鹿兒島市
石卷船員職業紹介所	石卷市
青森船員職業紹介所	青森市
函館船員職業紹介所	函館市
小樽船員職業紹介所	小樽市
室蘭船員職業紹介所	室蘭市
大阪船員職業紹介所安治川出張所	大阪市
門司船員職業紹介所下關出張所	下關市
三池船員職業紹介所大牟田川口出張所	大牟田市

船員職業紹介所官制・船員職業紹介所及同出張所ノ名稱及位置ノ件・船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程

（大正十二年十二月告示第千八百二十七號）

改正　昭和十五年十月遞信省告示第二千六百四十九號

第一條 船員職業紹介法ニ依ル船員職業紹介所ノ紹介ニ依リ就職ノ爲現在地ヨリ就職地ヘ旅行セムトスル者ニシテ左ノ各號ニ該當スルトキハ當該船員職業紹介所長ニ就職者旅客運賃割引證（以下單ニ割引證ト稱ス）ノ交付ヲ申請スルコトヲ得但シ小兒ハ此ノ限ニ在ラス

一　三月以上船員トシテ就職セムトスルトキ

二　賃金又ハ俸給及之ニ準スヘキモノノ月收百圓以下ノ者

前項ノ割引證ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ書面又ハ口頭ヲ以テ申請ヲ爲スヘシ

第二條 割引證ヲ携帶スル者ハ鐵道省所管鐵道汽船及之ト連帶運輸ヲ爲ス鐵濟汽船三等ニ限リ賃金ノ五割引ヲ以テ

乘車船スルコトヲ得

第三條 割引證、割引乘車船券又ハ就職者旅行證明書ハ他人ニ讓渡シ又ハ他人之ヲ使用スルコトヲ得ス

第四條 割引證ハ發行ノ日ヨリ一月ヲ經過シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第五條 割引乘車船券ヲ購求スル場合ハ鐵道係員ニ割引證ヲ提出スヘシ

第六條 乘車船賃ノ割引ヲ受クル者ハ船員職業紹介所長ニ於テ發行シタル就職者旅行證明書ヲ携帶シ何時ニテモ船員職業紹介所職員又ハ鐵道係員ノ請求アルトキハ之ヲ呈示スヘシ

第七條 船員職業紹介所職員割引證又ハ就職者旅行證明書ヲ記名人以外ノ者ニ於テ携帶セルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ回收スルコトヲ得

第八條 割引證又ハ就職者旅行證明書ハ已ムヲ得サル事由ニ依リ亡失又ハ毀損シタル場合ノ外再ヒ之ヲ交付セス割引證又ハ就職者旅行證明書ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク交付ヲ受ケタル船員職業紹介所ニ届出ツヘシ

第九條 就職者旅行證明書ノ交付ヲ受ケタル者就職地ニ到着シタルトキ其ノ他之カ必要ナキニ至リタルトキハ遲滯ナク交付ヲ受ケタル船員職業紹介所ニ之ヲ返付スヘシ割引證ノ交付ヲ受ケタル者其ノ必要ナキニ至リタルトキ亦同シ

第十條 就職者旅行證明書ハ別記書式ニ依ル

附　則

本規程ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記書式）

（表）

就職者旅行證明書

本籍
現住所

何

生年月日　某

右ハ何紹介所ニ於テ何地何所何職（船主、船種、船名、職名）ニ紹介就職セシムル爲旅行スルモノナルコトヲ證明ス

年　月　日

船員職業紹介所長　氏　　名　　職印

一二糎

七・五糎

（裏）

一　本證明書ハ他人ニ貸與シ又ハ讓渡スヘカラス

一　本證明書ハ乘車船中必ス之ヲ携帶シ鐵道係員ノ請求アリタルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スヘキモノトス

一　本證明書ヲ紛失シタルトキハ直ニ發行者ニ届出スヘキモノトス

一　本證明書ハ旅行ヲ終ヘタルトキハ直ニ發行者ニ之ヲ返付スヘキモノトス

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程取扱手續

（大正十二年十二月遞信省公達第千百九十三號）

改正　昭和十五年十月公達第千四十七號

第一條　船員職業紹介所ハ船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程（以下單ニ規程ト稱ス）第一條ニ依リ割引證ノ交付ヲ申請スル者アルトキハ同條第一項各號ノ事實ヲ調査シ割引證ヲ交付スヘシ

第二條　前條ノ規定ニ依リ割引證ヲ交付スル場合ハ同時ニ就職者旅行證明書ヲ交付スヘシ

就職者旅行證明書ヲ交付シタルトキハ申請人ニ對シ規程第九條ノ規程ニ依リ之ヲ返付スヘキ旨ヲ特ニ說示スヘシ

第三條　就職者旅行證明書ヲ發行シタル船員職業紹介所ニ於テ發行後二月ヲ經過スルモ之カ返付ヲ受ケサルトキハ隨時當該船舶ニ就キ被紹介所カ就職シタルヤ否ヤヲ調査スヘシ

前項ノ調査ヲ爲シタル場合ニ於テ被紹介者ニ不正ノ所爲アリト認ムルトキハ遞信省管船局ニ報告スヘシ

第四條　遞信局ハ管內船員職業紹介所ノ交付スヘキ割引證ノ每三ケ月分ノ所要數ヲ豫定シ第一號書式ニ依リ遞信省管船局ニ請求スヘシ但シ臨時必要ノ場合ハ其ノ都度請求スルコトヲ得

船員職業紹介所ハ前項ニ準シ所轄遞信局ニ請求スヘシ

第五條　船員職業紹介所ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　割引證受拂簿（第二號書式）

二　割引證及就職者旅行證明書交付簿（第三號書式）

遞信局ニハ前項第一號ノ帳簿ヲ備フヘシ

第六條　船員職業紹介所ハ每月十日迄ニ前月中ニ於ケル割引證ノ受拂狀況ヲ第四號書式ニ依リ所轄遞信局ニ報告スヘシ遞信局ハ每年一月末日迄ニ前年中ニ於ケル割引證ノ交付狀況（月別交付數及書損返納數）ヲ遞信省管船局ニ報告スヘシ

附　則

本公達ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

就職者割引證請求書

年　月　日　現在數　自　月　至　月　所要見込數　差引不足數　備考

月　年　日

右及請求候也

年　月　日

遞信省管船局宛

（遞信局名印）

第二號書式

割引證受拂簿

年月日	受入員數	拂出 員數	拂出 事由	差引現在高	備考

注意　拂出ノ欄事由ハ「交付」又ハ「書損」等拂出ノ事由ヲ記入スヘシ

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程取扱手續

第三號書式

割引證及就職者旅行證明書交付簿

割引證 發行年月日	番號	乘車船區間	船主、船種、船名及紹介所名	就職者旅行證明書發行年月日	被紹介者本籍	被紹介者氏名及年齡	備考

注意　一、備考欄ニハ口頭又ハ書面申請ノ區別等ヲ記載スヘシ

二、被紹介者氏名ノ下ニ認印ヲ徴シ受領證ニ代用スルコトヲ得

第四號書式

何年何月分割引證受拂報告

受入	受入區別	員數	拂出	拂出區別	員數	備考
前月ヨリ越高			交付			內（再交付何枚）
本月分受入			書損			差引現在數何枚
計			計			

右及報告候也

年　月　日

遞信省管船局宛

（船員職業紹介所名印）

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程取扱手續

旅客及荷物運送規則（抜萃）

（昭和七年六月鐵道省告示第百七十九號）

第八十一條　職業紹介法ニ依ル職業紹介所又ハ船員職業紹介法ニ依ル船員職業紹介所ノ紹介ニ依リ就職スル賃金月額百圓以下ノ者旅行ノ場合ニ於テハ所定ノ割引證ヲ收受シ三等片道旅客運賃ノ五割ヲ低減ス但シ三箇月未滿ニテ移動スル短期ノ雇傭者及小兒ニ對シテハ之カ低減ヲ爲サス前項ノ規定ハ有料ニテ又ハ營利ヲ目的トシテ職業紹介事業ヲ行フ者ノ紹介ニ依リ旅行ヲ爲ス旅客ニ對シテハ之ヲ適用セス

第八十二條　前條ノ割引證ハ監督官廳ヲ經テ職業紹介所、遞信局海事部又ハ同出張所ヨリ本人ニ之ヲ交付ス其ノ樣式ハ左ノ如シ

（樣式省略）

第八十三條　第八十一條ニ依リ旅行ヲ爲ス旅客ハ當該職業紹介所長又ハ遞信局海事部長若ハ遞信局海事部出張所長發行ノ左記樣式ノ就職者旅行證明書ヲ携帶シ係員ノ請求アリタルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スヘキモノトス

（樣式省略）

入營者職業保障法

（昭和六年四月法律第五十七號）

改正　昭和十三年三月法律第六十二號

第一條　何人ト雖モ被傭者ヲ求メ又ハ求職者ノ採否ヲ決スル場合ニ於テ入營（應召ノ場合ヲ含ム以下之ニ同シ）ヲ命セラレタル者又ハ入營ヲ命セラルルコトアルヘキ者ニ對シ其ノ故ヲ以テ不利益ナル取扱ヲ爲スヘカラス

第二條　雇傭者入營ヲ命セラレタル被傭者ヲ解雇シタトキ又ハ被傭者ノ入營中雇傭期間ノ滿了シタルトキハ其ノ者カ退營（入營ノ際行フ身體檢査ノ結果歸鄉ヲ命セラレタル場合ヲ含ム）シタル日ヨリ三月以內ニ更ニ之ヲ雇傭スルコトヲ要ス但シ左ノ各號ニ揭クル事由ノ一ニ該當シタルニ因リ解雇シ又ハ現ニ左ノ各號ニ揭クル事由ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　被傭者カ入營ノ日ヨリ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年ヲ超ユル期間服役ヲ志願シ採用セラレタルトキ

二　被傭者カ第二項ニ規定スル通知ヲ爲サス又ハ雇傭者ヨリ同項ニ規定スル通知ニ於テ勞務ニ就クヘキ旨ヲ指定セラレタル日ヨリ故ナク二十日以內ニ勞務ニ就カサルトキ

三　被傭者カ疾病又ハ傷痍ニ因リ勞務ニ堪ヘサルトキ

四　被傭者カ著シク其ノ職務ヲ怠リタルトキ

五　被傭者ニ著シキ不良行爲アリタルトキ

六　雇傭ノ目的タル事業ノ廢止、終了又ハ著シキ整理縮少其ノ他之ニ準スル事由アルトキ

雇傭者及被傭者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ニ規定スル雇傭ニ關シ必要ナル事項ヲ相互ニ通知スルコトヲ要ス

雇傭者ハ第一項各號ニ揭クル場合ヲ除クノ外同項ノ規定ニ依リ雇傭シタル被傭者ヲ其ノ雇傭ノ日ヨリ三月以內ニ於テ民法第六百二十七條又ハ第六百二十八號ノ規定ニ依リ解雇スルコトヲ得ス

第三條　前條第一項ノ規定ニ依リ退營者ヲ雇傭スル場合ニ於テ之ニ與フヘキ勞務及給與ハ少クトモ其ノ者ノ入營直前ノ勞務及給與ト同等ノモノナルコトヲ要ス但シ被傭者カ疾病又ハ傷痍ニ因リ入營直前ノ勞務ニ堪ヘサルトキ其ノ他已ムヲ得サル事由アルトキハ之ト異ル勞務及給與ヲ與フルコトヲ妨ケス

第四條　前二條ノ規定ハ入營ヲ命セラレタル被傭者カ解雇セラレサル場合ニ於ケル退營後ノ復職及取扱ニ付之ヲ準用ス

第五條　前三條ノ規定ハ雇傭者カ常時三十人以上ノ被傭者ヲ使用スル場合ニ之ヲ適用ス

第五條ノ二　職業紹介事業ヲ行フ行政廳（船員職業紹介法第三條第二項ノ規定ニ依リ船員職業紹介事業ヲ行フ者ヲ含ム）ハ退營者ニシテ原職ナキモノ又ハ原職ニ復歸スルコト困難ナリト認ムルモノノ職業紹介ニ付テハ被傭者ヲ求メントスル者ニ對シ其ノ被傭者タルニ適スト認ムル退營者ヲ優先シテ雇傭スルコトヲ慫慂スルコトヲ得

前項ノ規定ハ退營者カ退營シタル日ヨリ三月ヲ經過シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第六條　當該官吏又ハ公吏ハ第二條乃至第五條ノ規定ノ施行ニ關シ必要アリト認ムルトキハ當事者ニ對シ勸解ヲ爲スコトヲ得

前項ノ當該官吏又ハ公吏ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ノ適用ニ付テハ國道府縣、市町村其ノ他之ニ準スルモノノ被傭者ニシテ官吏又ハ公吏ニ準シ取扱フコトヲ要スル者ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年十一月一日ヨリ施行）

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

入營者職業保障法施行令

（昭和六年十月勅令第二百六十一號）

改正　昭和十三年三月勅令第百三十五號

第一條 入營者職業保障法第六條第二項ニ規定スル官吏又ハ公吏左ノ如シ

一　國ノ被傭者ニ關スル勸解ニ付テハ當該被傭者ヲ雇傭シタル者ノ直接上級ノ監督官廳又ハ直接上級ノ部局ノ長但シ朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官ノ雇傭シタル者ニ關スル勸解ニ付テハ朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官ノ定ムル官吏

二　道府縣又ハ市町村ノ被傭者ニ關スル勸解ニ付テハ當該被傭者ヲ雇傭シタル者ノ直接上級ノ監督官廳、直接上級ノ部局ノ長又ハ職業紹介事務局長

三　前二號ノ適用アル場合ヲ除キ船員法ノ適用アル船員ニ關スル勸解ニ付テハ遞信局長（朝鮮船員令ノ適用アル船員ニ關スル勸解ニ付テハ朝鮮總督府遞信局長）又ハ船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、鑛業法ノ適用アル鑛夫又ハ砂鑛業ニ從事スル鑛夫ニ關スル勸解ニ付テハ鑛山監督局長又ハ第四號ニ揭クル官吏若ハ公吏

四　前三號ニ揭クル者以外ノ被傭者ニ關スル勸解ニ付テハ地方長官、職業紹介事務局長、市町村長又ハ職業紹介所長

第二條 本令中道府縣、市町村又ハ地方長官、市町村長ニ關スル規定ハ道府縣、市町村又ハ地方長官、市町村長ニ準スルモノニ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ入營者職業保障法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

入營者職業保障法施行規則

（昭和六年十月內務、陸軍、海軍、遞信省令）

改正　昭和十一年八月內務、陸軍、海軍、遞信省令

第一條 被傭者（入營者職業保障法ノ適用アル被傭者ヲ謂フ以下之ニ同シ）ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ旨ヲ書面ヲ以テ雇傭者ニ通知スヘシ

一　入營スヘキ期日及部隊定マリタルトキ

二　入營ノ日ヨリ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年ヲ超ユル期間服役ヲ志願シ採用セラレタルトキ

三　傷痍疾病其ノ他ノ事由ニ因リ退營後再ヒ雇傭セラルルコト又ハ復職スルコトヲ希望セサルトキ

第二條 被傭者ハ退營豫定期日前三月ヨリ退營後二十日以內（入營又ハ應召ノ際行フ身體檢查ノ結果歸鄉ヲ命セラレタル者竝ニ臨時ニ退營ヲ命セラレタル者ニ在リテハ退營後二十日以內）ニ左ノ事項ヲ書面ヲ以テ雇傭者ニ通知スヘシ

一　退營豫定期日又ハ退營シタル日

二　退營後再ヒ勞務ニ就キ得ヘキ豫定期日

三　退營後ノ受信場所

被傭者前項ノ通知ヲ爲シタル後退營豫定期日ニ變更アリタルトキ又ハ前項第二號及第三號ノ事項ヲ變更スル必要ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ雇傭者ニ通知スヘシ

第三條 被傭者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事由ニ因リ雇傭者ヨリ勞務ニ就クヘキ旨ヲ指定セラレタル日ヨリ二十日以內ニ勞務ニ就クコト能ハサルトキハ速ニ其ノ事由ノ要旨ヲ書面ヲ以テ雇傭者ニ通知スヘシ

一　疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタルトキ

二　直系尊屬、妻又ハ直系卑屬カ死亡シタルトキ又ハ重態ナルトキ

三　本人ト同一戶籍又ハ同一世帶內ニ在ル者死亡シ他ニ後始末ヲ爲ス者ナキトキ

四　本人ト同一戶籍又ハ同一世帶內ニ在ル者重態ニシテ他ニ看護ヲ爲ス者ナキトキ

五　本人ノ住家ノ火災、漂失又ハ倒壊其ノ他重大ナル災害ヲ蒙リ他ニ後始末ヲ爲ス者ナキトキ

六　其ノ他前各號ニ揭クル事由ニ準スル已ムヲ得サル事由アルトキ

第四條　雇傭者ハ第二條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク左ノ事項ヲ書面ヲ以テ被傭者ニ通知スヘシ

一　再ヒ勞務ニ就カシメ得ヘキ期日

二　入營直前ノ勞務又ハ給與ト異ナル勞務又ハ給與ヲ與フル場合ニ於テハ當該事項

三　其ノ他必要ト認ムル事項

第五條　雇傭者ハ入營者職業保障法第二條第一項第二號乃至第六號ノ一ニ該當スル事由ニ因リ被傭者ヲ解雇シタルトキ又ハ被傭者ヲ再雇傭シ若ハ復職セシメ得サルトキハ遲滯ナク其ノ事由ノ要旨ヲ書面ヲ以テ被傭者ニ通知スヘシ

第六條　雇傭者ハ地方長官（船員法ノ適用アル船員ニ付テハ所轄遞信局長）ニ對シ遲滯ナク左ノ事項ヲ書面ヲ以テ屆出ツヘシ

一　被傭者ニシテ入營ヲ命セラレタル者アルトキハ其ノ氏名、住所、勞務及給料

二　第四條又ハ第五條ノ規定ニ依リ通知シタル事項

前項第一號ノ屆出ニハ事業ノ種類及被傭者ノ總數ヲ附記スヘシ

第七條　雇傭者又ハ被傭者ニシテ入營者職業保障法第六條ノ規定ニ依リ勸解ヲ求メントスル者ハ入營者職業保障法施行令ノ定ムル所ノ當該官吏又ハ公吏ニ書面又ハ口頭ヲ以テ申出ツヘシ

附　則

本令ハ入營者職業保障法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三章　船員保險

船員保險法

（昭和十四年四月法律第七十三號）

改正　昭和十六年三月法律第三十五號

第一章　總　則

第一條　船員保險ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病、負傷、老齡、癈疾、脫退又ハ死亡ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス

第二條　船員保險ハ政府之ヲ管掌ス

第三條　本法ニ於テ報酬ト稱スルハ船員カ職務執行ノ對償トシテ船舶所有者ヨリ受クル給料及之ニ準スヘキモノヲ謂フ

給料ニ準スヘキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス

標準報酬ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及療養費、傷病手當金、癈疾手當金又ハ死亡手當金ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキ、養老年金、癈疾年金、脫退手當金又ハ第三十六條、第三十七條、第四十二條若ハ第四十九條ノ規定ニ依ル一時金ヲ受クル權利ハ五年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第六條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條　船員保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第八條　行政官廳又ハ保險給付ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

第九條　行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者ヲシテ其ノ雇傭スル者ノ異動及報酬ニ關シ報告ヲ爲サシメ、文書ヲ提示セシメ其ノ他船員保險ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中船舶所有者トアルハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人トス

第十一條 船舶ガ滅失又ハ沈沒シタル際現ニ其ノ船舶ニ乘組ム被保險者又ハ其ノ船舶ニ乘組中被保險者ノ資格ヲ喪失シ引續キ船舶內ニ在ル者カ滅失又ハ沈沒ノ日ヨリ三月間其ノ生死分明ナラサルトキハ本法ノ適用ニ付テハ其ノ期間滿了ノ日ニ死亡シタルモノト推定ス

船舶ノ存否カ一月間分明ナラサルトキハ船舶ハ滅失シタルモノト推定ス

第一項ノ規定ハ被保險者又ハ船舶ニ乘組中被保險者ノ資格ヲ喪失シ引續キ船舶內ニ在ル者カ船舶航行中行方不明ト爲リタル場合ニ於テ三月間生死分明ナラサルトキニ之ヲ準用ス

第十二條 保險料ヲ滯納スル者アルトキハ行政官廳ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手數料及延滯金ヲ徵收ス

第一項ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ納付セサルトキハ行政官廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其ノ者ノ財產ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ノ請求ヲ爲シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ徵收金額ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヲ當該市町村ニ交付スヘシ

第十三條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十五條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ所有ニ屬スル船舶ニ乘組ム船員ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十六條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス

第二章 被保險者

第十七條 船員法第一條ニ規定スル帝國臣民タル船員ニシ法本施行ニ地ニ船籍港ヲ定ムル船舶ニ乘組ムモノハ船員保險ノ被保險者トス但シ左ニ揭クル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 船舶所有者ニ雇傭セラレサル者

二 官吏又ハ待遇官吏（俸給給料ヲ受ケサル者ヲ除ク）

三 前二號ニ揭クル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

第十八條 被保險者ハ船舶ニ乘組ミタル日、前條各號ノ規定ニ該當セサルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ取得シタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第十九條 被保險者ハ死亡シタル日、船舶ニ乘組マサルニ至リタル日、第十七條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ失ヒタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 十年以上十五年未滿被保險者タリシ者カ被保險者タラサルニ至リタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ其ノ者カ日本ノ國籍ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル被保險者ニ對シテハ老齡又ハ脫退ニ關スル保險給付ニ限リ之ヲ爲スモノトス

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ第十七條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間ト前條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間トヲ合算シテ十五年ニ達シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

第十九條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合及日本ノ國籍ヲ失ヒタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 保險給付

第一節 總則

第二十二條 被保險者タリシ期間ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ヨリ之ヲ起算シ其ノ資格ヲ喪失シタル月ノ前月ヲ以テ終ル但シ十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタルトキハ其ノ月ハ半月トシテ之ヲ計算ス

十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス其ノ月ハ半月トシテ之ヲ被保險者タリシ期間ニ加算ス

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ其ノ資格ヲ取得シタル者ニ對シテ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ合算ス但シ脫退手當金ノ支給ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ハ之ヲ合算セス

前項但書ノ規定ハ第四十九條ノ規定ニ依リ差額ノ支給ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受クヘキ遺族ノ範圍及順位ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 養老年金及癈疾年金ノ支給ハ之ヲ支給スヘキ事由ノ生シタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第二十五條 政府ハ事故カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ保險給付ヲ受クヘキ者カ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第二十六條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス但シ養老年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ス

第二節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ヲ爲ス但シ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ因リ發シタル疾病ヲ除クノ外被保險者ノ資格喪失後ニ發シタル疾病又ハ負傷ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員、被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員タリシ者及勅令ヲ以テ指定スル者ノ疾病又ハ負傷ニハ之ヲ適用セス

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ診療所ニ收容スルコトヲ得

第二十九條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第三十條 被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付被保險者ノ資格喪失當時ノ報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス

一 療養ノ給付ヲ受クルトキ

二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ疾病又ハ負傷ニ關シ扶助ヲ受クルトキ

第二十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シテ支給スヘキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第三十二條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サス主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ尚六月以內繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス事ヲ得但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前勅令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セサルトキト雖モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セス

第三十三條 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ扶助又ハ手當ノ支給ヲ受クル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ開始ス

第三節 養老年金

第三十四條 十五年以上被保險者タリシ者カ其ノ資格ヲ喪失シタル後五十歳ヲ超エタルトキ又ハ五十歳ヲ超エ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄養老年金ヲ支給ス

第三十五條 養老年金ノ額ハ被保險者タリシ期間十五年以上十六年未滿ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ增ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

被保險者タリシ期間四十年ヲ超ユル者ニ支給スヘキ養老年金ノ額ハ之ヲ被保險者タリシ期間四十年トシテ計算ス

第三十六條 養老年金ノ支給ヲ受クル者カ死亡シタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル養老年金ノ總額カ養老年金ノ五年分ニ相當スル金額ニ滿タサルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十七條 十五年以上被保險者タリシ者カ養老年金ノ支給ヲ受クルコトナクシテ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ者カ支給ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ養老年金ノ五年分ニ相當スル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十八條　傷病手當金又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受クル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間養老年金ノ支給ヲ停止ス

第三十九條　養老年金ノ支給ヲ受クル者被保險者ト爲リタルトキハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ停止ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ停止セラレタル被保險者カ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ改定ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ額カ從前ノ養老年金ノ額ヨリ少キトキハ從前ノ養老年金ノ額ヲ以テ改定養老年金ノ額トス

第四節　癈疾年金及癈疾手當金

第四十條　被保險者ノ資格喪失前六年間ニ三年以上被保險者タリシ者ノ資格喪失前ニ發シタル疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病カ勅令ノ定ムル期間内ニ治癒シタル場合又ハ治癒セサルモ其ノ期間ヲ經過シタル場合ニ於テ勅令ノ定ムル程度ノ癈疾ノ狀態ニ在ル者ニハ其ノ程度ニ應シ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄癈疾年金ヲ支給シ又ハ一時金トシテ癈疾手當金ヲ支給ス

第四十一條　癈疾年金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ增ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

第三十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

癈疾手當金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七月分ニ相當スル金額トス

第四十二條　癈疾年金ノ支給ヲ受クル者カ死亡シタル場合ニ於テハ左ノ區別ニ依ル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

一　被保險者タリシ期間カ十五年未滿ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癈疾年金ノ總額カ被保險者ノ資格喪失ノ際支給ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ脫退手當金及被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七月分ノ合算額（被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十三月分ヲ超ユルトキハ十三月分ニ止ム）ニ相當スル金額ニ滿タサルトキハ其ノ差額

二　被保險者タリシ期間カ十五年以上ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癈疾年金ノ總額カ癈疾年金ノ五年分ニ相當スル金額ニ滿タサルトキハ其ノ差額

第四十三條　養老年金及癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ一ヲ支給ス

第四十四條　癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ癈疾年金ヲ受クル程度ノ癈疾ノ狀態ニ該當セサルニ至リタルトキハ爾後癈疾年金ヲ支給セス

第四十五條　養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ癈疾手當金ヲ支給セス

第五節　脫退手當金

第四十六條　三年以上十五年未滿被保險者タリシ者カ死亡シタルトキ又ハ其ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ト爲ルコトナクシテ一年六月ヲ經過シタルトキハ脫退手當金ヲ支給ス但シ其ノ者カ癈疾手當金ヲ受クル權利ヲ有スルトキハ一年六月ヲ經過セサル場合ト雖モ之ヲ支給ス

第四十七條　脫退手當金ノ額ハ左ノ區別ニ依ル但シ癈疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニ支給スヘキ額ハ癈疾手當金ノ額ト合算シタル被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十三月分ニ相當スル金額ヲ超ユルコトヲ得ス

一　被保險者タリシ期間三年以上四年未滿ナル者ニ對シテハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月半分ニ相當スル金額ニ滿タサルトキハ其ノ差額

二　被保險者タリシ期間四年以上九年未滿ナル者ニ對シテハ其ノ期間三年以上一年ヲ增ス毎ニ前號ノ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ半月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

三　被保險者タリシ期間九年以上ナル者ニ對シテハ其ノ期間八年以上一年ヲ增ス毎ニ前號ノ規定ニ依リ其ノ期間八年以上九年未滿ノ者ノ支給ヲ受クヘキ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

第四十八條　癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ脫退手當金ヲ支給セス

第四十九條　癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ第四十四條ノ規定ニ依リ癈疾年金ノ支給ヲ受ケサルニ至リタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癈疾年金ノ總額カ其ノ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際支給ヲ受クル事ヲ得ヘカリシ脫退手當金ノ額ニ滿タサルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第六節　死亡手當金

第五十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者カ三年以上被保險者タリシトキハ其

ノ遺族ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ三月分ニ相當スル死亡手當金ヲ支給ス但シ其ノ金額カ百圓ニ滿タサルトキハ之ヲ百圓トス

一　被保險者カ死亡シタルトキ

二　被保險者タリシ者カ其ノ資格喪失後三月以內ニ死亡シタルトキ

三　被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノカ死亡シタルトキ

第七節　保險給付ノ制限

第五十一條　被保險者又ハ被保險者タリシ者カ自己ノ故意ノ犯罪行爲ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生セシメタルトキハ療養ノ給付又ハ傷病手當金、癈疾年金、癈疾手當金若ハ死亡手當金ノ支給ヲ爲サス

第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ノ支給ヲ受クヘキ者カ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ故意ニ死ニ致シタルトキハ其ノ者ニ對シテハ支給ヲ爲サス此ノ場合ニ於テ後順位者アルトキハ其ノ者ニ支給ヲ爲ス

第五十二條　被保險者又ハ被保險者タリシ者カ鬪爭、泥醉若ハ著シキ不行跡ニ因リ、故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ又ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルトキハ傷病手當金、癈疾年金又ハ癈疾手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得

第五十三條　被保險者又ハ被保險者タリシ者カ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲サス但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ

二　本法施行地外ニ在ルトキ

三　船舶內ニ在ルトキ

四　矯正院其ノ他之ニ準スヘキモノニ入院セシメラレタルトキ

五　監獄、留置場又ハ勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ

六　健康保健又ハ職員健康保險ニ於テ之ニ相當スル保險給付ヲ受クルトキ

他ノ法令ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ診療所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サス

第三十一條ノ規定ハ前項ニ揭クル者ニ之ヲ準用ス

第五十四條　正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者ニ對シテハ傷病手當金ノ一部ヲ支給セサルコトヲ得

第五十五條　詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第五十六條　療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ受クル者ニ付必要アリト認ムルトキハ診斷ヲ行フコトヲ得

正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ受ケサル者ニ對シテハ療養ノ給付ノ全部若ハ一部又ハ傷病手當金、癈疾年金若ハ癈疾手當金ノ全部若ハ一部ノ支給ヲ爲ササルコトヲ得

第五十七條　養老年金又ハ癈疾年金ヲ受クル者ニ付必要アリト認ムルトキハ其ノ身分關係ノ異動及癈疾狀態ノ繼續ノ有無ニ關シ其ノ者ヲシテ必要ナル書類ヲ提出セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ書類ヲ提出セサル者ニ對シテハ養老年金又ハ癈疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトヲ得

第四章　費用ノ負擔

第五十八條　國庫ハ療養ノ給付及傷病手當金ヲ除クノ外保險給付ニ要スル費用ノ五分ノ一ヲ負擔ス

國庫ハ前項ニ規定スル費用ノ外每年度豫算ノ範圍內ニ於テ船員保險事業ノ事務ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔ス

第五十九條　政府ハ船員保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保險料ヲ徵收ス

保險料ノ算定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條　被保險者及被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第六十一條　船舶所有者ハ其ノ雇傭スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條　船舶所有者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第五章　審査ノ請求、訴願及訴訟

第六十三條　保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ地方社會保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ中央社會保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第六十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ訴願ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ中央社會保險審查會ノ審查ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第六十六條 本法ニ規定スルモノノ外社會保險審查會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 審查ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受クタル日ヨリ三十日以內ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審查ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第百五十八條第二項及第百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六章 罰則

第六十八條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ報告ヲ爲サス、虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ爲ササル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條 船舶所有者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第七十條 第六十八條ノ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七章 雜則

第七十一條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 關東州船員令ニ依ル船員タリシ者カ被保險者ト爲リタル場合又ハ被保險者タリシ者カ關東州船員令ニ依ル船員ト爲リタル場合ノ保險給付ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定竝ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

勅令ヲ以テ指定スル日前十五年間ニ於テ第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ五年以上船舶ニ乘組ミタル者カ四十五歲ヲ超エ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テ同日前十五年間ニ於テ船舶ニ乘組ミタル期間ト被保險者タリシ期間トヲ合算シ十五年以上ニ達スルモ十五年以上被保險者タリシ者ニ非サルトキハ其ノ者ニ對スル脫退手當金ノ支給條件及其ノ額ニ付テハ第四十六條及第四十七條ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

船員保險法ノ一部施行期日ノ件

（昭和十五年二月勅令第六十四號）

船員保險法ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十五年三月一日ヨリ朝鮮及臺灣ニ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ此等ノ規定ノ內地ニ於ケル施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法ノ一部施行期日ニ關スル件

（昭和十五年五月勅令第三百六十三號）

船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スルノ件

（昭和十五年二月勅令第六十五號）

船員保險法ハ第十六條及第五章ノ規定ヲ除クノ外之ヲ昭和十五年三月一日ヨリ朝鮮及臺灣ニ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ此等ノ規定ノ內地ニ於ケル施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令

（昭和十五年二月勅令第六十六號）

第一章　總　則

第一條　船員保險法第三條第一項ノ給料ニ準スヘキモノノ範圍ハ左ニ掲クルモノトス

一　職長手當
二　勤續手當
三　機關部手當
四　其ノ他厚生大臣ノ指定スルモノ

第二條　給料ニ準スヘキモノノ全部又ハ一部カ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ保險院長官ノ定ムル標準價格ニ依リ之ヲ算定ス

第三條　船員保險法第四條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬		
	年額	月額	日額
第一級	百八十圓	十五圓	五十錢
第二級	三百圓	二十五圓	八十圓
第三級	四百二十圓	三十五圓	一圓二十錢
第四級	五百四十圓	四十五圓	一圓五十錢
第五級	六百六十圓	五十五圓	一圓八十錢
第六級	七百八十圓	六十五圓	二圓二十錢
第七級	九百圓	七十五圓	二圓五十錢
第八級	千二十圓	八十五圓	二圓八十錢
第九級	千二百圓	百圓	三圓三十錢
第十級	千四百四十圓	百二十圓	四圓 圓
第十一級	千六百八十圓	百四十圓	四圓七十錢
第十二級	千八百圓	百五十圓	五圓 圓

報酬月額	報酬月額
七十圓以上八十圓未滿	七十五圓
八十圓以上九十圓未滿	八十五圓
九十圓以上百十圓未滿	百圓
百十圓以上百三十圓未滿	百二十圓
百三十圓以上百五十圓以下	百四十圓
百五十圓ヲ超ユルモノ	百五十圓

第四條　標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム

被保險者ノ報酬カ其ノ增減アリタルニ因リ從前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セサルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ增減アリタル月ノ翌月（報酬ニ增減アリタル日カ月ノ初日ナルトキハ其ノ月）ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ引續キ從前ノ標準報酬ニ依ル但シ其ノ者ノ申請ニ依リ標準報酬ヲ減額スルコトヲ得

第二項ノ規定ハ前項但書ノ規定ニ依リ標準報酬ヲ減額スル場合ニ之ヲ準用ス

第五條　第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

一　年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二ノ一

二　月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル月額

三　日ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル日額ノ三十倍

四　前三號ノ外一定ノ期間ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル其ノ報酬ノ額ヲ

其ノ期間ノ日数ヲ以テ除シテ得タル額ノ三十倍

五　歩合ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ同様ノ船舶ニ於テ同様ノ勞務ニ從事スル者カ通常ノ場合ニ於テ受クベキ額ヲ標準トシテ算定シタル額

六　前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

被保險者ノ報酬月額カ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額カ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス保險院長官ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ算定ス

第六條　船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ依リ保險料納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險院長官ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スヘシ

督促狀ヲ發シタルトキハ督促手數料トシテ二十錢ヲ徵收ス

船員保險法第十二條第三項及第四項ノ規定中行政官廳トアルハ保險料滯納者ノ住所地又ハ其ノ者ノ財産ノ在ル地ヲ管轄スル地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ）トス

第七條　前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滯金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滯納ニ付酌量スヘキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　納入ノ告知書一通ノ徵收金額十圓未滿ナルトキ

二　納期ヲ繰上ケ徵收ヲ爲ストキ

三　納付義務者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラサル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促料ヲ完納シタルトキハ延滯金ヲ徵收セス

第八條　國カ船舶所有者タル船舶ニ乘組ム被保險者カ厚生大臣ノ指定シタル共濟組合ヨリ保險給付ニ相當スル給付ヲ受クルトキハ其ノ者ニ對シテハ保險給付ヲ爲サス

前項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定スル共濟組合ハ左ノ要件ヲ具フルモノニ限ル

一　被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ種類カ保險給付ノ種類ヲ包含シ且其ノ給付カ同種ノ保險給付ト同程度ナルコト

二　被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ中保險給付ニ相當スル給付ニ要スル費用ニ付國カ船員保險法ニ依リ國庫及船舶所有者トシテ爲ス負擔ト同一ノ割合ヲ下ラサル負擔ヲ爲スコト

第九條　前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケサル者ニ付テハ保險料ハ之ヲ徵收セス

第十條　第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者若ハ被保險者タリシ者カ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ト爲リタル場合又ハ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラサル被保險者若ハ被保險者タリシ者カ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ厚生大臣之ヲ定ム

第十一條　管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ船員保險ニ關スル事務ノ一部ヲ行フ

第二章　被保險者

第十二條　漁船ニ乘組ム船員ニシテ左ニ揭クル者以外ノ者ハ船員保險法施行令

ナルコト

二　被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ中保險給付ニ相當スル給付ニ要スル費用ニ付國カ船員保險法ニ依リ國庫及船舶所有者トシテ爲ス負擔ト同一ノ割合ヲ下ラサル負擔ヲ爲スコト

第九條　前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケサル者ニ付テハ保險料ハ之ヲ徵收セス

第十條　第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者若ハ被保險者タリシ者カ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ト爲リタル場合又ハ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラサル被保險者若ハ被保險者タリシ者カ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ厚生大臣之ヲ定ム

第十一條　管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ船員保險ニ關スル事務ノ一部ヲ行フ

第二章　被保險者

第十二條　漁船ニ乘組ム船員ニシテ左ニ揭クル者以外ノ者ハ船員保險法第十七條第三號ノ規定ニ依リ被保險者タラサルモノトス

一　汽船「トロール」漁業、母船式漁業、汽船捕鯨業又ハ機船底曳網漁業（東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスルモノヲ除ク）ニ從事スル漁船ニ乘組ム船員但シ母船式蟹漁業又ハ母船式鮭鱒漁業ニ從事スル附屬漁船ニ乘組ム船員ヲ除ク

二　專ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル業務ニ從事スル漁船ニ乘組ム船員

三　漁業ニ關スル試驗、調査、指導、練習又ハ取締業務ニ從事スル漁船ニ乘組ム船員但シ臨時ニ雇傭セラルル船員ヲ除ク

第十三條　十年以上十五年未滿被保險者タリシ者カ被保險者タラサルニ至リタル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル日ヨリ三月以内ニ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ保險院長官ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スルコトヲ得

第一項ノ申請ヲ爲シタル者カ初テ納付スヘキ保險料ニ付第十四條第一號ニ揭クル事實アリタルトキハ繼續シテ其ノ被保險者ト爲ラサリシモノト看做ス

第十四條 船員保險法第二十一條第一項ニ規定スル事由ハ左ノ如シ

一 保險料ヲ滯納シ船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ依ル指定ノ期限迄ニ其ノ保險料ヲ納付セサルトキ

二 船員保險法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ

三 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル申請ヲ爲シタルトキ

第三章 保險給付

第十五條 船員保險法第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ配偶者（屆出ヲ爲ササルモ事實上婚姻關係ト同樣ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之ニ同シ）トシ配偶者ナキ場合ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其ノ順位ハ親等ノ近キ者ヲ先ニシ卑屬ト尊屬ト親等相同シキトキハ卑屬ヲ先ニス

第十六條 前條ニ定メタル同順位者ノ間ニ在リテハ其ノ順位ハ左ノ規定ニ依ル

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人（之ニ準スヘキ者ヲ含ム以下之ニ同シ）又ハ戶主ハ之ヲ他ノ者ヨリ先ニス

二 男ハ之ヲ女ヨリ先ニス

三 直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニシ嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

四 前二號ニ揭クル事項ニ付相同シキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第十七條 第十五條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ左ニ揭クル順位ニ依リ船員保險法第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ配偶者（屆出ヲ爲ササルモ事實上婚姻關係ト同樣ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之ニ同シ）トシ配偶者ナキ場合ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其ノ順位ハ親等ノ近キ者ヲ先ニシ卑屬ト尊屬ト親等相同シキトキハ卑屬ヲ先ニス

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人又ハ戶主

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ兄弟姉妹ニシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタルモノ

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者

第十八條 船員保險法第二十八條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ左ノ如シ

一 診察

二 藥劑又ハ治療材料ノ支給

三 處置、手術其ノ他ノ治療

四 看護

五 移送

前項第三號ノ給付ハ緊急ノ場合其ノ他地方長官カ必要アリト認ムル場合ヲ除クノ外之ニ要スル費用一回二十圓以下ノモノニ限ル

第一項第四號及第五號ノ給付ハ地方長官カ必要アリト認ムルモノニ限ル

第十九條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルコトヲ得但シ船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療所ニ收容セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

被保險者タリシ者カ前項ノ規定ニ依リ醫師又ハ齒科醫師ヲ選定シタルトキハ地方長官ノ承認アリタル場合ヲ除クノ外之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二十條 前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師カ處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得

第二十一條 被保險者タリシ者ハ左ノ各號ニ規定スル期間內ニ療養ノ給付ヲ受ケサルトキハ爾後之ヲ受クルコトヲ得ス但シ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ已ムコトヲ得サルモノト認メラルルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クヘキ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間ヲ經過シタル日後十日以內

二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルコトヲ得サル者カ被保險者タリシ期間中療養ノ給付ヲ受ケサリシ場合ニ於テハ被保險者タル資格ヲ喪

失シタル日後十日以内

第二十二條 報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ又ハ被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者タリシ者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルモノニハ船員保險法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ヲ爲サス

一 事務長
二 醫師
三 無線通信士
四 通譯
五 船舶職員以外ノ運轉士又ハ機關士ニシテ海技免狀ヲ有スルモノ
六 其ノ他厚生大臣ニ於テ前各號ノ者ニ準スト認ムル者

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ船員保險法第二十九條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

一 地方長官ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認メタルトキ
二 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ地方長官ノ承認ヲ受ケ其ノ指定セサル醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ
三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ緊急ノ場合ニ於テ地方長官ノ指定セサル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

第二十四條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヲ標準トシテ地方長官之ヲ定ム

第二十五條 第二十二條ノ規定ハ船員保險法第三十條第二項ノ規定ニ依リ傷病手當金ヲ支給セサル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シ支給スヘキ傷病手當金ハ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ二十ニ相當スル金額トス

第二十七條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依ル期間ハ船員保險法第二十八條第二項ニ規定スル者ニ付テハ被保險者ノ資格喪失ノ日ヨリ九月トシ其ノ他ノ者ニ付テハ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間トス

第二十八條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依リ癈疾年金ヲ支給スヘキ程度ノ癈疾ノ狀態ハ別表第一ニ該當スルコトヲ要シ癈疾手當金ヲ支給スヘキ程度ノ癈疾ノ狀態ハ別表第二ニ該當スルコトヲ要ス

第二十九條 第二十六條ノ規定ハ船員保險法第五十三條第二項ニ揭クル者ニ對シ支給スヘキ傷病手當金ニ之ヲ準用ス

第三十條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ保險院長官ハ六月以內ノ期間ヲ定メ其ノ者ニ支給スヘキ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正ノ行爲アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ決定ハ保險院長官ニ於テ其ノ事實ヲ知リタルトキ遲滯ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スヘシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ內地以外ノ地ニ於テ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ於テハ第十八條第二項、第三項、第十九條、第二十條、第二十三條及第二十四條中地方長官トアルハ保險院長官トス但シ事務ノ共助ヲ爲ス場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ必要アルトキハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第四章 費用ノ負擔

第三十二條 保險料額ハ每月ニ付船員保險法第二十二條第一項及第二項ノ規定ニ依リ計算シタル被保險者タリシ期間カ一月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額トシ半月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額ノ半額トス

被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於ケル其ノ月分ノ保險料額ハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額ノ半額トス

第三十三條 船員保險法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ノ其ノ被保險者ト爲リタル月ノ保險料額ハ前條ノ例ニ依リ之ヲ算定ス

第三十四條 船舶所有者ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ船員保險法第六十二條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スヘキ前月分ノ保險料（支拂フ報酬カ二月以上ノ期間ニ對スルモノナルトキハ其ノ期間ニ係ル保險料）ヲ其ノ報酬ヨリ控除スルコトヲ得被保險者ヲ雇傭セサルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料ヲモ控除スルコトヲ得

第三十五條　船舶所有者ハ保險料ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應シテ閱覽セシムヘシ

第三十六條　毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スヘシ但シ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ納付スヘキ保險料ニ付テハ厚生大臣ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

保險院長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルヘキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ケ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ケ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險院長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スヘシ

第三十七條　保險料納付義務者カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得

一　國稅、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ

二　強制執行ヲ受クルトキ

三　破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四　競賣ノ開始アリタルトキ

五　法人カ解散ヲ爲シタルトキ

前項ノ規定ハ被保險者ノ乘組ム船舶ニ付船舶所有者ノ變更アリタル場合及被保險者ノ乘組ム船舶カ滅失シ、沈沒シ又ハ全ク運航ニ堪ヘサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第五章　船員保險審査會

第一節　組織

第三十八條　船員保險審査會ハ厚生大臣ノ監督ニ屬シ船員保險法第六十三條及第六十五條ノ審査ヲ爲ス

第三十九條　船員保險審査會ハ第一次船員保險審査會及第二次船員保險審査會トス

第一次船員保險審査會ノ管轄區域ハ厚生大臣之ヲ定メ第二次船員保險審査會ノ管轄區域ハ內地ノ區域トス

船員保險審査會ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム

第四十條　船員保險審査會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四十一條　第一次船員保險審査會ノ會長ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ以テ第二次船員保險審査會ノ會長ハ保險院長官ヲ以テ之ニ充ツ

第四十二條　第一次船員保險審査會ノ委員ハ左ニ揭クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一　官吏、公吏又ハ學識經驗アル者　三人

二　被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者　三人

三　被保險者側ヲ代表シ得ル者　三人

第二次船員保險審査會ノ委員ハ左ニ揭クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一　官吏、公吏又ハ學識經驗アル者　五人

二　被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者　五人

三　被保險者側ヲ代表シ得ル者　五人

第一項第一號ノ規定ニ依ル委員中一人ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第一項及第二項ニ於テ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者トアルハ船舶所有者カ國ナル場合ニ於テハ關係官吏トシ公共團體ナル場合ニ於テハ關係官公吏、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人トス

第四十三條　主トシテ船員保險ノ事務ニ從事スル官吏ハ船員保險審査會ノ委員タルコトヲ得ス

船員保險審査會ノ委員ハ他ノ船員保險審査會ノ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

船員保險法施行令

第四十四條　第一次船員保險審査會ノ委員ハ第四十二條第三項ノ規定ニ依ル地方長官タル委員ヲ除クノ外厚生大臣之ヲ命シ第二次船員保險審査會ノ委員ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

第四十五條　委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏トシテ委員タル者ヲ除クノ外三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ケス

第四十六條　會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ第一次船員保險審査會ニ在リテハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ノ、第二次船員保險審査會ニ在リテハ厚生大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第四十七條　船員保險審査會ニ幹事ヲ置ク

第一次船員保險審査會ノ幹事ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル廳府縣（東京府ヲ除ク以下之ニ同シ）ノ官吏中ヨリ厚生大臣之ヲ命シ第二次船員保險審査會ノ幹事ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ厚生部內ノ高等官中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第四十八條　船員保險審査會ニ書記ヲ置ク

第一次船員保險審查會ノ書記ハ其ノ審查會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ於テ當該廳府縣ノ判任官中ヨリ之ヲ命シ第二次船員保險審查會ノ書記ハ保險院ノ判任官中ヨリ厚生大臣之ヲ命ス

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第二節　審查ノ手續

第四十九條　保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次船員保險審查會ニ審查ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官カ受取リタルモノニ付テハ其ノ地方長官ノ管轄區域ヲ管轄スル第一次船員保險審查會ニ、其ノ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官以外ノモノカ受取リタルモノニ付テハ厚生大臣ノ指定スル第一次船員保險審查會ニ之ヲ爲スヘシ

第五十條　審查ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第四十二條第一項又ハ第二項各號ノ委員各一人以上出席スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及フ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　審查ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十二條　審查ハ文書ニ就キ之ヲ爲ス但シ必要アリト認ムルトキハ口頭審問ヲ爲ス場合ニ於テ議長必要アリト認ムルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラス傍聽ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第五十三條　審查ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件カ審查ノ請求ヲ爲スヘカラサルモノナルトキ又ハ審查ノ請求カ適法ノ手續ニ違反シタルモノナルトキハ船員保險審查會ハ決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ

審查ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件カ管轄違ナルトキハ之ヲ所轄船員保險審查會ニ移送スヘシ

審查ノ請求ニシテ手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ船員保險審查會之ヲ補正セシムヘシ

第五十四條　審查ハ之ヲ公開セス但シ口頭審問ハ之ヲ公開ス

口頭審問ヲ爲ス場合ニ於テ議長必要アリト認ムルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラス傍聽ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第五十五條　關係官吏ハ船員保險審查會ノ請求ニ依リ又ハ其ノ承認ヲ受ケ會議ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得

第五十六條　事件ノ一部カ審查ノ決定ヲ爲スニ熟スルトキハ其ノ部分ニ付先ツ決定ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　審查ノ決定ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第五十八條　審查請求人カ審查ノ決定前ニ死亡シタルトキハ其ノ承繼人ニ於テ審查請求手續ヲ受繼クモノトス

第五十九條　本節ニ規定スルモノノ外審查ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

第六章　朝鮮及臺灣ニ關スル特例

第六十條　朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險法ノ施行ニ關シテハ本章ノ規定竝ニ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第一章乃至第四章及第七章ノ規定ニ依ル

第六十一條　船員保險法中國稅徵收法トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法、臺灣ニ在リテハ臺灣國稅徵收規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法トス

同法中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督トシ北海道、府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳トシ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面稅、臺灣ニ在リテハ市街庄稅トス

同法中民法又ハ船員法トアルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法又ハ朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法トス

第六十二條　本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督トシ保險院長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長トシ府縣稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ道稅、臺灣ニ在リテハ州廳稅トス

本令中地方長官トアルハ第六條第三項ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トシ其ノ他ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長トス

第十一條中及船員法第四十五條ノ規定ニ依ヲ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準スル者トアルハ朝鮮ニ在リテハ竝ニ郵便局長及郵便所長トシ同條中市町村長又ハ

之ニ準スル者トアルハ臺灣ニ在リテハ市尹又ハ街庄長トス

第三十一條中內地トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮、臺灣ニ在リテハ臺灣トス

本令中船員法又ハ第十二條第一號中機船底曳網漁業（東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスルモノヲ除ク）トアルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法又ハ朝鮮總督ノ指定スル機船底曳網漁業トス

第六十三條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ朝鮮總督府裁判所ニ訴ヲ提起シ臺灣ニ在リテハ臺灣船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ臺灣總督府法院ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第六十四條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ同法第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ニ裁決ノ申請ヲ爲シ臺灣ニ在リテハ臺灣總督ニ訴願スルコトヲ得

第六十五條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ裁決ノ申請アリタルトキハ朝鮮總督ハ朝鮮船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決シ訴願ノ提起アリタルトキハ臺灣總督ハ臺灣船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第六十六條 第六十三條第一項ノ審査ノ請求若ハ訴ノ提起又ハ第六十四條ノ裁決ノ申請若ハ訴願ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ之ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ朝鮮ニ在リテハ審査ノ請求ニ付宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ニ於テモ仍之ヲ受理スルコトヲ得ルモノトシ訴ノ提起ニ付テハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民事訴訟法第百五十八條第二項及第百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ臺灣ニ在リテハ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第百五十八條第二項及第百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六十七條 朝鮮船員保險審査會ハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ハ臺灣總督ノ監督ニ屬シ第六十三條及第六十五條ノ審査ヲ爲ス

第六十八條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ハ各會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十九條 朝鮮船員保險審査會ノ會長ハ朝鮮總督府遞信局長ヲ以テ、臺灣船員保險審査會ノ會長ハ臺灣總督府交通局總長ヲ以テ之ニ充ツ

第七十條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ委員ハ各左ニ揭クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 三人

二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 三人

三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 三人

前項ニ於テ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者トアルハ船舶所有者カ國ナル場合ニ於テハ關係官吏トシ公共團體ナル場合ニ於テハ關係官公吏、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人トス

第七十一條 朝鮮船員保險審査會ノ委員ハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ノ委員ハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

第七十二條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル會長事故アルトキハ朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第七十三條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ幹事ヲ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ奏請ニ依リ朝鮮總督府遞信官署ノ高等官中ヨリ、臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ臺灣總督府交通局ノ高等官中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第七十四條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ書記ヲ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督府遞信官署ノ判任官中ヨリ朝鮮總督之ヲ命シ臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督府交通局ノ判任官中ヨリ臺灣總督之ヲ命ス

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第七十五條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ審査ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第七十條第一項各號ノ委員各一人以上出席スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及フ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條 第四十三條第一項、第四十五條、第五十一條、

第五十二條、第五十三條第一項第三項及第五十四條乃至第五十八條ノ規定ハ朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ之ヲ準用ス

第七十七條 本章ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督之ヲ定ム

第七章 雜 則

第七十八條 一ノ地域（內地、朝鮮又ハ臺灣トス以下之ニ同シ）ニ於テ船員保險ノ被保險者タリシ期間ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ者カ他ノ地域（內地、朝鮮若ハ臺灣ノ中當該地域以外ノモノ又ハ關東州トス以下之ニ同シ）ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ當該地域ニ於テ船員保險ノ被保險者タリシ期間ト看做ス

第七十九條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者カ其ノ資格ヲ喪失スヘキ原因タル事實ノ發生シタル日ニ於テ更ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ日ヨリ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失ス

第八十條 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ資格ヲ喪失ス

第八十一條 一ノ地域ニ於テ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ規定ニ依ル船舶所有者ノ扶助ヲ受クル者カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ爲サス

第八十二條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ於テ療養ノ給付ヲ受クル者カ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ期間ヲ計算スル場合ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ爲ストキハ他ノ地域ノ船員保險ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ヲ當該地域ノ船員保險ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ト看做ス

第八十三條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ船籍港ヲ定ムル船舶ノ所有者ヨリ船員法（關東州船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム）第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クル者カ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ關シテハ船員保險法第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第八十四條 一ノ地域ニ於テ養老年金ノ支給ヲ受クル者カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ資格ヲ喪失ス

第八十五條 船員保險法第三十九條第二項及第三項ノ規定ハ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル爲前條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令）ノ規定ニ依リ他ノ地域ノ船員保險ノ養老年金ノ支給ヲ爲サレサルニ至リタル者カ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者カ其ノ資格喪失後一年六月以內ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ脫退手當金ノ支給ヲ爲サス但シ其ノ者カ癈疾手當金ヲ受クル權利ヲ有スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十七條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル後死亡シタルトキハ當該地域ニ於テハ死亡手當金ノ支給ヲ爲サス

第八十八條 他ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定）ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者カ一ノ地域ニ於ケル船員保險法附則第二項中勅令ヲ以テ指定スル日トハ船員保險法施行令

他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ爲サス

附 則

本令ハ昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年五月一日ニ於テ現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ニ對スル標準報酬ハ第四條第一項ノ規定ニ拘ラス同日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ者カ昭和十五年五月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

船員保險法附則第二項中勅令ヲ以テ指定スル日トハ船員保

険法中保険給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日トス

船員保険法附則第二項ノ規定ニ依リ支給スヘキ脫退手當金ハ被保険者タリシ全期間ノ平均報酬月額ニ別表第三ニ定ムル月數ヲ乘シテ得タル金額トス但シ癈疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニ支給スヘキ額ハ癈疾手當金ノ額ト合算シテ被保険者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十五月分ニ相當スル金額ヲ超ユルコトヲ得ス

船員保険法中保険給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日

別表第一

番號	癈疾年金ヲ支給スヘキ程度ノ癈疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・一以下ニ減シタルモノ又ハ一眼失明シ他眼ノ視力〇・三以下ニ減シタルモノ
二	咀嚼若ハ言語ノ機能ヲ癈シタルモノ又ハ咀嚼若ハ言語ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
三	兩耳ノ聽力耳殼ニ接セサレハ大聲ヲ解シ得サルモノ
四	脊柱ニ著シキ畸形又ハ運動障害ヲ殘スモノ
五	一上肢ヲ腕關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十指ヲ失ヒタルモノ
六	一上肢ノ三大關節ノ中二關節以上ノ用ヲ癈シタルモノ又ハ十指ヲ癈シタルモノ
七	一下肢ヲ足關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十趾ヲ失ヒタルモノ
八	一下肢ノ三大關節ノ中二關節以上ノ用ヲ癈シタルモノ
九	胸腹部臟器ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハサルモノ
十	精神又ハ神經系統ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハサルモノ
十一	以上各號ニ該當セサルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ終身勞務ニ服スルコト能ハサルモノ

備考

一　視力ノ測定ハ萬國式視力表ニ依ル屈折異狀アルモノニ付テハ矯正視力ニ付測定ス

二　指ヲ失ヒタルモノトハ拇指ハ指關節、其ノ他ノ指ハ第一指關節以上ヲ失ヒタルモノヲ謂フ

三　指ノ用ヲ癈シタルモノトハ指ノ末節ノ半以上ヲ失ヒ又ハ掌指關節若ハ第一指關節（拇指ニ在リテハ指關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

四　趾ヲ失ヒタルモノトハ其ノ全部ヲ失ヒタルモノヲ謂フ

五　趾ノ用ヲ癈シタルモノトハ第一趾ハ末節ノ半以上其ノ他ノ趾ハ末關節以上ヲ失ヒタルモノ又ハ蹠趾關節若ハ第一趾關節（第一趾ニ在リテハ趾關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

別表第二

番號	癈疾手當金ヲ支給スヘキ程度ノ癈疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・六以下ニ減シタルモノ又ハ一眼ノ視力〇・一以下ニ減シタルモノ
二	兩眼ニ半盲症視野狹窄若ハ視野變狀ヲ殘スモノ又ハ兩眼ノ眼瞼ニ著シキ缺損ヲ殘スモノ
三	鼻ヲ缺損シ其ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
四	咀嚼又ハ言語ノ機能ニ障害ヲ殘スモノ
五	兩耳ノ聽力四十糎以上ニテハ尋常ノ話聲ヲ解シ得サルモノ又ハ一耳ノ聽力耳殼ニ接セサレハ大聲ヲ解シ得サルモノ
六	頸部ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノ

七	一手ノ一指以上ヲ失ヒタルモノ（中指、環指又ハ小指ノミヲ失ヒタルモノヲ除ク）又ハ一手ノ拇指及示指以外ノ三指ノ用ヲ廢シタルモノ
八	一上肢ノ三大關節中ノ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一上肢ニ假關節ヲ殘スモノ
九	一下肢ヲ三糎以上短縮シタルモノ
十	一下肢ノ三大關節中ノ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一下肢ニ假關節ヲ殘スモノ
十一	十趾ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一足ノ第一趾若ハ他ノ四趾ヲ失ヒタルモノ
十二	胸腹部臟器ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得サルモノ
十三	精神ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得サルモノ
十四	神經系統ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得サルモノ
十五	以上各號ニ該當セサルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ船員トシテ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハサルモノ

備考　別表第一ノ備考ニ同シ

別表第三

被保險者タリシ期間	附則第三項ノ日前十五年間ニ於テ船員保險法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間									
	五年以上	六年以上	七年以上	八年以上	九年以上	十年以上	十一年以上	十二年以上	十三年以上	十四年以上
一年以上										
二年以上										
三年以上										
四年以上										
五年以上										
六年以上										
七年以上										
八年以上										
九年以上										
十年以上										
十一年以上										
十二年以上										
十三年以上										
十四年以上										

船員保險法施行規則

（昭和十五年二月厚生省令第五號）

第一章　被保險者

第一節　被保險者ノ乘組ム船舶

第一條　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有（共有及借入ヲ含ム以下之ニ同シ）スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶所有者ノ氏名及住所（船舶所有者カ法人ナルトキハ名稱及主タル事務所ノ所在地以下之ニ同シ）

二　船舶ノ名稱及種類

三　船舶番號

四　船籍港

五　船舶ノ用途

六　船舶ノ總噸數

七　船舶ノ航行區域（漁船ニ在リテハ業務ノ種類）

八　常時ニ於ケル乘組員ノ概數

九　當該船舶ニ乘組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望

十　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ト爲リタル年月日及事由

第二條　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタルトキハ船舶所有者タリシ者所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲スヘキ者アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有ノ氏名及住所

二　船舶ノ名稱及種類

三　船舶番號

四　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタル年月日及事由

第三條　相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ前條ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶所有者ノ氏名及住所（船舶所有者カ法人ナルトキハ名稱及主タル事務所ノ所在地以下之ニ同シ）

二　船舶ノ名稱及種類

三　船舶番號

四　船籍港

五　船舶ノ用途

六　船舶ノ總噸數

七　船舶ノ航行區域（漁船ニ在リテハ業務ノ種類）

ル屆書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一　新舊船舶所有者ノ氏名及住所

二　船舶ノ名稱及種類

三　船舶番號

四　船籍港

五　當該船舶ニ乘組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望

六　相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由

第四條　船舶所有者ハ被保險者ノ乘組ム船舶ノ名稱、種類、船籍港、用途、總噸數若ハ航行區域（漁船ニ在リテハ業務ノ種類）又ハ船舶所有者ノ氏名若ハ住所ニ變更アリタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ前條ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶所有者ノ氏名及住所

二　船舶ノ名稱

三　變更前ノ事項及變更後ノ事項竝ニ變更ノ年月日

第五條　船舶所有者ハ保險料納入告知書ノ送付先ノ變更ヲ希望スルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ保險

院長官ニ提出スヘシ

一　船舶所有者ノ氏名及住所

二　船舶ノ名稱

三　當該船舶ニ乘組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ現在ノ送付先

四　保險料納入告知書ノ希望スル送付先

第六條　第一條乃至前條ノ屆書ハ船舶所有者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ）ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第二節　被保險者ノ資格

第七條　被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ前ニ被保險者タリシ者ニシテ最後ニ被保險者タリシ當時船員保險法施行令（以下令ト稱ス）第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合（以下指定共濟組合ト稱ス）ノ組合員タル被保險者タリシモノナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際指定共濟組合ノ名稱ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際左ニ揭クル事項ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

一　朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別

二　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所但シ船員保險法（關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム）第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ被保險者（朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム）ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ナルトキハ其ノ者ハ資格取得ノ際變更前ノ氏名及變更ノ年月日ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

第八條　船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ樣式第一號ニ依ル届書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ

前條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スヘシ

第九條　船舶所有者ハ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ニ變更アリタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ樣式第二號ニ依ル届書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一　船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ揭クル船員以外ノ船員カ船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ揭クル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二　船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ揭クル船員カ船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ揭クル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三　標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第十條　船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ樣式第三號ニ依ル届書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ

第十一條　被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了又ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳（管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準スル者、市尹及街庄長竝ニ帝國ノ領事官及貿易事務官ヲ含ム）ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得及喪失ノ届出竝ニ職務及報酬月額ノ變更ノ提出ニ關シテハ前三條ノ規定ニ拘ラス別ニ定ムル所ニ依ル

第十二條　被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ遲滯ナク船舶所有者ニ申出ツヘシ

第十三條　船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ氏名ノ變更ニ付左ニ揭クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滯ナク保險院長官ニ提出スヘシ

一　船舶所有者ノ氏名及住所

二　被保險者ノ氏名及年月日竝ニ乘組ム船舶ノ名稱

三　變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十四條　船員保險法（以下法ト稱ス）第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名、生年月日及住所

二　被保險者資格喪失ノ年月日

三　被保險者資格喪失ノ際乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四　被保險者資格喪失ノ際指定共濟組合ノ組合員タル者ナルトキハ其ノ共濟組合ノ名稱

五　令第十三條第一項ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

第十五條　法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名及住所

二　變更前ノ氏名又ハ住所及變更ノ年月日

第十六條　法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル者ハ其ノ申請書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

第三節　標準報酬

第十七條　第八條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ之ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第十八條　第九條ノ規定ニ依リ被保險者ノ報酬月額ノ變更ノ届出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ變更シ之ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第十九條　被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケサルモノノ死亡又ハ行方不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定カ不當ナルトキハ保險院長官ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上其ノ旨ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第二十條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルモノナルトキハ船舶所有者ハ直ニ之ヲ變更スヘシ

前條第三項ノ規定ニハ前項ノ規定依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ變更カ不當ナル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 船舶所有者ハ第十七條若ハ第十八條ノ通知ヲ受ケルトキ、第十九條第一項若ハ第二項ノ決定ヲ爲シタルトキ又ハ前條第一項ノ變更ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スヘシ

第十九條第三項又ハ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二十二條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立又ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳（管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準スル者、市尹及街庄長ヲ含ム）ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十三條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 現在ノ標準報酬ノ等級

三 希望スル標準報酬ノ等級

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルト同時ニ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ其ノ標準報酬ノ減額ノ申請ハ第十四條ノ申請書ニ前項第二號及第三號ニ揭クル事項ヲ附記シテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ前項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スヘシ

第二章 保險給付

第一節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十四條 療養ノ給付ハ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條（朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ管海官廳（管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準スル者、市尹及街庄長ヲ含ム）ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

二十六條ヲ含ム以下之ニ同シ）ノ規定ニ依ル扶助ヲ船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後、傷病手當金ノ支給ハ同令第十五條（朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十五條ヲ含ム以下之ニ同シ）又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當（船員ノ失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同シ）ヲ船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後之ヲ開始ス

第二十五條 被保險者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師（以下保險醫ト稱ス）ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ樣式第四號ニ依リ診療券ノ交付ヲ受クヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳（管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長及市町村長ニ準スル者ヲ含ム以下之ニ同シ）ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スヘシ

船舶所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付ノ年月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ押捺スヘシ

船舶所有者ハ被保險者ヨリ診療券ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

被保險者ハ第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ記載シアル疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ診療券ヲ遲滯ナク船舶所有者ニ返納スヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ヨリ診療券ノ返納ヲ受ケタル時ハ之ヲ遲滯ナク保險院長官ニ提出スヘシ

第二十六條 被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券及船員手帳ヲ保險醫ニ提示スヘシ

第二十七條 保險醫ハ初テ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ提示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スヘシ

第二十八條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ樣式第五號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クヘシ但シ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券

ノ交付ヲ受クル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

被保険者タリシ者ハ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日

前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書ヲ添附スヘシ

第三十條 被保険者タリシ者ハ保険醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療券（第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券）ヲ保険醫ニ提出スヘシ

被保険者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保険醫ニ申出ヅベシ

第三十一條 被保険者又ハ被保険者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ニ付保険醫ニ就キ診療ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滯ナク第六號ニ掲クル保険醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　氏名、生年月日及住所

二　最後ニ被保険者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三　最後ニ被保険者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四　最後ニ被保険者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級

五　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

六　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行

令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日

前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書ヲ添附スヘシ

第三十條 被保険者タリシ者ハ保険醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療券（第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券）ヲ保険醫ニ提出スヘシ

被保険者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保険醫ニ申出ヅベシ

第三十一條 被保険者又ハ被保険者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ニ付保険醫ニ就キ診療ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滯ナク第六號ニ掲クル保険醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保険者タリシ者ニ在リテハ住所

二　乘組ム船舶（被保険者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保険者タリシ當時乘組ミタル船舶）ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

三　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四　療養ノ給付開始ノ年月日

五　當該疾病又ハ負傷ノ行爲ニ因リテ生ジタル事實竝ニ第三者ノ氏名及住所（第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

六　當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保険醫ノ氏名及診療所所在地

第三十二條 被保険者又ハ被保険者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師（以下保険藥劑師ト稱ス）ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受クル保険醫ヨリ處方箋ノ交付ヲ受ケ之ヲ保険藥劑師ニ提出スヘシ

第三十三條 保険醫ハ被保険者又ハ被保険者タリシ者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ醫師法施行規則第九條ノ三又ハ齒科醫師法施行規則第八條ノ三ノ規定ニ依ルノ外其ノ處方箋ニ船員保険ノ被保険者又ハ被保険者タリシ者ナル旨ヲ記載シ其ノ箇所ニ捺印スヘシ

第三十四條 被保険者タリシ者ハ保険醫變更ノ承認ヲ受ケントスルトキ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保険醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　氏名、生年月日及住所

二　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三　療養ノ給付開始ノ年月日

四　現ニ診療ヲ受クル保険醫ノ氏名及診療所所在地

五　保険醫ノ變更ヲ必要トスル事由

六　當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十九條第一項第二號乃至第四號ニ掲クル事項

保険醫變更ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付スル承認書ハ樣式第六號ニ依ルヘシ

第三十五條 前條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ交付シタル保険醫變更ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第三十六條 被保険者又ハ被保険者タリシ者ハ令第十八條第一項第三號（一回ノ費用二十圓ヲ超ユルモノニ限ル）乃至第五號ノ給付ヲ受クルコトノ承認ヲ受ケントスルト

キハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滯ナク左ニ揭クル事項及已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル屆書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三　療養ノ給付開始ノ年月日（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ其ノ旨）

四　現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受クル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地）

五　當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十九條第一項第二號乃至第四號ニ揭クル事項

前項ノ申請書又ハ屆書ニハ令第十八條第一項第三號乃至第五號ノ給付ヲ必要トスル事由、給付ノ內容及之ニ要スヘキ費用ノ見積額ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

令第十八條第一項第三號又ハ第四號ノ給付ヲ診療所ニ入院シタル上受ケントスル者ニ在リテハ本條ノ申請ハ之ヲ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスル申請ニ合シテ爲スコトヲ得第一項但書ノ規定ニ依ル屆出ニ付亦同シ

第三十七條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滯ナク第一號ニ揭クル事項及入院シタル診療所ノ名稱所在地竝ニ已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル屆書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一　前條第一項及各號ニ揭クル事項

二　入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地

前項ノ申請書又ハ屆書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付スル承認書ハ樣式第七號ニ依ルヘシ

第三十八條　地方長官カ被保險者タリシ者ニ對シ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十九條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療所入院ノ承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ入院スヘキ診療所カ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診療所入院ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第四十條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハサルニ至リタルトキハ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官ニ遲滯ナク提出スヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　診療所入院ノ承認アリタル年月日

三　診療所入院ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地

四　入院シタル診療所ノ名稱及所在地竝ニ入院ノ年月日

第四十一條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第二十三條第二號ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ第八號ニ揭クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　乘組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶）ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

三　職務及標準報酬ノ等級（被保險者タリシ者ニ在リテ

ハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級）

四　被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

五　傷病及發病又ハ負傷ノ年月日

六　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ旨

七　疾病又ハ負傷ノ經過

八　診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地竝ニ其ノ診療ヲ受ケントスル事由

九　當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノ開始アリタル者ニ在リテハ其ノ開始ノ年月日及其ノ際診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所所在地（療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタル地方長官名）

十　船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後承認ヲ受ケントスル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ期間ヲ經過シタル事由

十一　當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ氏名及住所（第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

十二　被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ地方長官ヨリ發セラルヘキ書類ノ送付先

前項ノ申請書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要セス

一　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

二　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ

リ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ前項第二號（但書ヲ除ク）ニ揭クル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書ヲ診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

第四十三條　令第二十三條第一號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　第四十一條第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ揭クル事項

二　療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル事由

三　診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地

四　受ケタル診療ノ內容期間及之ニ要シタル費用ノ額

前項ノ申請書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ第二號又ハ第三號ニ揭クル書類ヲ添附スルコトヲ要セス

一　前項第四號ニ揭クル費用ノ額ニ關スル證憑書類

二　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

三　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ前項第三號（但書ヲ除ク）ニ揭クル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　令第二十三條第二號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　受ケタル診療ノ内容期間及之ニ要シタル費用ノ額
三　被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ地方長官ヨリ發セラルヘキ書類ノ送付先

前項ノ申請書ニハ前項第二號ニ揭クル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添附スヘシ

第四十五條　令第二十三條第三號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　第四十一條第一項第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ揭クル事項
二　緊急ナリシコトノ事由
三　手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ氏名及住所
四　受ケタル手當ノ內容、期間及之ニ要シタル費用ノ額

第四十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ申請書ニ之ヲ準用ス

第四十六條　被保險者タリシ者ハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ第十一號ニ揭クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一　氏名、生年月日及住所
二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所
四　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
五　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
六　療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間
七　當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受クルトキハ療養ノ給付開始ノ年月日
八　當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ船舶所有者ノ扶助開始ノ年月日及其ノ扶助ノ義務カ終了シタル場合ニ於テハ其ノ年月日
九　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日其ノ支給ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ事由
十　診療所ニ收容セラレタル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ診療所ノ名稱所在地及之ニ收容セラレタル期間竝ニ專ラ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保險者タリシ者トノ續柄又ハ關係

十一　第六號ニ揭クル期間內ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二回目以後ノ分ノ傷病手當金ノ支給ノ請求書ニ付テハ第二號ニ揭クル書類ヲ添附スルコトヲ要セス

一　前項第六號ニ揭クル期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書
二　當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ前項第四號、第八號及第九號ニ揭クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ第一項第九號後段ニ揭クル事項ニ關スル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ法施行地外ノ別ニ指定スル地ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シテハ法第五十三條第一項但書ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病及手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十八條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮又ハ臺灣ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二節　養老年金

第四十九條　養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ養老年金證書ヲ交付ス

養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名、生年月日及住所
二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所
四　養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル當時第五十三條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
五　第六十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ受給ヲ擇

擇スル者ニ在リテハ其ノ旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一　戸籍ノ抄本又ハ戸籍ノ謄本

二　印鑑票

三　癈疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ前項ノ請求書ニ同項第五號ニ掲クル事項ヲ記載シタルモノニ在リテハ其ノ證書

第五十條　養老年金證書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載ス

一　證書ノ記號番號

二　養老年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三　養老年金ノ額

四　養老年金ノ支給開始ノ年月

第五十一條　養老年金ハ毎年一月、四月、七月及十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スヘカリシ養老年金又ハ養老年金受給者カ死亡シタル場合ニ於テノ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非サル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

第五十二條　養老年金受給者ハ養老年金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ別ニ指定スル官署ニ就キ養老年金證書ヲ提示シテ其ノ支給ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ使用スヘキ印章ハ第四十九條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章タルコトヲ要ス

第五十三條　傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受クル者ニハ法第三十八條ノ規定ニ依リ其ノ支給ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間ニ係ル養老年金ノ支給ヲ停止ス

第五十四條　養老年金受給者ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ第五十七條第一項ノ請求書ニ同條同項第五號ニ掲クル事項ヲ記載スヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

一　氏名及住所

二　養老年金證書ノ記號番號

三　傷病及發病又ハ負傷ノ年月日

四　傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給開始ノ年月日

第五十五條　養老年金受給者ハ第五十三條ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名及住所

二　養老年金證書ノ記號番號

三　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四　傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給終了ノ年月日

第五十六條　養老年金受給者ハ被保險者ト爲リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名及住所

二　養老年金證書ノ記號番號

三　被保險者資格取得ノ年月日

四　乘組ム船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

前項ノ規定ハ養老年金受給者カ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合之ヲ準用ス

第五十七條　法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ノ改定ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名及住所

二　養老年金證書ノ記號番號

三　被保險者資格喪失ノ年月日

四　被保險者資格喪失ノ際乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

五　被保險者ノ資格喪失當時第五十三條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

前項ノ請求書ニハ養老年金證書ヲ添附スヘシ

第五十八條　養老年金受給者ハ其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名及住所

二　養老年金證書ノ記號番號

三　變更前ノ氏名及變更ノ年月日

前項ノ屆書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一　養老年金證書

二　戸籍ノ抄本又ハ氏名ノ變更ニ關スル市町村長ノ證明書

保險院長官ハ前項ノ屆書ノ提出ヲ受ケタルトキハ其ノ屆書ニ添附シアル養老年金證書ヲ更訂シ之ヲ養老年金受給者ニ送付スヘシ

第五十九條　養老年金受給者ハ其ノ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ遲滯ナク保險院長

官ニ提出スヘシ
一　氏名及住所
二　養老年金證書ノ記號番號
三　變更前ノ住所及變更ノ年月日

第六十條　養老年金受給者ハ第四十九條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章ヲ變更セントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ニ新印鑑票ヲ添ヘ之ヲ保險院長官ニ提出スヘシ
一　氏名及住所
二　養老年金證書ノ記號番號

第六十一條　養老年金受給者ハ每年二月末日迄ニ前一月以內ノ間ニ於テ作製セラレタル戶籍ノ抄本ヲ保險院長官ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ養老年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル戶籍ノ抄本ノ提出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ提出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルヘシ

第六十二條　養老年金受給者ハ養老年金證書ヲ亡失シタルトキ又ハ養老年金證書カ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ニ新印鑑票ヲ添ヘ保險院長官ニ提出スヘシ但シ其ノ者ニ於テ法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ノ請求ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス
一　屆出者ノ氏名及住所
二　養老年金受給者ノ氏名及養老年金證書ノ記號番號
三　養老年金受給者ノ死亡ノ年月日

前項ノ屆書ニハ養老年金證書ヲ添附スヘシ但シ之ヲ添附スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第六十五條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十七條但書ノ規定ニ依リ法第三十六條又ハ第三十七條ノ規定ニ

依ル一時金ノ支給ヲ受クヘキ者ヲ豫告ニ依リ指定セントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル豫告書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ其ノ指定ヲ變更セントスルトキ亦同シ
一　豫告者ノ氏名、生年月日及住所
二　豫告者カ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號番號
三　豫告者カ養老年金受給者ニ非サルトキハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日竝ニ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ現ニ被保險者タル者ニ在リテハ其ノ乘組ム船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所
四　指定セラレタル者ノ氏名、生年月日及住所竝ニ豫告者トノ續柄又ハ關係

前項ノ豫告書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ
一　指定セラルル者トノ續柄ヲ證スヘキ書類
二　豫告書ニ押捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書ヲ添附スヘシ

第六十六條　法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ
一　請求者ノ氏名、生年月日及住所
二　養老年金受給者ノ氏名及死亡ノ年月日
三　養老年金證書ノ記號番號
四　養老年金受給者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨
五　請求者カ令第十七條各號ニ揭クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ揭クル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ
一　養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戶籍ノ謄本又ハ除カレタル戶籍ノ謄本

二　養老年金受給者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書、若ハ檢視調書ニ記載シアル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類

三　請求者カ養老年金受給者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ナルトキハ其ノ事實ヲ認メ得ヘキ書類

四　請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫

五　養老年金證書

第六十八條　法第三十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一　請求者ノ氏名、生年月日及住所

二　被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日

三　被保險者タリシ者カ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）

四　被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五　請求者カ令第十七條各號ニ揭クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ揭クル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

前條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス

第三節　癈疾年金及癈疾手當金

第六十九條　養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ癈疾年金ハ之ヲ支給セス養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル者カ同時ニ癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇ニ依リ一ノ年金ヲ支給ス

第七十條　癈疾年金又ハ癈疾手當金ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十七條ニ定スル期間經過ノ日（其ノ期間內ニ癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ治癒シタルトキハ其ノ治癒シタル日）ヨリ十日以內ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一　氏名、生年月日及住所

二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四　癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日竝ニ治癒シタリヤ否ヤ及治癒シタルトキハ其ノ年月日

五　癈疾ノ狀態ノ程度

六　癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地

七　癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リ生シタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ氏名及住所（第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一　癈疾ノ狀態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書

二　印鑑票

第一項ノ請求書ハ同項第六號ニ揭クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第七十一條　前條第一項ノ請求書ノ提出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ給付ニ關スル決定ヲ爲シ之ヲ請求者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ保險院長官ハ請求者ニ癈疾年金證書ヲ交付スヘシ

第七十二條　癈疾年金證書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載ス

一　證書ノ記號番號

二　癈疾年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三　癈疾年金ノ額

四　癈疾年金ノ支給開始ノ年月

第七十三條　癈疾年金受給者ハ每年二月一日ノ現在ニ於ケル癈疾ノ狀態ニ付左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ヲ同月末日迄ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ癈疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　氏名及住所

二　癈疾年金證書ノ記號番號

三　癈疾ノ狀態ノ程度

前項ノ屆書ニハ同項第三號ニ揭クル事項ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ癈疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルヘシ

第七十四條 癈疾年金受給者ハ其ノ癈疾カ癈疾年金ヲ受クル程度ノ狀態ニ該當セサルニ至リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所
二 癈疾年金證書ノ記號番號
三 癈疾カ癈疾年金ヲ受クル程度ノ狀態ニ該當セサルニ至リタル年月日（年月日カ不詳ナルトキハ其ノ推定ノ年月日）

前項ノ届書ニハ癈疾年金證書ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出アリタル場合ニ於テノ其ノ期ノ癈疾年金ハ支給期前ニ拘ラス之ヲ支給ス

第七十五條 第五十一條、第五十二條、第五十八條乃至第六十條及第六十二條乃至第六十四條ノ規定ハ癈疾年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第七十六條 第六十五條乃至第六十七條ノ規定ハ法第四十二條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第四節 脫退手當金

第七十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡シタル場合ニ於ケル脫退手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所
二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日
三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）
四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シアル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類
二 請求者カ請求權ヲ有スルコトヲ證スヘキ書類

第七十八條 被保險者タリシ者ハ脫退手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所
二 癈疾年金證書ノ記號番號
三 第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル年月日

第五節 死亡手當金

第八十一條 死亡手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 請求者ノ氏名及住所
二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日
三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）
四 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍ノ抄本
二 昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間（昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ朝鮮臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間ヲ含ム以下之ニ同シ）ヲ記載シ且左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍ノ抄本
二 昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間ヲ證スヘキ書類

第八十條 法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所
二 癈疾年金證書ノ記號番號
三 最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所
四 第七十條第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル者ニ在リテハ其ノ旨

第七十九條 第七十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ脫退手當金ノ支給ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ脫退手當金カ法附則第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ請求書ニ昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間（昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ朝鮮臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間ヲ含ム以下之ニ同シ）ヲ記載シ且左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍ノ抄本
二 昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間ヲ證スヘキ書類

ル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ氏名及住所

五　死亡カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ氏名及住所（第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

六　被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

七　請求者カ令第十七條各號ニ揭クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ揭クル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

第六十七條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス

被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノカ死亡シタル場合ノ死亡手當金ノ支給ノ請求書ハ第一項第四號ニ揭クル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第八十二條　第六十五條及第六十六條ノ規定ハ死亡手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第六節　雜則

第八十三條　本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ屆書ニ船舶所有者若ハ市町村長ノ證明書又ハ醫師若ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ其ノ申請書、請求書又ハ屆書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ證明書又ハ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八十四條　船舶所有者ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ屆書ニ添附スヘキ證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十五條　保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ屆書ニ添附スヘキ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ第八十三條ノ規定ニ依リ意見ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十六條　保險院長官又ハ地方長官ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ保險給付ニ關シ、帳簿書類ヲ閱覽シ說明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第八十七條　被保險者又ハ被保險者タリシ者カ保險給付ニ關シ地方長官ニ對シ申請、請求又ハ屆出ヲ爲ス場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請書、請求書又ハ屆出ニ添附スヘキ書類ハ申請、請求又ハ屆出ノ際之ヲ提出スヘシ但シ地方長官ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

口頭ヲ以テ申請、請求又ハ屆出ヲ爲シタル者アル場合ニ於テ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ其ノ申請、請求又ハ屆出ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作製シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名調印セシムヘシ

第八十八條　被保險者、被保險者タリシ者又ハ其ノ他ノ者ヨリ保險院長官ニ提出スル保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ屆書ハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第三章　船員保險法第六十三條ノ審查手續

第八十九條　審查ノ請求ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ第一次船員保險審查會ニ對スル審查ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第九十條　文書ヲ以テ審查ノ請求ヲ爲サントスル者ハ審查請求書ニ記名調印シ證據書類アルトキハ之ヲ添附シ當該

船員保險審查會ニ提出スヘシ

第一次船員保險審查會ニ對スル審查請求書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　審查請求人ノ氏名、生年月日及住所竝ニ審查請求人カ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ非サルトキハ其ノ職業及被保險者又ハ被保險者タリシ者トノ關係

二　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ乘組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶）ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所

三　保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ受取リタル行政官廳名

四　保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳名

五　保險給付ニ關スル處分ノ通知ヲ受ケタル年月日

六　請求ノ事件及一定ノ申立

七　請求ノ理由

八　立證

九　年月日

第二次船員保險審查會ニ對スル審查請求書ニハ前項第一號、第二號及第七號乃至第九號ニ揭クル事項ノ外左ニ揭

クル事項ヲ記載シ第一次船員保險審査會ノ決定書又ハ其ノ謄本ヲ添附スヘシ

一　第一次船員保險審査會ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル年月日

二　第一次船員保險審査會ノ決定ニ對スル不服ノ程度及變更ノ申立

第九十一條　口頭ヲ以テ審査ヲ請求シタル者アルトキハ書記ハ前條第二項各號ニ揭クル事項ヲ記載シタル審査請求調書ヲ作製シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名調印セシメ證據書類アルトキハ之ヲ提出セシムヘシ

前項ノ審査請求調書ニハ之ヲ作製シタル書記ハ署名捺印スヘシ

第九十二條　船員保險審査會ハ審査ノ請求ヲ受ケタルトキハ保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳ニ對シ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ヲ送付スヘシ

行政官廳ハ前項ノ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ノ送付ヲ受ケタルトキハ十日以內ニ答辯書及證據書類ヲ當該船員保險審査會ニ提出スヘシ

第九十三條　船員保險審査會ハ必要アリト認ムルトキハ期限ヲ指定シテ當事者交互ニ辯駁書及答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第九十四條　審査ノ決定書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一　審査請求人ノ氏名、生年月日及住所

二　保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳名

三　決定主文

四　決定ノ理由

五　年月日

前項ノ決定書ノ原本ニハ會長ハ署名捺印スヘシ

第九十五條　船員保險審査會ハ前條第一項ノ決定書ノ原本ニ基キ正本及副本各一通ヲ作製シ船員保險審査會ノ印ヲ押捺シテ遲滯ナク正本ハ之ヲ審査請求人ニ交付シ副本ハ之ヲ關係アル行政官廳ニ送付スヘシ

審査請求人ニ對シ決定書ヲ交付スルコトヲ得サルトキハ船員保險審査會ハ其ノ決定書ヲ揭示板ニ揭示スヘシ

前項ノ揭示アリタル後七日ヲ經過シタルトキハ決定書ノ交付アリタルモノト看做ス

第九十六條　審査請求人ハ船員保險審査會ニ對シ決定書ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第四章　雜則

第九十七條　令第六條第一項ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ樣式第八號ニ依ル

第九十八條　廳府縣（東京府ヲ除ク）ノ官吏カ保險料滯納處分ノ爲財產ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スヘキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證票ハ樣式第九號ニ依ル

第九十九條　法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ保險料其ノ他法ニ依ル徵收金納入ノ告知及督促ニ關スル書類ニ付テハ保險院ニ、滯納處分ニ關スル書類ニ付テハ道府縣廳（東京府ニ在リテハ警視廳）又ハ船員保險ノ事務ヲ分掌スル廳府縣出張所ニ之ヲ爲スヘシ

第百條　令第三十五條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載シ船舶每ニ之ヲ備フヘシ

一　被保險者ノ氏名

二　控除シタル保險料ノ所屬月及金額

三　控除シタル年月日

第百一條　法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ每月ノ保險料ヲ其ノ月十日迄ニ納付スヘシ

第百二條　船舶所有者ハ船員保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

第百三條　本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ左ニ揭クル事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

一　第八條第一項第九條、第十條及第十三條ノ規定ニ依ル屆出（船長タル被保險者ニ關スルモノヲ除ク）ヲ爲スコト

二　第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ決定ヲ爲スコト

三　第二十條第一項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ變更ヲ爲スコト

四　第二十一條ノ規定ニ依リ標準報酬ノ等級ヲ船員手帳ニ記載ヲ爲スコト

五　第二十五條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲スコト

六　第二十五條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ爲スコト

七　第四十一條第二項、第四十三條第二項及第四十五條第二項ノ規定ニ依ル證明書ノ交付（被保險者タリシ者ニ對スルモノヲ除ク）ヲ爲シ又ハ其ノ交付ニ代フル記載ヲ爲スコト

第五章　罰　則

第百四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第一條乃至第四條、第八條第一項、第九條、第十條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

二　第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者

三　第二十條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ變更ヲ怠リ又ハ不當ノ變更ヲ爲シタル者

四　第二十一條ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

五　第二十五條第三項ノ規定ニ依ル記載ヲ怠リ又ハ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

六　正當ノ事由ナクシテ第二十五條第四項又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依ル請求ニ應セス、故ナク診療券ノ交付ヲ爲シ又ハ診療券ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

七　第二十五條第六項ノ規定ニ依ル診療券ノ提出ヲ怠リタル者

八　正當ノ事由ナクシテ第八十四條ノ規定ニ依ル請求ニ

應セス又ハ虚僞ノ證明ヲ爲シタル者

九　第百條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付若ハ記載ヲ怠リ、虚僞ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ對シ閲覽ヲ拒ミタル者

十　第百二條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者

第百五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第十五條、第三十一條、第四十條第二項、第五十四條、第五十六條又ハ第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ届リ又ハ其ノ届書ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

二　第七條又ハ第十二條ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リ又ハ虚僞ノ申出ヲ爲シタル者

三　第二十五條第五項ノ規定ニ依ル診療券ノ返納ヲ怠リタル者

第百六條　保險院若ハ廳府縣ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者ハ故ナク第八十六條ノ規定ニ依ル閲覽、説明又ハ報告ニ關シ知得シタル醫師、齒科醫師若ハ藥劑師ノ業務上ノ秘密又ハ個人ノ秘密ヲ漏洩シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

第百七條　第一條乃至第七條、第十二條、第百二條、第百四條及第百五條ノ規定ハ昭和十五年三月一日ヨリ、第八條乃至第十一條、第十三條乃至第二十三條及第百三條ノ規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ、第二十四條乃至第百一條及第百六條ノ規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百八條　第一條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スル船舶所有者ハ其ノ所有スル船舶ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ同條各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ昭和十五年三月三十一日迄ニ保險院長官ニ提出スヘシ

第百九條　第八條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者タル船員ヲ雇傭スル船舶所有者ハ其ノ雇傭スル船員タル被保險者ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ様式第一號ニ準スル届書ヲ昭和十五年五月三十一日迄ニ保險院長官ニ提出スヘシ

第八條ノ規定施行ノ際法施行地外ニ在ル船舶ニ乘組ム被保險者ニ關シ前項ノ定ムル期日迄ニ届書ヲ提出シ得サル場合ニ於テハ届書提出ノ手續ヲ爲シ得ルニ至リタルトキ直ニ之ヲ提出スヘシ

第百十條　船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル届書ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

前項ノ規定ニ依ル船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定カ不當ナルトキハ保險院長官ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上其ノ旨ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

船舶所有者ハ第一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スヘシ前項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第百十一條　第百九條ノ規定ニ依ル届書竝ニ前條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定及同條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第百十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第百八條又ハ第百九條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ届書ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

二　第百十條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者

三　第百十條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

樣式第一號（第八條）

昭和何年何月何日

何府（縣）何市（郡）何町（村）大字何何番地

船舶所有者何會社（何某）

代理人

船長何某㊞

保險院長官殿

船員保險被保險者資格取得屆

船名											
資格取得年月日	昭和　年　月　日										

氏名	生年月日	資格取得原因	職務	報酬月額 給料	職長手當	勤續手當	機關部手當	其ノ他	計	※標準報酬等級	備考
	年 月 日			円	円	円	円	円	円		
	年 月 日										
	年 月 日										
	年 月 日										

備考

一　本屆書ノ大サハ縱約二十六糎、橫約十八糎トス

二　氏名ノ讀ミ方困離ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スヘシ

三　女子タル被保險者ニ付テハ氏名ノ左側ニ「（女）」ト附記スヘシ

四　「資格取得原因」欄ニハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル原因カ船舶ニ乘組ムニ至リタルモノナルトキハ「就職」「乘船」等ト、日本ノ國籍ヲ取得シタルニ因ルモノナルトキハ「國籍取得」ト、漁船ニシテ業務ノ種類ヲ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「漁業種類變更」ト、船籍港ヲ臺灣ヨリ內地ニ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「船籍港變更」ト記載シ其ノ他之ニ準スヘシ

五　「報酬月額」欄ニハ令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スヘシ

六　「報酬月額」欄ノ「其ノ他」欄ニハ職長手當、勤續手當及機關部手當以外ノ給料ニ準スヘキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スヘシ

七　※「標準報酬等級」欄ハ空欄ノ儘ト爲シ置クヘシ

八　第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ左ニ揭クル事項ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ

（イ）　最後ニ被保險者タリシ當時指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ指定共濟組合ノ名稱

（ロ）　最後ニ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別並ニ其ノ被保險者ノ資格喪失當時乘組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ法第二十條（關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル法第二十條ヲ含ム）ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

（ハ）　最後ニ被保險者（朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム）ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ニ在リテハ變更前ノ氏名及變更ノ年月日

様式第二號（第九條）

昭和何年何月何日

何府（縣）何市（郡）何町（村）大字何何番地

船舶所有者何會社（何某）

代理人　　船長　何　某　㊞

保險院長官殿

船員保險被保險者職務報酬月額變更屆

船名	
變更年月日	昭和　年　月　日

氏名	生年月日		職務	報酬月額 給料	報酬月額 職長手當	報酬月額 勤續手當	報酬月額 機關部手當	報酬月額 其ノ他	報酬月額 計	※標準報酬等級	備考
	年 月 日	變更前		円	円	円	円	円	円		
		變更後									
	年 月 日	變更前									
		變更後									
	年 月 日	變更前									
		變更後									

備考

一　本屆書ノ大サハ縱約二十六糎、横約十八糎トス

二　氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スヘシ

三　職務ノミ變更アリタルトキハ「報酬月額」欄ニ、報酬月額欄ノミ變更アリタルトキハ「職務」欄ニ斜線ヲ畫スヘシ

四　「報酬月額」欄ニハ令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スヘシ

五　「報酬月額」欄ノ「其ノ他」欄ニハ職長手當、勤續手當及機關部手當以外ノ給料ニ準スヘキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スヘシ

六　「※標準報酬等級」欄ハ空欄ノ儘ト爲シ置クヘシ

様式第三號（第十條）

昭和何年何月何日

何府（縣）何市（郡）何町（村）大字何何番地

船舶所有者何會社（何某）

代理人　　船長　何　某　㊞

保險院長官殿

船員保險被保險者資格喪失屆

船名	
資格喪失年月日	昭和　年　月　日

氏名	生年月日	資格喪失原因	備考
	年　月　日		
	年　月　日		
	年　月　日		

年　月　日	年　月　日	年　月　日

備考

一　本届書ノ大サハ縦約二十六糎、横約十八糎トス
二　氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スヘシ
三　「資格喪失原因」欄ニハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル原因カ船舶ニ乘組マサルニ至リタルモノナルトキハ「退職」・「下船」等ト、死亡シタルニ因ルモノナルトキハ「死亡」ト、日本ノ國籍ヲ喪失シタルニ因ルモノナルトキハ「國籍喪失」ト、漁船ニシテ業務ノ種類ヲ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「漁業種類變更」ト、船籍港ヲ內地ヨリ臺灣ニ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「船籍港變更」ト記載シ其ノ他之ニ準スヘシ
四　「資格喪失年月日」欄ニハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル原因ノ生シタル日ノ翌日ヲ記載スルモノトス
五　被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル者ニ付テハ其ノ取得シタル日ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ

樣式第四號（第二十五條）

（外面）

診療記錄（其ノ二）

初診年月日	保險醫ノ診療所所在地及氏名並ニ印
昭和　年　月　日	

（內地）　船員保險診療券

注　意

(1) この診療券はこれに書いてある傷病についてのみ有效のもので初て診療を受けた日から六箇月を過ぎるとその後はこの傷病について診療を受けられません。
(2) 被保險者は保險醫に就いて診療を受ける場合にはこの診療券を保險醫に提示せねばなりません。この場合には保險醫はこれに初診年月日を書入れて被保險者に返します。
(3) 被保險者はこの診療券に書いてある傷病が治癒したとき、初て診療を受けた日から六箇月を過ぎたとき、その他診療を受けることができなくなつたときはこの診療券を直ぐに發行者に返さなければなりません。
(4) 被保險者の資格がなくなつた者は保險醫に就いて診療を受ける場合にはこの診療券を保險醫に渡さなければなりません。
(5) 詐つてこの診療券で診療を受けた者は詐欺罪として十年以下の懲役の處分を受けます。

氏名			
生年月日	年 月 日	男女別	
職務		標準報酬等級	等級
船舶ノ名稱			
船舶所有者	（住所又ハ所在地 氏名又ハ名稱）		
傷病	傷病名	發病又ハ負傷年月日	昭和 年 月 日
本傷病ニ付船舶所有者ニ於テ扶助義務ナキ理由			
管海官廳ニ對スル證明申請及本券發行者	船舶所有者代理人船長 何某 ㊞		
本年 券發行月日	昭和 年 月 日		
備考			
上記傷病ニ付船舶所有者ニ於テ扶助義務ナキコトヲ證明ス 昭和 年 月 日 管海官廳名印			

診療記錄（其ノ一）

傷病名ニ關スル事項		
初診年月日	年 月 日	保險醫ノ診療所所在地及氏名竝ニ印
昭和		

（丙面）

備考

一 本診療券ノ大サハ縱約十五糎、横約二十一糎トシ中央點線ノ箇所ヲ以テ二ツ折ト爲スモノトス

二 本診療券ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ一通發行スルモノトス

三 本診療券ニ記載シアル疾病又ハ負傷ニ付初テ保險醫ノ診療ヲ受クル前ニ當該疾病又ハ負傷ニ付診療費ノ支給ヲ受クルモノナルトキハ其ノ旨及其ノ支給開始ノ年月日ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ

四 滅失又ハ毀損シタルニ因リ再交付スル場合ニ於テハ再交付ノ旨及療養ノ給付開始アリタル年月日ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ

五 第二十八條第二項ノ規定ニ依リ交付スル診療券ニ在リテハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル旨及其ノ年月日ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ

六 「傷病」欄ノ「傷病名」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルヘシ

（イ） 齒ノ疾病又ハ負傷ニ付テ其ノ患齒ノ部位ヲモ記載スヘシ

（ロ） 傷病名カ不詳ナルトキハ其ノ旨及症狀ヲ記載スヘシ

七 「本券發行年月日」欄ニハ被保險者ニ交付ノ年月日ヲ記載スヘシ

八 「診療記錄」欄ハ保險醫ニ於テ之ヲ記載スヘキモノニシテ其ノ記載ニ付テハ左ニ依ルヘシ

（イ） 「初診年月日」欄ニハ疾病又ハ負傷ニ付診療ヲ爲シタル各保險醫ノ初診ノ年月日ヲ記載スヘシ

（ロ） 疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ爲シタル保險醫ニ於テ其ノ診療ヲ爲シタル結果「傷病」欄ノ「傷病名」欄ニ記載シアル傷病名カ不正確ナルトキ又ハ同欄ニ傷病名カ不詳ナル旨ヲ記載シアルトキハ其ノ正シキ傷病名ヲ「傷病名ニ關スル事項」欄ニ記載スヘシ

（ハ） 疾病又ハ負傷ニ因リ發シタル疾病ニ付診療ヲ爲シタル保險醫ハ「（續發）」ト附記シテ其ノ病名及自己ノ氏名ヲ「傷病名ニ關スル事項」欄ニ記載スヘシ

様式第五號（第二十八條）

船員保險診療券

氏名			
生年月日	年　月　日	男女別	
住所			
被保險者資格喪失年月日	昭和　年　月　日		
船舶ノ名稱			
船舶所有者	（住所又ハ所在地）（氏名又ハ名稱）		
昭和　年　月　日			

注意　(一)　船舶所有者の扶助義務が終つてからでなければ保險醫の診療を受けることができません。

(二)　保險醫に就いて診療を受ける場合にはこの診療券を保險醫に渡さなければなりません。

傷病名	發病又ハ負傷年月日	船舶所有者ノ扶助義務終了年月日	療養ノ給付開始年月日
	昭和　年　月　日	昭和　年　月　日	※昭和　年　月　日

備考

地方長官ノ官氏名印

備考

一　本診療券ノ大サハ縱約二十一糎、橫約十五糎トス

二　本診療券ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ一通發行スルモノトス

三　※印ヲ附シアル欄ハ保險醫ニ於テ之ヲ記載スルモノトス

様式第六號（第三十四條）

船員保險醫變更承認書

氏名			
生年月日	年　月　日	男女別	
住所			
被保險者資格喪失年月日	昭和　年　月　日		
船舶ノ名稱			
船舶所有者	（住所又ハ所在地）（氏名又ハ名稱）		

傷病名	發病又ハ負傷年月日	昭和　年　月　日	現在受療ノ保險醫（診療所所在地）（氏名）
	病養ノ給付開始年月日	昭和　年　月　日	

備考

右保險醫變更承認ス

昭和　年　月　日

地方長官ノ官氏名印

注意　變更後の保險醫に就いて診療を受ける場合にはこの承認書をその保險醫に渡さなければなりません。

備考

本承認書ノ大サハ縱約二十一糎、橫約十五糎トス

様式第七號（第三十七條）

船員保險診療所入院承認書

氏名		傷病名	
生年月日	年　月　日　男女別	發病又ハ負傷年月日	昭和　年　月　日
住所		療養ノ給付開始年月日	昭和　年　月　日
被保險者資格喪失年月日	昭和　年　月　日	入院豫定ノ診療所	（所在地）（名稱）
船舶ノ名稱		備考	
船舶所有者	（住所又ハ所在地）（氏名又ハ名稱）		

右診療所入院承認ス

昭和　年　月　日　　地方長官ノ官氏名印

注意　診療所に入院する場合にはこの承認書をその診療所に渡さなければなりません。

備考

本承認書ノ大サハ縱約二十一糎、横約十五糎トス

様式第八號（第九十七條）

第何號	何府（縣）何市（郡）何町（村）大子何何番地	何會社（何某）	
昭和何年度	何々（款）	何々（項）	

督促狀

一金　何程　　昭和何年何月分船員保險保險料

一金　貳拾錢　　督促手數料

一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額　　延滯金

右昭和何年何月何日限リ日本銀行本店、支店又ハ代理店（何々）ヘ納付スヘシ

指定期限迄ニ保險料及手數料ヲ完納シタルトキハ延滯金ヲ徵收セス

指定期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ其ノ財產差押ノ處分ヲ爲スヘシ

昭和何年何月何日

保險院長官　氏名　印

備考

一　延滯金ヲ徵收セサルモノニ在リテハ「一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額　延滯金」及「指定納期迄ニ保險料及督促手數料ヲ完納シタルトキハ延滯金ヲ徵收セス」ノ文字ヲ記載セサルモノトス

二　日本銀行ニ納付ヲ指定シタルトキハ本文ノ「納付スヘシ」ノ下ニ左ノ但書ヲ加フルモノトス「但シ同日ヲ經過シタルトキハ何々ヘ納付スルヲ要ス」

備考

本證ハ縱約八糎、横約五糎ノ大サトシ厚キ紙ヲ用フヘシ

官職氏名
廳府縣何出張所 何道府縣廳又ハ何

（裏面）

第何號
納者財産差押證票 船舶保險保險料滯 縣廳印府

（表面）

樣式第九號（第九十八條）

船員保險ノ被保險者資格得喪屆出等ニ關スル件

（昭和十五年四月厚生、遞信省令第一號）

第一條 船員保險ノ被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了及變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳（船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長及之ニ準スル者ヲ含ム以下之ニ同シ）ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得、資格ノ喪失、職務ノ變更及報酬月額ノ變更ノ屆出、標準報酬ノ決定及變更並ニ船員保險法施行規則ニ依リ船舶所有者カ診療券又ハ證明書ヲ交付スヘキ場合ニ於ケル管海官廳ノ證明ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者タル海員ノ雇入ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得ニ付樣式第一號ニ依ル屆書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ屆書ニ其ノ申出ヲ爲シタル事項ヲ附記スヘシ

第三條 被保險者タル海員ノ職務又ハ給料若ハ手當ノ變更ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ノ變更ニ付樣式第二號ニ依ル屆書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ

一 船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員以外ノ船員カ船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員カ船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第四條 被保險者タル海員ノ雇止ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ喪失ニ付樣式第三號ニ依ル屆書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ

第五條 被保險者タル海員ニシテ雇人ノ公認ヲ受ケサルモ

ノノ死亡又ハ行方不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付様式第四號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 管海官廳ハ第二條第一項若ハ前條ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ決定又ハ變更ヲ爲スモノトス

第七條 船舶所有者ハ第二條第一項ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ管海官廳ニ提出シタルトキハ直ニ海員名簿ヲ當該管海官廳ニ提出シ其ノ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クヘシ

船舶所有者ハ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク當該被保險者タル海員ノ標準報酬ノ等級ヲ其ノ受有スル船員手帳ニ記載スヘシ

第八條 管海官廳ハ第五條第一項ノ届書ヲ受ケ標準報酬ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ標準報酬ノ等級ヲ船舶所有者ニ通知スルモノトス

第九條 船舶所有者ハ船員保險法施行規則第二十五條第二項、第二十八條第三項、第四十一條第三項、第四十三條第三項、第四十五條第二項又ハ第四十六條第三項ノ規定ニ依リ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル診療券又ハ證明書ニ其ノ者ノ疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條、第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助又ハ手當ノ支給ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳ノ證明ヲ受クルコトヲ得

第十條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項、第三條、第四條又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

二 第七條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クルコトヲ怠タル者

三 第七條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

附則

本令ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號

年　月　日

保險院長官殿

船員保險被保險者資格取得届

届出者

船舶番號	船種船名	總噸數	船舶ノ用途	航行區域又ハ從業制限	船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
第號	船丸	噸			

雇入年月日	雇入地	機關 種類	機關 公稱馬力
年月日			馬力

乘組員實數 甲板部	機關部	事務部	其ノ他	計
人	人	人	人	人

船員手帳番號	海員氏名	出生年月日	海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類	職務	報酬月額 給料	報酬月額 準給料	報酬月額 計	手當	標準報酬等級	雇入期間	職業紹介ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱	摘要
第號		年月日										
第號		年月日										
第號		年月日										
第號		年月日										
第號		年月日										

第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號												年月日
第號	人											年月日
第號	一											年月日
第號	一	一										
第號	一	一	一									
第號	一	一	一	一								
第號	一	一	一	一	一							
第號	一	一	一	一	一	一						
第號	一	一	一	一	一	一	一					
第號	一	一	一	一	一	一	一	一				
第號	一	一	一	一	一	一	一	一	一			
第號	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
備考												

備考

一　本届書ノ大サハ縦二十九・七糎、横四十二糎トス

二　届出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スヘシ

三　氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スヘキ雇入公認申請書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一致セシムヘシ

四　氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スヘシ

五　女子タル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ノ左側ニ「(女)」ト記載スヘシ

六　「報酬月額」欄ニハ船員保險法施行令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スヘシ

七　「報酬月額」欄ノ「準給料」欄ニハ職長手當、勤續手當、機關部手當及給料ニ準スヘキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スヘシ

八　船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ左ニ揭クル事項ヲ「摘要」欄ニ記載スヘシ

(イ)　最後ニ被保險者タリシ當時船員法施行令第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別並ニ其ノ被保險者ノ資格喪失當時乘組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ船員保險法(關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

(ロ)　最後ニ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別並ニ其ノ被保險者ノ資格喪失當時乘組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ船員保險法(關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

(ハ)　最後ニ被保險者(朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム)ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ニ在リテハ變更前ノ氏名及變更ノ年月日

九　本届書中船舶番號、總噸數、船舶ノ用途、航行區域又ハ從業制限、雇入地、機關ノ種類及公稱馬力、船員手帳番號、海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類、手當、雇入期間、職業紹介ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

様式第二號

年　月　日

保險院長官殿

届出者

船員保險被保險者職務變更届

船舶番號		船種船名		船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	
第　號		船丸			
變更年月日		變更地			
年　月　日					

船員手帳番號	海員氏名	出生年月日	雇入公認ノ年月日及官廳名	海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類	變更ノ内容					
					職務	報酬月額	給料	手當	標準報酬等級	其ノ他
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					

第　號		年月日	年月日							
					新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
第　號		年月日	年月日		新					
					舊					
計	人									

備考

一　本届書ノ大サハ縦二十九・七糎、横四十二糎トス

二　届出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スヘシ

三　氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スヘキ雇入契約變更公認申請書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一致セシムヘシ

四　氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スヘシ

五　職務ノミノ變更アリタルモノハ「職務」欄ニ、報酬月額ノミノ變更アリタルモノハ「報酬月額」欄ニ斜線ヲ畫スヘシ

六　「報酬月額」欄ニハ船員保險法施行令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スヘシ

七　「報酬月額」欄ノ「準給料」欄ニハ職長手當、勤續手當、機關部手當及給料ニ準スヘキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スヘシ

八　本届書中船舶番號、變更地、船員手帳番號、雇入公認ノ年月日及官廳名、海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類、變更ノ内容中手當、其ノ他ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

樣式第三號

年　月　日

保險院長官殿

船員保險被保險者資格喪失屆

屆出者

船舶番號	船種船名	船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
第　號	船丸	
雇止年月日	雇止地	
年　月　日		

乘組員實數				
甲板部	機關部	事務部	其ノ他	計
人	人	人	人	人

船員手帳番號	海員氏名	出生年月日	雇入公認ノ年月日及官廳名	職務	雇止事由	備考
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
第　號		年月日	年月日			
計	人					

備考

一　本屆書ノ大サハ縱二十九・七糎、横四十二糎トス

二　屆出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スヘシ

三　氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スヘキ雇止公認申請書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一致セシムヘシ

四　氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スヘシ

五　被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル者ニ付テハ其ノ取得シタル日ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ

六　本屆書中船舶番號、雇止地、船員手帳番號、雇入公認ノ年月日及官廳名ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

様式第四號

年　月　日

保險院長官　殿

届出者

雇入未公認船員保險被保險者資格得喪届

船舶番號	船種船名	航行區域又ハ從業制限	總噸數	船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
			噸	

第　號	船員手帳番號	氏名	出生年月日	雇入年月日	雇入地	職務	報酬月額 給料	報酬月額 準給料	報酬月額 計	手當	標準報酬等級	死亡（行方不明）年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
第　號			年月日	年月日								年月日
計	人											

船員保險事務共助ニ關スル件

（昭和十五年六月勅令第三百六十七號）

內地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ當該地域以外ノ地域ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ其ノ地域カ內地ナルトキハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督府遞信局長竝ニ管海官廳、郵便局長及郵便所長、臺灣ナルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ臺灣總督府交通局總長竝ニ管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長、關東州ナルトキハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定ムル所ニ依リ關東海務局長相互ニ其ノ事務ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件

（昭和十五年六月厚生省令第二十一號）

第一條　昭和十五年勅令第三六七號船員保險事務共助ニ關スル件ニ依リ朝鮮、臺灣又ハ關東州（以下他ノ地域ト稱ス）ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ內地ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ其ノ地域カ內地ナルトキハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ）之ヲ行フ

第二條　地方長官カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ昭和十五年厚生省第十七號內地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件ニ相當スル他ノ地域ノ法令ノ規定ニ依ルモノトス

地方長官カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル診療券、保險醫變更ノ承認書又ハ診療所入院ノ承認書ハ船員保險法施行規則樣式第五號、第六號又ハ第七號ニ依ルヘシ

船員保險法施行規則第二十七條、第三十三條、第八十五條、第八十六條及第百六條ノ規定ハ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

內地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件

（昭和十五年五月厚生省令第十七號）

第一條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ船員保險法施行規則（以下則ト稱ス）第四十七條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地（以下指定地ト稱ス）ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條、第二十六條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條第一項、第三十六條、第三十七條第一項及第二項、第三十八條乃至第四十六條、第八十三條、第八十四條、第八十七條、第百三條、第百四條及第百五條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條第一項、第三十六條、第三十七條第一項第三十八條乃至第四十二條、第四十四條、第四十六條及第八十七條中單ニ「地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府交通局總長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トシ「樣式第五號ニ依ル診療券」トアルハ「診療券」トシ「管轄スル地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「管轄スル管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム）ヲ經由シテ朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「管轄スル管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督府交

通局總長」、關東州ニ在リテハ「管轄スル關東海務局長」トシ「入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム）ヲ經由シテ朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「入院承認申請當時現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督府交通局總長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トス

前項ノ規定ニ依リ申請書、請求書ハ屆書ヲ提出スル場合ニ於テハ之ニ內地ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ附記スヘシ

第三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ於テ爲ス療養ノ給付ニ付テハ船員保險法施行令第三十一條中「保險院長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府交通局總長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トス

第四條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ指定地（關東州ヲ除ク）ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條乃至第三十四條、第三十六條乃至第四十六條、第八十三條乃至第八十七條、第百三條乃至第百六條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條、第三十六條乃至第四十二條、第四十四條、第四十六條及第八十七條中「地方長官」、「診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「第六號ニ揭ク保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受クル保險醫（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」「現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル地方長官」、「入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官」、「第八號ニ揭クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官」又ハ「第十一號ニ揭クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」トアルハ「保險院長官」トス

前項ノ規定ニ依リ申請書、請求書又ハ屆書ヲ提出スル場合ニ於テハ當該地ニ駐在スル帝國ノ領事官ニ之ヲ差出スヘシ

第五條 被保險者タリシ者カ內地以外ノ地ニ於テ療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テハ第二條若ハ前條又ハ則第三十四條ノ規定ニ依リ朝鮮總督府遞信局長、臺灣總督府交通局總長、關東海務局長、保險院長官又ハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル保險醫變更ノ承認書ハ本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル則第三十條ノ規定ニ依リ提出スヘキ診療券ト看做ス

附　則

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險特別會計法

（昭和十五年三月法律第十三號）

第一條 船員保險事業ノ會計ハ之ヲ特別トシ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歲入歲出竝ニ關東州、朝鮮及臺灣ニ於テ爲サル當該地域以外ノ地域ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歲入歲出ハ前項ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ夫々關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムルコトヲ得

第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリノ受入金、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ヨリノ受入金、積立金ヨリ生スル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ保險給付費、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ特別會計ヘノ繰入金、借入金ノ償還金及利子、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第三條 本會計ニ於ケル歲入總額ノ歲出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ積立ツヘシ

本會計ノ歳計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スヘシ

第四條 本會計ニ於テ保險給付費竝ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ繰入ルル金額ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第六條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第七條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律

（昭和十五年三月法律第十四號）

第一條 內地、關東州、朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル船員保險ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ヲ除クノ外保險給付ヲ爲シタル場合被保險者タリシ者カ內地、關東州、朝鮮及臺灣ノ中二以上ノ地域ニ於ケル船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ保險給付ニ要スル費用ニ付國庫ノ負擔スル金額ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一般會計竝ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於テ之ヲ分擔ス

第二條 船員保險特別會計ハ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於テ夫々關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ニ付療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ要シタル費用ニ相當スル金額竝ニ其ノ他ノ保險給付ニ要シタル費用ノ五分ノ四ニ相當スル金額ヲ其ノ特別會計ニ繰入ルルコトヲ得關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ハ夫々關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ保險料ノ調定濟歳入額ニ相當スル金額、勅令ヲ以テ定ムル收入ノ額ニ相當スル金額竝ニ船員保險特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スヘキ金額ヲ船員保險特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計相互間ニ於テハ當該特別會計カ他ノ特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スヘキ金額ヲ其ノ特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

附　則

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律・船員保險特別計規則

船員保險特別會計規則

（昭和十五年六月勅令第三百七十七號）

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

前項ノ豫定計算書ニハ其ノ年三月三十一日現在ノ積立金明細目錄ヲ添附スヘシ

第二條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣保險院長官ニ命シテ之ヲ執行セシムヘシ但シ他ノ官吏ニ命シテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 本會計ニ於テハ當該年度ノ收入濟歳入額ヲ以テ支拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足ヲ生シタルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ノ承認ヲ經テ積立金ニ屬スル現金ヲ前條ノ支拂元受高ニ繰替使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額ハ當該年度內ニ之ヲ返還スヘシ

第五條　毎年度出納ノ完結迄ニ收入濟又ハ支出濟ト爲ラサルモノハ現ニ其ノ收支ヲ爲シタル年度ノ歲入又ハ歲出トス

第六條　歲入徵收官ハ毎月徵收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ之ヲ保險院長官ニ送付スヘシ

第七條　保險院長官ハ徵收報告書ニ依リ毎月徵收總報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第八條　支出官ハ毎月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ保險院長官ニ送付スヘシ

第九條　保險院長官ハ支出濟額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十條　毎年度ニ於ケル歲入ノ收入濟額ヨリ歲出ノ支出濟額ヲ控除シタル過剩額ハ之ヲ積立金ニ組入ルヘシ

前項歲入ノ收入濟額カ歲出ノ支出濟額ニ對シ不足アルトキハ之ヲ積立金ヨリ補足スヘシ

第十一條　歲入歲出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十二條　保險院ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ船員保險ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第十三條　保險院ハ歲入簿ヲ備ヘ歲入ノ豫算額、調定濟額收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スヘシ

第十四條　支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スヘシ

第十五條　保險院ハ歲出簿及支拂元受高差引簿ヲ備ヘ歲出簿ニハ歲出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記シ支拂元受高差引簿ニハ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スヘシ

第十六條　本令ニ規定セサルモノニ付テハ會計規則ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ適用ス

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歲入歲出ノ件

（昭和十五年六月勅令第三百八十號）

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歲入歲出ハ夫々當該地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險料及附屬雜收入ヲ以テ歲入トシ當該地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費（昭和十五年勅令第三六七號ニ依リ當該地域以外ノ他ノ地域ニ於テ支出スルモノヲ除ク）及當該地域以外ノ他ノ地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費ニシテ同令ニ依リ當該地域ニ於テ支出スルモノヲ以テ歲出トス

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歲入歲出ノ件・昭和十五年法律第十四號第二條及第三條ノ規定ニ依リ支出金及收入ノ額ヲ定ムルノ件

附　則

本令ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ適用ス

昭和十五年法律第十四號第二條及第三條ノ規定ニ依リ支出金及收入ノ額ヲ定ムルノ件

（昭和十五年六月勅令第三百七十九號）

第一條　昭和十五年法律第十四號第二條ノ規定ニ依ル支出金ノ額ハ昭和十五年勅令第三七八號ニ依リ當該特別會計ヨリ指定共濟組合ニ繰入レタル金額及當該地域以外ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ關シ當該特別會計ニ於テ支出シタル保險給付ニ要シタル費用ノ額トス

第二條　昭和十五年法律第十四號第三條ノ規定ニ依ル收入ノ額ハ昭和十五年勅令第三七八號ニ依リ指定共濟組合ヨリ當該特別會計ニ繰入ルヘキ金額及當該特別會計ニ於テ

支出シタル保險給付ニ要シタル費用ニシテ會計規則第二十九條ノ規定ニ依リ歲入ニ組入ルヘキ返納金ノ調定濟額（療養ノ給付及傷病手當金ノ支給以外ノ保險給付ニ關スルモノナルトキハ其ノ調定濟歲入額ノ五分ノ四ニ相當スル額）トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計竝ニ指定共濟組合間ノ船員保險ニ關スル積立ツヘキ金額ノ繰入ニ關スル件

（昭和十五年六月勅令第三百七十八號）

第一條　一ノ地域（內地、朝鮮、臺灣又ハ關東州トス以下之ニ同シ）ニ於ケル船員保險法施行令第八條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定）ニ依リ指定シタル共濟組合（指定共濟組合）ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者カ其ノ地域ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ト爲リタルトキハ當該共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ト爲リタルトキハ船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツヘキ額ニ相當スル金額ヲ其ノ地域カ內地ナルトキハ船員保險特別會計ニ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ニ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ニ繰入ルヘシ

一ノ地域ニ於ケル指定共濟組合ノ組合員タラサル被保險者又ハ被保險者タリシ者カ其ノ地域ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタルトキハ其ノ地域カ內地ナルトキハ船員保險特別會計ヨリ、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督府特別會計ヨリ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ヨリ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ヨリ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツヘキ額ニ相當スル金額ヲ當該共濟組合ニ繰入ルヘシ

第二條　一ノ地域ニ於ケル指定共濟組合ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者カ他ノ地域（內地、朝鮮、臺灣又ハ關東州トス以下之ニ同シ）ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ト爲リタルトキハ當該共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツヘキ額ニ相當スル金額ヲ其ノ地域カ內地ナルトキハ船員保險特別會計ヨリ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ヨリ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ヨリ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツヘキ額ニ相當スル金額ヲ當該共濟組合ニ繰入ルヘシ

第一條　一ノ地域（內地、朝鮮、臺灣又ハ關東州トス以下之ニ同シ）ニ於ケル船員保險法施行令第八條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定）ニ依リ歲入ニ組入ルヘキ返納金ノ調定濟額（療養ノ給付及傷病手當金ノ支給以外ノ保險給付ニ關スルモノナルトキハ其ノ調定濟歲入額ノ五分ノ四ニ相當スル額）トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令第十條及第八十八條ノ規定ニ基ク命令ニ關スル件

（昭和十五年五月厚生省第十八號）

第一條　船員保險法施行令第八條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定）ニ依リ指定シタル共濟組合（以下指定共濟組合ト稱ス）ヨリ船員保險法第四十六條ノ規定ニ依ル脫退手當金ニ相當スル給付若ハ同法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ニ相當スル給付ヲ受ケタル者又ハ同法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付（指定共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノニ限ル）ヲ受クル者ニ付テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ニ含マルル被保險者タリシ期間ハ之ヲ同法第二十二條第三項（但書ヲ除ク）ノ規定ニ依リ合算スヘキ期間ヨリ除ク

第二條　被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額又ハ平均報

酬月額ヲ計算スル場合ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ期間ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者カ指定共濟組合ニ納付シタル其ノ期間ニ係ル掛金ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

第三條 指定共濟組合ヨリ船員保險法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付（指定共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノヲ除ク）ヲ受クル者カ指定共濟組合ノ組合員タルザル被保險者（以下政府管掌ノ被保險者ト稱ス）ト爲リタル爲其ノ支給ヲ爲サレサルニ至リタル場合ニ於テ其ノ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ計算ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ額ガ指定共濟組合ヨリ支給ヲ受ケタル養老年金ニ相當スル給付ノ額ヨリ少ナキトキハ其ノ從前ノ額ヲ以テ養老年金ノ額トス

第四條 指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ガ引續キ政府管掌ノ被保險者タル船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタル場合ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者ガ指定共濟組合ノ組合員トシテ最後ニ納付シタル掛金

ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

附　則

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル船員保險ノ被保險者ノ資格得喪屆出等ニ關スル件

（昭和十五年五月厚生省令第十五號）

第一條 船員保險ノ被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了及變更ニ付臺灣ニ於テ船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳（船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹街庄長ヲ含ム以下之ニ同シ）ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得、資格ノ喪失、

職務ノ變更及報酬月額ノ變更ノ屆出竝ニ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者タル海員ノ雇入ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得ニ付昭和十五年厚生省令第一號船員保險ノ被保險者ノ資格得喪屆出等ニ關スル件（以下共同省令ト稱ス）樣式第一號ニ依ル屆書ヲ當該管海官廳ニ提出シ標準報酬ノ決定ヲ受クベシ

船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ屆書ニ其ノ申出ヲ爲シタル事項ヲ附記スヘシ

第三條 被保險者タル海員ノ職務又ハ給料若ハ手當ノ變更ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ノ變更ニ付共同省令樣式第二號ニ依ル屆書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルモノナルトキハ其ノ標準報酬ノ變更ヲ受クヘシ

一　船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ揭クル船員以外ノ船員カ船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ揭クル船員ガ船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ揭クル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

二　船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ揭クル船員ガ船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ揭クル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三　標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第四條 被保險者タル海員ノ雇止ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ喪失ニ付共同省令樣式第三號ニ依ル屆書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ

第五條 被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケサルモノノ死亡又ハ行衞不明ニ付臺灣ニ於テ船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ニ屆出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付共同省令樣式第四號ニ依ル屆書ヲ當該管海官廳ニ提出シ標準報酬ノ決定ヲ受クヘシ

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 船舶所有者ハ第二條第一項ノ屆書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ屆書ヲ臺灣ニ於テ管海官廳ニ提

出シタルトキハ直ニ海員名簿ヲ當該管海官廳ニ提出シ其ノ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クヘシ

船舶所有者ハ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク當該被保險者タル海員ノ標準報酬ノ等級ヲ其ノ受有スル船員手帳ニ記載スヘシ

第七條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項、第三條、第四條又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

二 第六條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クルコトヲ怠リタル者

三 第六條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者

附 則

本令ハ昭和十五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險ノ保險料率

（昭和十五年五月 厚生省告示第百三號）

一 船員保險法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ヲ爲ササル被保險者及同法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付六圓四十錢ノ割

二 前號以外ノ被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付八圓二十錢ノ割

船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依ル共濟組合ノ指定

（昭和十五年六月 厚生省告示第百六十二號）

昭和十五年六月一日左ノ共濟組合ヲ船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依リ指定シタリ

遞信共濟組合　國有鐵道共濟組合

船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準ス、ヘキモノノ指定ノ件

（昭和十五年三月 厚生省告示第五十號）

船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準スヘキモノヲ左ノ通指定ス

一 給料割增手當ニシテ物價騰貴ニ對シ支給セラルルモノ

船員保險事務取扱規程

（昭和十五年六月 厚生省訓第二百六十七號）

第一條 船員保險事務ニ從事スル職員ハ船員保險ニ關スル法令、通牒等ニ通曉シ常ニ事務取扱上過誤ナキコトヲ期スヘシ

第二條 船員保險事務ニ從事スル職員ハ被保險者其ノ他ノ者ト應接スル場合ニ於テハ特ニ懇切叮寧ヲ旨トスヘシ

第三條 被保險者其ノ他ノ者ニ對スル通知、照會等ノ文書ハナルヘク平易ナル文體ヲ用ヒ必要アルトキハ振假名ヲ施シ又ハ註釋ヲ加フル等適宜ノ方法ヲ講シ記載事項ヲ了解スルニ便ナラシムヘシ

第四條 船舶所有者、被保險者又ハ被保險者タリシ者若ハ其ノ他ノ者ヨリ受ケタル申請書、届書等ニシテ其ノ記載事項ニ輕微ナル誤謬アル場合ニ於テ其ノ誤謬カ直ニ訂正シ得ヘキモノナルトキハ便宜之ヲ訂正スヘシ

第五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ヨリ保險給付ニ關シ口頭ニ依ル申請、請求又ハ届出ヲ受ケタルトキハ必要ナル事項ヲ聽取シ之ニ基キ書類ヲ作成シ讀聞カセタル上之ニ記名調印セシムヘシ

船員保險法施行規則（以下則ト稱ス）第八十七條第二項ノ規定ニ依リ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヨリ提出アリタル書類ハ前項ノ書類ニ之ヲ添附シ置クヘシ

第六條 廳府縣ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 船員保險船舶臺帳　樣式第一號

二　船員保險傷病給付臺帳　樣式第二號
三　船員保險徵收金滯納財產差押證票交付簿　樣式第三號

第七條　左ノ屆書ヲ受ケタルトキハ船員保險船舶臺帳ヲ整理シ其ノ屆書ヲ保險院長官ニ送達スヘシ

一　被保險者乘組船舶取得屆書（第一條本文前段）
二　被保險者乘組船舶該當屆書（則第一條本文後段）
三　被保險者乘組船舶離權屆書（則第二條本文前段）
四　被保險者乘組船舶該當除外屆書（則第二條本文後段）
五　被保險者乘組船舶包括承繼屆書（則第三條）
六　被保險者乘組船舶名稱等變更屆書（則第四條）

前項ノ屆書ヲ受ケタルトキ其ノ船舶若ハ船舶所有者ガ他ノ廳府縣ニ在リタルモノナルトキハ其ノ廳府縣ニ船舶臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會シ又他ノ廳府縣ニ移動シタルコトヲ知リタルトキハ船舶臺帳ノ寫ヲ其ノ廳府縣ニ送付シ其ノ旨ヲ通知スルコト

第八條　診療券交付請求書（則第二十九條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スコト

一　診療券ヲ交付スヘキモノト決シタルトキハ診療券ヲ請求者ニ交付スルコト

診療券ヲ交付シタル者ニ付テハ船員保險傷病給付臺帳（以下傷病給付臺帳ト稱ス）ニ登載スルコト

二　診療券ヲ交付スヘカラサルモノト決シタルトキハ其ノ旨請求者ニ通知スルコト

第九條　保險醫變更承認申請書（則第三十四條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ヘキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保險醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト
二　承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト
三　承認セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト
四　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

第十條　處置手術等承認申請書、看護承認申請書又ハ移送承認申請書（則第三十六條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登

載シアラサルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ヘキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保險醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト
二　承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト

尙看護ノ承認ニ付テハ其ノ期間ヲモ決定スルコト

三　承認セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト
四　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前項ノ規定ハ處置手術等受給屆書、看護受給屆書又ハ移送受給屆書（則第三十六條第一項但書）ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條　入院承認申請書（則第三十七條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ヘキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保險醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト
二　承認スルモノト決シタルトキハ入院期間ヲモ決定シ

承認書ヲ申請者ニ交付スルコト
三　承認セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト
四　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前項第五號ノ規定ニ依ル傷病給付臺帳ノ寫ノ送付ヲ受ケタル廳府縣ハ其ノ寫ニ依リ傷病給付臺帳ニ登載スヘシ

前二項ノ規定ハ入院屆書（則第三十七條第一項但書）ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條　豫定外診療所入院屆書（則第四十條第二項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト
二　入院シタル診療所ノ所在地ガ他ノ廳府縣ノ管轄區域內ナルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シ併セテ其ノ旨ヲ通知スルコト但シ前條第一項第五號ノ規定ニ依リ

傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルモノニ在リテハ其ノ送付先ノ廳府縣ニ對シ豫定外ノ診療所ニ入院シタルコト（入院シタル診療所ノ名稱及所在地竝ニ入院ノ年月日ヲ附記シ）ヲ通知スルコト

前項第二號ノ規定ニ依リ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付又ハ同號但書ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル廳府縣ハ之ニ依リ傷病給付臺帳ニ登載シ又ハ傷病給付臺帳ヲ整理スヘシ

第十三條　保險醫ヨリ診療報酬請求書ヲ受ケタルトキハ傷病給付臺帳ヲ整理スヘシ但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本請求書ニ依リ登載シ尙他ノ廳府縣ニ於テ保險醫變更ノ承認ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト

前項ノ規定ハ保險藥劑師ヨリ調劑報酬請求書ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　指定外醫師受療承認申請書（則第四十一條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ當該疾病又ハ負傷ノ療養ノ給付ニ關シ曾テ他ノ廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルコトアルトキハ其ノ廳府縣ニ於テモ前項ノ規定ニ依リ夫夫通知ヲ爲スヘシ以下同樣ノ場合ノ廳府縣亦之ニ同シ

第十五條　療養ノ給付受給困難ナル場合ノ療養費支給申請

給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト

二　承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト

三　承認セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

四　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前項第一號但書ノ照會ヲ受ケタル廳府縣ニシテ當該疾病又ハ負傷ノ療養ノ給付ニ關シ曾テ他ノ廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルコトアルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ現在ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ前項第一號但書ノ照會ヲ發シタル廳府縣ニ送付スヘキ旨ヲ通知シ且前項第一號但書ノ照會ヲ發シタル廳府縣ニ對シ此ノ通知ヲ發シタル旨ヲ通知スヘシ

前項前段ノ通知ヲ受ケタル廳府縣ニシテ當該疾病又ハ負傷ノ療養ノ給付ニ關シ曾テ他ノ廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルコトアルトキハ其ノ廳府縣ニ於テモ前項ノ規定ニ依リ夫夫通知ヲ爲スヘシ以下同樣ノ場合ノ廳府縣亦之ニ同シ

第十五條　療養ノ給付受給困難ナル場合ノ療養費支給申請書（則第四十三條第一項）、指定外醫師受療ノ場合ノ療養費支給申請書（則第四十四條）又ハ緊急ノ場合ノ療養費支給申請書（則第四十五條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付（又ハ療養費支給）開始アリタル廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト

二　支給スルモノト決シタルトキハ支給額ヲ決定シ支給決定通知書ヲ申請者ニ交付スルコト

三　支給セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

四　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前條第二項ノ規定ハ前項第一號但書ノ照會ヲ受ケタル廳府縣ニ之ヲ準用ス

第十六條　第三者ノ行爲ニ因ル傷病受療屆書（則第三十一條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト

二　當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ爲ササルニ至リタルトキハ其ノ事實及其ノ給付ニ要シタル費用額ヲ保險院長官ニ報告スルコト

保險院長官ヨリ第三者ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ爲スヘキ旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ手續ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ療養費ノ支給ヲ爲シタル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　傷病手當金支給請求書（則第四十六條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルモノニ在リテハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケ得ヘキ者ナリヤ否ヤヲ診療ヲ爲シタル醫師等ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト

二　支給スルモノト決シタルトキハ支給額ヲ決定シ支給決定通知書ヲ請求者ニ交付スルコト

三　支給セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ請求者ニ通知スルコト

四　傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本請求書ニ依リ登載スルコト

第十八條　法第五十一條第一項、第五十二條、第五十四條又ハ第五十六條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ノ全部又ハ一部ヲ爲サザリシトキハ傷病給付臺帳ヲ整理スヘシ

第十九條　前條ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ遲滯ナク保險院長官ニ報告スヘシ

第二十條　詐欺其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病手當金ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者アルトキハ其ノ事實ヲ直ニ保險院長官ニ報告スヘシ

第二十一條　癈疾給付請求書（則第七十條第一項）ヲ受ケタルトキハ之ニ記載シアル癈疾ノ狀態ノ程度ヲ調査ノ上意見ヲ具シ之ヲ保險院長官ニ進達スヘシ

（樣式第一號）　船員保險船舶臺帳　（第六條）

名稱	
船舶番號	第　　　號
船籍港	
用途	
總噸數	噸
常時乗組員數	人
航行區域（漁船ニ在リテハ漁業ノ種類）	
船舶所有者　住所又ハ所在地	
船舶所有者　氏名又ハ名稱	
船員保險法適用年月日及事由	年　　月　　日
備考	

備考

一　「船員保險法適用年月日及事由」欄ニハ被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乘組ム船舶ト爲リタル年月日及事由ヲ記載スルコト（事由ハ「新造」、「何會社（何某）ヨリ讓受」「漁業種類何々ヲ變更」、「船籍港臺灣ヨリ變更」等ノ如ク簡明ニ之ヲ記載スルコト）尙船員保險法施行規則第一條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルモノニ付テハ「昭和十五年三月一日法施行」ト記載スルコト

二　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタルトキハ其ノ年月日及事由ヲ「備考」欄ニ記載シ且上方欄外ニ「消込」ト朱書スルコト（事由ハ「解撤」、「何會社（何某）へ讓渡」、「漁業種類何々ニ變更」、「船籍港臺灣ニ變更」等ノ如ク簡明ニ之ヲ記載スルコト）

三　記載シアル事項ニ變更アリタルトキハ當該事項ヲ更訂スルノ外其ノ變更ノ事項及年月日ヲ「備考」欄ニ記載スルコト

四　本臺帳ハカード式ト爲スモ可ナルコト

（様式第二號）　船員保險傷病給付臺帳（第六條）（廳府縣名）

被保險者又ハ被保險者タリシ者							乘組船舶		傷病名	發病又ハ負傷年月日	船舶所有者扶助義務終了年月日、義務ナキトキハ其ノ旨	給付ニ關スル各種承認
氏名	生年月日	男女別	職務	標準報酬等級	被保險者タリシ者ニ在リテハ資格喪失年月日	被保險者タリシ者ニ在リテハ住所	名稱	船舶所有者（住所又ハ所在地）（氏名又ハ名稱）		年　月　日	年　月　日	
	年　月　日			第　級	年　月　日					診療券交付年月日	船舶所有者ノ手當支給義務終了年月日義務ナキトキハ其ノ旨	
										年　月　日	年　月　日	

療養ノ給付開始年月日	療養ノ給付終了年月日	傷病手當金支給開始年月日	療養ノ給付終了事由	前所屬廳名	爾後所屬廳名
年　月　日	年　月　日	年　月　日			

當廳管內ノ給付										
所屬年月										
療養ノ給付　期間										
療養ノ給付　費用額	円									
療養ノ給付　保險醫氏名										
傷病手當金　期間										
傷病手當金　支給額	円									
備考										

摘要

備考

一　本臺帳ハ當該廳府縣ニ於テ診療券ヲ交付シタルトキ又ハ交付セサルモ其ノ廳府縣管轄區域內ニ於テ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ受クルモノナルコト判明シタルトキ（即チ保險醫ヨリ診療報酬ノ請求其ノ他ノ場合ニ於テ判明シタルトキ）ハ直ニ之ヲ記載シ其ノ後ノ事項ニ付テハ其ノ都度之ヲ整理スルコト

二　本臺帳ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ記載スルコト（二以上ノ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ場合ノ傷病手當金ノ事項ハ何レカ一ノ分ノ疾病又ハ負傷ノ方ニ之ヲ記載シ「備考」欄ニ其ノ旨記載スルコト）

三　「被保險者又ハ被保險者タリシ者」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルコト

（イ）「職務」欄及「標準報酬等級」欄ニハ被保險者タリシ者ニ付テハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級ヲ記載スルコト

（ロ）「被保險者タリシ者ニ在リテハ資格喪失年月日」欄ニハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日ヲ記載スルコト

四　「乘組船舶」欄ニハ被保險者タリシ者ニ付テハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所又ハ名稱及所在地ヲ記載スルコト

五　「診療券交付年月日」欄及「船舶所有者扶助義務終了年月日義務ナキトキハ其ノ旨」欄ハ診療券ノ交付ヲ爲シタル廳府縣ニ於テノミ之ヲ記載スルコト

六　「船舶所有者ノ手當支給義務終了年月日義務ナキトキハ其ノ旨」欄ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲シタル廳府縣ニ於テノミ之ヲ記載スルコト

七　「給付ニ關スル各種承認」欄ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト

（イ）保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、不承認ノ場合ハ其ノ旨

（ロ）令第十八條第一項第三號乃至第五號ノ給付ノ承認ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ給付ノ屆出アリタル場合ニ於テ之ヲ

認メタルトキハ其ノ年月日及看護ノ承認ニ在リテハ看護期間、不承認ノ場合ハ其ノ旨

(ハ)　入院ノ承認ヲ爲シタルトキ又ハ入院ノ屆出アリタル場合ニ於テ之ヲ認メタルトキハ其ノ年月日並ニ入院豫定ノ診療所（屆出ヲ認メタルトキハ入院シタル診療所）ノ名稱所在地及入院期間、不承認ノ場合ハ其ノ旨

(ニ)　入院豫定外ノ診療所ニ入院シタルコトノ屆出アリタルトキハ入院月日並ニ診療所ノ名稱及所在地

(ホ)　指定外醫師ニ就キ受療スルコトノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日並ニ診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地、不承認ノ場合ハ其ノ旨

八　「前所屬廳名」欄ニハ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付又ハ通知ヲ受ケタル場合ニ其ノ寫又ハ通知ヲ發シタル廳府縣名ヲ記載スルコト

九　「爾後所屬廳名」欄ニハ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタル場合ニ其ノ送付先ノ廳府縣名ヲ記載スルコト

十　「療養ノ給付終了年月日」欄及「療養ノ給付終了事由」欄ノ當該廳府縣ノ管轄區域內ニ於テ療養ノ給付ヲ終了シタルモノノミニ付之ヲ記載スルコト

十一　「當廳管內ノ給付」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルコト

(イ)　「期間」欄ニハ例ヘハ五日ヨリ十日迄ナルトキハ「五―一〇」ノ如ク記載シ又五日ヨリ十日迄ト十三日ヨリ二十日迄トアルトキハ「五―一〇、一三―二〇」ノ如ク記載スルコト

(ロ)　療養ノ給付ニシテ保險藥劑師ニ於テ藥劑ヲ支給シタルモノ又ハ療養費トシテ支給シタルモノアルトキハ「療養ノ給付」欄ニハ此分ヲ保險醫ニ於テ診療ヲ爲シタル分ト區別シテ記載スルコト尙保險藥劑師ニ於テ藥劑ヲ支給シタルモノニ付テハ「期間」欄ニ「（何日分）」ノ如ク其ノ日數ヲ記載シ「保險醫氏名」欄ニ「藥何某」ノ如ク記載スルコト

又療養費トシテ支給シタルモノニ付テハ「保險醫氏名」欄ニ「（療養費）」ト記載スルコト

(ハ)　傷病手當金ノ額カ令第二十六條ノ規定ニ該當スルモノナルトキハ「備考」欄ニ「（令第二十六條）」ノ如ク附記スルコト

十二　左ノ事項ハ之ヲ「摘要」欄ニ記載スルコト

(イ)　被保險者タリシ者ニシテ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ事由

(ロ)　第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所（第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スルコト尙事實ハ之ヲ簡單ニ記載スルコト）

十三　本臺帳ハカード式トナスモ可ナルコト

（樣式第三號）　船員保險徵收金滯納財產差押證票交付簿（第六條）

交付年月日	番號	官職氏名	返納年月日	取扱者印	備考

北海道廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

（昭和四年八月内務省告示第二百六十號）

改正　昭和八年五月告示第百三十六號

北海道官制第三十七條ニ依リ北海道廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域左ノ通定ム

北海道廳健康保險出張所名稱、位置及管轄區域表

名稱	位置	管轄區域
北海道廳函館健康保險出張所	北海道函館市（元町一丁目渡島支廳内）	函館市、渡島支廳管内、檜山支廳管内
北海道廳旭川健康保險出張所	北海道旭川市（八條通一七丁目）	旭川市、上川支廳管内、留萌支廳管内宗谷支廳管内、網走支廳管内
北海道廳釧路健康保險出張所	北海道釧路市（浦見町釧路支廳管内）	釧路市、釧路支廳管内、十勝支廳管内根室支廳管内

警視廳及府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

（昭和十年五月内務省告示第三百八號）

改正　昭和十五年六月告示第三百一號

警視廳官制第三十四條及地方官官制第四十八條ノ二ノ規定ニ依リ警視廳及府縣出張所ヲ置キ其ノ名稱、位置及管轄區域ヲ別表ノ通定ム

（別表）

警視廳及府縣出張所ノ名稱、位置及管轄區域表

名稱	位置	管轄區域
警視廳芝健康保險出張所	東京府東京市	芝區、麹町區、神田區、麻布區、赤坂區及大島八丈並小笠原各支廳管内
警視廳京橋健康保險出張所	東京府東京市	京橋區、日本橋區
警視廳兩國健康保險出張所	東京府東京市（木所區東兩區ノ二ノ一〇）	下谷區、淺草區、本所區、深川區
警視廳龜戸健康保險出張所	東京府東京市（城東區龜戸町六ノ一〇〇）	向島區、城東區、葛飾區、江戸川區
警視廳王子健康保險出張所	東京府東京市（王子區王子町一〇〇）	荒川區、王子區、足立區
警視廳板橋健康保險出張所	東京府東京市（板橋區板橋町二ノ五四）	板橋區、豐島區、濁野川區
警視廳新宿健康保險出張所	東京府東京市（四谷區三光町八）	四谷區、牛込區、小石川區、本鄉區、目黒區世田谷區、澁谷區、淀橋區、中野區、杉並區
警視廳品川健康保險出張所	東京府東京市（品川區大井立會町五五）	品川區、大森區、荏原區
警視廳蒲田健康保險出張所	東京府東京市品川區大井立會町五六五（警視廳品川健康保險出張所内）	蒲田區
警視廳八王寺健康保險出張所	東京府八王寺市（元横山町四三）	八王寺市、西多摩郡、南多摩郡、北多摩郡
神奈川縣川崎健康保險出張所	神奈川縣川崎市	川崎市、鶴見區

北海道廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域・警視廳及府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

長野縣岡谷健康保險出張所	長野縣	岡谷市
靜岡縣濱松健康保險出張所	靜岡縣	濱松市
愛知縣熱田健康保險出張所	愛知縣	名古屋市（熱田區神戸町八八）
愛知縣一宮健康保險出張所	愛知縣	一宮市（城崎通五ノ一三）
愛知縣岡崎健康保險出張所	愛知縣	岡崎市（朝日町字西浦一ノ一）
愛知縣豐橋健康保險出張所	愛知縣	豐橋市
大阪府大手前健康保險出張所	大阪府	大阪市（東區大手前之町一府廳內）
大阪府城東健康保險出張所	大阪府	大阪市
大阪府天滿健康保險出張所	大阪府	大阪市（北區浪花町一四四ノ一）
大阪府淀川健康保險出張所	大阪府	大阪市（西淀川區海老江中一ノ一一岡澤ビル內）
大阪府泉尾健康保險出張所	大阪府	大阪市（大正區大正通一大正橋三和ビル內）

岡谷市、飯田市、諏訪郡、上伊那郡、下伊那郡	西筑摩郡
濱松市、榛原郡、小笠郡、周智郡、磐田郡	濱名郡、引佐郡
熱田區、昭和區、中川區、港區、南區、半田市	愛知郡、海部郡
一宮市、羽丹郡、葉栗郡、中島郡	
岡崎市、碧海郡、幡豆郡、額田郡、西賀茂郡	東賀茂郡
豐橋市、北設樂郡、南設樂郡、寶飯郡、渥美郡	八名郡
東區、西區	
天王寺區、東成區、布施市、中河內郡、北河內郡	
北區、東淀川區、旭區、吹田市、三島郡	
此花區、西淀川區、豐中市、豐能郡	
西區、港區、大正區、浪速區	

大阪府玉出健康保險出張所	大阪府	大阪市（西成區玉出田端通二ノ三玉出衛生會館內）
大阪府貝塚健康保險出張所	大阪府	泉南郡貝塚町（泉南郡貝塚町西六六四）
兵庫縣尼崎健康保險出張所	兵庫縣	尼崎市（東本町一ノ五〇大日本紡績尼崎構內）
兵庫縣姬路健康保險出張所	兵庫縣	姬路市（直鑒町一一ノ八）
福岡縣小倉健康保險出張所	福岡縣	小倉市（砂津一七二ノ二）
福岡縣久留米健康保險出張所	福岡縣	久留米市（東町四七三）

住吉區、西成區、堺市、南河內郡	
岸和田市、泉南郡、泉北郡	
尼崎市、西宮市、川邊郡、武庫郡、有馬郡	多紀郡、氷上郡
姬路市、飾磨郡、神崎郡、印南郡、加古郡、加東郡、加西郡、多可郡	飾磨市、赤穗郡、佐用郡、宍粟郡、揖保郡、美方郡、養父郡、城崎郡、出石郡
門司市、小倉市、戸畑市、八幡市、若松市	京都郡、築上郡、企救郡
久留米市、大牟田市、朝倉郡、三井郡、浮羽郡	八女郡、三門郡、三潴郡、三池郡

警視廳及府廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

船員保險法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ船員保險法施行地外ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス地ノ指定

（昭和十五年六月厚生省告示第百三十九號）

關東州、中華民國天津、中華民國青島、中華民國上海、香港

船員保險特別會計事務取扱規程

（昭和十五年六月厚生省訓令第六號）

第一條 船員保險特別會計ニ關スル事務ハ本規程ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二條 歲入ノ徵收ニ關シテハ保險院長官、北海道廳長官、府縣知事（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ）及廳府縣健康保險出張所長ヲ歲入徵收官トス

第三條 歲入徵收官ハ保險料、督促手數料及延滯金ノ徵收ニ付テハ徵收補助簿ヲ備ヘ各納入ノ住所氏名、調定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額及調定濟收入濟又ハ不納缺損處分ノ年月日其ノ他必要ナル事項ヲ登記スヘシ

前項ノ徵收補助簿ハ保險院長官タル歲入徵收官ニ在リテハ之ヲ各道府縣別ニ編綴シ保險院長官以外ノ歲入徵收官ニ在リテハ之ヲ各郡市區別ニ整理シ其末尾ニ計ヲ附スヘシ

第四條 歲入徵收官ハ領收濟通知書（出納官吏拂込ノ分ヲ除ク）、領收濟報告書（本規程第十五條ノ規定ニ依リ現金領收證書ノ原符ヲ以テ代用スル場合ニ於テハ其ノ原符）及歲入組入報告書ニ基キ收入濟額日計表ヲ作製スヘシ

第五條 歲入徵收官ハ日本銀行ヨリ領收濟通知書及歲入組入報告書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ額ヲ支出官ニ通知スヘシ

第六條 歲入徵收官ハ調定超過ニ依ル過納又ハ調定外誤納ヲ生シタル場合ニ於テハ過誤納額整理簿ヲ備ヘ年度、科目、金額、事由、納入ノ住所氏名、還付又ハ充當ノ顚末其ノ他必要ナル事項ヲ登記スヘシ

第七條 歲入徵收官（保險院長官タル歲入徵收官ヲ除ク）ハ船員保險法第十二條第二項ノ規定ニ依リ滯納處分ヲ市町村ニ請求シタル場合ニ於テハ處分請求滯納者整理簿ヲ備ヘ年度、科目、金額、納期、請求市町村、滯納者ノ住所氏名、督促狀發付年月日及指定期限其ノ他必要ナル事項ヲ登記シ處理ノ顚末ヲ明瞭ナラシムヘシ

第八條 歲入徵收官不納缺損處分ヲ爲シタルモノニ付テハ納入ノ住所氏名、科目、金額、事由及保險料ニ付テハ所屬年月等ヲ記載シタル書類ヲ徵收報告書ニ添付スヘシ

第九條 歲入徵收官ハ出納官吏、郵便局又ハ日本銀行ニ於テ現金收納後納入告知書又ハ納付書ニ記載セル年度、所管、會計名又ハ款項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ出納官吏、取纏郵便局又ハ日本銀行ニ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第十條 保管金取扱規程第十六條及政府保管有價證券取扱規程第二十條ノ主務官廳ハ保險院、北海道廳、府縣（東京府ニ在リテハ警視廳）及廳府縣健康保險出張所トス

第十一條 每年度ノ支拂豫算ハ保險院長官、北海道廳長官府縣知事及廳府縣健康保險出張所長ニ之ヲ令達ス

第十二條 支出官（保險院長官タル支出官ヲ除ク）ハ歲入金ノ受入ニ依ル支拂元受高ヲ保險院長官タル支出官ノ支拂元受高ニ轉換ヲ爲シ其ノ旨直ニ保險院長官ニ通知スヘシ但シ差當リ支拂ニ必要ナル資金ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 支出官（保險院長官タル支出官ヲ除ク）ハ當該年度最終ノ小切手ヲ振出シタルトキハ直ニ其ノ支拂元受高ノ殘額ヲ保險院長官タル支出ノ支拂元受高ニ轉換シ其ノ金額及當該年度ノ支出濟總額ヲ保險院長官ニ通知スヘ

シ

第十四條　北海道廳長官、府縣知事及廳府縣健康保險出張所長ハ別記樣式ニ依リ歲入歲出決定計算報告書ヲ調製シ翌年度六月十五日迄ニ之ヲ保險院長官ニ送付スヘシ

保險院長官ハ前項ノ報告書及自己ノ取扱ニ係ル分（前項別記樣式ニ依ル）ヲ取纏メ歲入歲出決定計算總報告書ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ厚生大臣ニ送付スヘシ

第十五條　收入官吏納入告知書ニ依ラスシテ現金ヲ領收シタル場合ニ於ケル領收濟報告書ハ現金領收證書ノ原符ヲ以テ代用スヘシ

別記樣式

昭和何年度船員保險特別會計歲入歲出決定計算報告書

歲入

科目	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額	備考
何々（款）	円	円	円	円	
何々（項）					
何々（目）					
合計					

第十六條　出納官吏ノ帳簿及金櫃ノ檢查員及立會人ハ出納官吏ニ非サル者ノ中ヨリ之ヲ命スヘシ

第十七條　本令ニ規定セサルモノニ付テハ昭和十三年一月厚生省訓令第一號會計事務取扱規程ニ依ル但シ同令第十二條及第二十五條ニ厚生省又ハ厚生大臣トアルハ保險院長官トス

附　則

本規程ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ適用ス

備考

保險院ニ於テハ總報告書調製ノ場合ハ豫算額及豫算額ニ比シ收入濟額ノ差欄ヲ設置スルコト

歲出

科目	豫算額	流用增△減額	豫算現額	支出濟額	翌年度繰越額	不用額	備考
何々（款）	円	円	円	円	円	円	
何々（項）							
何々（目）							
計							

備考

流用增減額、不用額及翌年度繰越額アル場合ハ各目ニ付其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スルコト

船員保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域

（昭和十五年五月厚生省告示第百二十六號）

第一次　船員保險審査會

名稱	位置	管轄區域
東京第一次船員保險審査會	東京府　東京市	東京府、神奈川縣、新潟縣、埼玉縣、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、靜岡縣、山梨縣
名古屋第一次船員保險審査會	愛知縣名古屋市	愛知縣、三重縣、岐阜縣、長野縣、福井縣、石川縣、富山縣
大阪第一次船員保險審査會	大阪府　大阪市	大阪府、京都府、兵庫縣、奈良縣、滋賀縣、和歌山縣、德島縣、高知縣
廣島第一次船員保險審査會	廣島縣　廣島市	廣島縣、鳥取縣、島根縣、岡山縣、山口縣、香川縣、愛媛縣
福岡第一次船員保險審査會	福岡縣　福岡市	福岡縣、熊本縣、長崎縣、大分縣、佐賀縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣
仙臺第一次船員保險審査會	宮城縣　仙臺市	宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣
札幌第一次船員保險審査會	北海道　札幌市	北海道

第二次　船員保險審査會

名稱	位置
第二次船員保險審査會	東京府東京市

船員保險審査會職員旅費手當支給規則

（昭和十五年六月勅令第四百三十號）

第一條　船員保險審査會ノ會長及委員其ノ資格ヲ以テ旅行スルトキハ在職官吏タル者ニハ其ノ本官相當ノ旅費ヲ、其ノ他ノ者ニハ別表ニ依ル旅費ヲ支給ス但シ第三條ノ規定ニ依リ日當ヲ受クル場合ニ於テハ別表ニ依ル日當ヲ支給セス

（別表）

種類	鐵道賃及船賃	車馬賃（一里ニ付）	日當（一日ニ付）	宿泊料（一夜ニ付）	食卓料（一夜ニ付）
第一次船員保險審査會委員	二等	七十五錢	三圓	五圓	二圓
第二次船員保險審査會委員	二等	一圓二十錢	六圓	九圓	三圓

備考

鐵道賃及船賃ハ運賃等級ヲ二階級ニ區分スル場合ニハ上級ノ運賃トシ、其ノ等級ヲ區分セサル場合ニハ其ノ乘車又ハ乘船ニ要スル運賃トス

第二條　本令ニ依ル旅費ハ會議ノ爲招集セラレタル場合ニ於テハ會議地又ハ會議地ヲ距ル三里以內ノ地ニ居住スル者ニハ之ヲ支給セス

第三條　船員保險審査會ノ委員其ノ職務ヲ執行シタルトキハ第一次船員保險審査會ノ委員ニ對シテハ七圓、第二次船員保險審査會ノ委員ニ對シテハ十五圓ノ日當ヲ支給ス但シ官吏トシテ委員タル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條　本令ニ定ムルモノノ外旅費ノ支給ニ關シテハ內國旅費規則ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令第四十九條ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官以外ノモノカ受取リタルモノニ付テノ保險給付ニ關スル決定ニ不服アル場合ニ於テ其ノ審査ヲ爲ス第一次船員保險審査會ノ指定

（昭和十五年五月 厚生省告示百五十六號）

一　審査ノ請求ヲ爲ス者ノ住所又ハ居所カ內地ニ在ル場合ニ在リテハ其ノ住所地又ハ居所地ヲ管轄スル第一次船員保險審査會

二　前號以外ノ場合ニ在リテハ福岡第一次船員保險審査會

口頭審問ノ爲船員保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件

（昭和十五年六月 厚生、內務省令第二號）

第一條　船員保險法施行令第五十二條ノ規定ニ依リ船員保險審査會ニ口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ對シテハ本令ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條　旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料及食卓料ノ六種トシテ各其ノ順路ニ依リテ之ヲ支給ス但シ天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ順路ニ依リテ旅行シ難キ場合ハ實際ノ經路ニ依ル

第三條　鐵道旅行ニハ鐵道賃及水路旅行ニハ船賃ノ各其ノ最低賃金ニ相當スル額ヲ支給ス

鐵道八十五粁以上、水路五十海里以上ノ旅行ニ在リテハ前項ノ額ノ外普通急行料金ヲ支給ス但シ急行料金ヲ徵セサル線路ニ依ル旅行ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第四條　陸路旅行ニハ一里ニ付車馬賃三十錢ヲ支給ス但シ片道一里未滿ノ陸路旅行ニ付テハ之ヲ支給セス

陸路旅行ノ場合ニ於テ通算上一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨ツ

第五條　日當ハ日數ニ應シ一日ニ付七十錢ヲ支給ス

第六條　宿泊料ハ一夜ニ付二圓ヲ支給ス但シ水路旅行ニ付テハ之ヲ支給セス

第七條　食卓料ハ船賃ノ中ニ食費ヲ含マサルトキ又ハ官用ノ船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ官ヨリ賄ヲ爲ササルトキハ一夜ニ付一圓ヲ支給ス

第八條　旅行中死亡シタルトキハ其ノ居住地ニ至ル旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

第九條　內國旅費規則第五條及第七條ノ規定ハ本令ニ依ル旅費ノ支給ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令第二十二條第六號ノ規定ニ依リ同條第一號乃至第五號ノ者ニ準ズト認ムル者

（昭和十六年五月 厚生省告示第百八十二號）

一　漁船ニ乘組ム砲手ニシテ海技免狀ヲ有スルモノ

二　漁船ニ乘組ム船舶ヲ所有（共有及借入ヲ含ム以下之ニ同シ）スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ニ届出ツヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

二　船舶ノ名稱及種類

三　船舶番號

四　船舶籍港

五　船舶ノ用途

六　船舶ノ總噸數

七　船舶ノ航行區域（漁船ニ在リテハ業務ノ種類）

朝鮮船員保險法施行規則

（昭和十五年三月 朝鮮總督府令第三十一號）

改正　昭和十五年十月 朝鮮總督府令第二百十一號

第一章　被保險者

第一節　被保險者ノ乘組ム船舶

第一條　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有（共有及借入ヲ含ム以下之ニ同シ）スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ニ届出ツヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

二　船舶ノ名稱及種類

三　船舶番號

四　船舶籍港

五　船舶ノ用途

六　船舶ノ總噸數

七　船舶ノ航行區域（漁船ニ在リテハ業務ノ種類）

八　當時ニ於ケル乘組員ノ概數
九　當該船舶ニ乘組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
十　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ト爲リタル年月日及事由

第二條　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタルトキハ船舶所有者タリシ者、所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ第三條ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲スヘキ者アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
二　船舶ノ名稱及種類
三　船舶番號
四　被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有セルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタル年月日及事由

第三條　相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ遞信局ニ屆出ツヘシ

一　新舊船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
二　船舶ノ名稱及種類
三　船舶番號
四　船籍港
五　當該船舶ニ乘組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
六　相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由

第四條　船舶所有者ハ被保險者ノ乘組ム船舶ニ付第一條第一項第一號、第二號、第四號乃至第七號ノ事項ニ付變更アリタルトキハ其ノ旨及變更ノ年月日ヲ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ前條ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第五條　船舶所有者ハ保險料納入告知書ノ送付先ノ變更ヲ希望スルトキハ左ニ揭クル事項ヲ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
二　船舶ノ名稱
三　當該船舶ニ乘組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知

書ノ現在ノ送付先
四　希望スル送付先

第六條　第一條乃至前條ノ屆出ハ船舶所有者ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由スヘシ

第二節　被保險者ノ資格

第七條　被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ前ニ被保險者タリシ者ニシテ最後ニ被保險者タリシ當時船員保險法施行令（以下單ニ令ト稱ス）第八號ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合（以下指定共濟組合ト稱ス）ノ組合員タル被保險者タリシモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際指定共濟組合ノ名稱ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ內地、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際左ニ揭クル事項ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

一　內地、臺灣又ハ關東州ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別
二　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱但シ船員保險法（關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム）第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

第八條　船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ樣式第一號ニ依リ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

前條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ屆書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スヘシ

第九條　船舶所有者ハ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ニ變更アリタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ樣式第二號ニ依リ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一　船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ揭クル船員以外ノ船員カ船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ揭クル船員ト爲ルニ至リタルトキ
二　船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ揭クル船員カ船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ揭クル船員以外

ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三　標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第十條　船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ樣式第三號ニ依リ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第十條ノ二　被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケサルモノノ死亡又ハ行方不明ニ付朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行規則（以下單ニ法ト稱ス）第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム以下之ニ同シ）ニ屆出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ其ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付樣式第三號ノ二ニ依リ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第八號第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條ノ三　被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了又ハ變更ニ付朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法（以下船員法ト稱ス）第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得及喪失ノ屆出竝ニ職務及報酬月額ノ變更ノ屆出及前條ノ屆出ハ遲滯ナク當該管海官廳ヲ經由スヘシ

第十一條　被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ遲滯ナク船舶所有者ニ申出ツヘシ

第十二條　船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ氏名ノ變更ニ付左ニ揭クル事項ヲ遲滯ナク遞信局長ニ屆出ツヘシ

一　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

二　被保險者ノ氏名及生年月日竝ニ乘組ム船舶ノ名稱

三　變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十三條　船員保險法（以下單ニ法ト稱ス）第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所、氏名及生年月日

二　被保險者資格喪失ノ年月日

三　被保險者資格喪失ノ際乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　被保險者資格喪失ノ際指定共濟組合ノ組合員タル者ナルトキハ其ノ共濟組合ノ名稱

五　令第十三條第一項ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

第十四條　法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ住所又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一　住所及氏名

二　變更前ノ住所又ハ氏名及變更ノ年月日

第十五條　法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ハ其ノ旨ヲ遞信局長ニ申請スヘシ

第三節　標準報酬

第十六條　第八條第一項及第十條ノ二第一項ノ規定ニ依ル屆出アリタルトキハ遞信局長ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ之ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第十七條　第九條ノ規定ニ依リ被保險者ノ報酬月額ノ變更ノ屆出アリタルトキハ遞信局長ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ變更シ之ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第十八條　被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケサルモノノ死亡又ハ行衞不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ニ屆出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ船舶所有者標準報酬ヲ決定シタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定カ不當ナルトキハ遞信局長ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上之ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第十九條　被保險者タル海員ノ雇入契約ノ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ直ニ之ヲ變更シ遲滯ナク遞信局長ニ屆出ツヘシ

前條第四項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ノ報酬月額ノ變更ノ爲シタル標準報酬ノ變更カ不當ナル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條　船舶所有者ハ第十六條若ハ第十七條ノ通知ヲ受ケタルトキ、第十八條第一項若ハ第二項ノ決定ヲ爲シタルトキ又ハ前條第一項ノ變更ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スヘシ

第十八條第四項又ハ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二十一條　法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所及氏名

二　現在ノ標準報酬ノ等級

三　希望スル標準報酬ノ等級

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルト同時ニ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ其ノ標準報酬ノ減額ノ申請ハ第十三條ノ申請書ニ前項第二號及第三號ニ揭クル事項ヲ附記シテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ前項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ遞信局長ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スヘシ

第二章　保險給付

第一節　療養ノ給付及傷病手當金

第二十二條　療養ノ給付ハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令（船員法施行令及關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令ヲ含ム以下之ニ同シ）第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後傷病手當金ノ支給ハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令（以下船員法施行令ト稱ス）第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當（船員ノ失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同シ）ヲ船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後之ヲ開始ス

第二十三條　被保險者ハ遞信局長ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師（以下保險醫ト稱ス）ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ樣式第四號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スヘシ

船舶所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付ノ年月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ押捺スヘシ

船舶所有者ハ被保險者ヨリ診療券ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

被保險者ハ第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ記載シタル疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ診療券ヲ遲滯ナク船舶所有者ニ返納スヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ヨリ診療券ノ返納ヲ受ケタルトキハ之ヲ遲滯ナク遞信局長ニ提出スヘシ

第二十四條　被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船員手帳及船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ヲ保險醫ニ呈示スヘシ

第二十五條　保險醫ハ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ呈示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保

險者ニ返付スヘシ

第二十六條　被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ遞信局長ヨリ樣式第五號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クヘシ但シ被保險者タリシ當時第二十三條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

被保險者タリシ者ハ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキ疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テ被保險者タリシ當時第二十三條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケサリシトキハ其ノ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受クヘシ

第二十三條第二項及第四項ノ規定ハ船舶所有者カ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　被保險者タリシ者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所、氏名及生年月日
二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
四　最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
五　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
六　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日

前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ揭クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書ヲ添附スヘシ

第二十八條　被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ遞信局長ヨリ交付ヲ受ケタル診療券（第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券ヲ保險醫ニ呈示スヘシ

被保險者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保險醫ニ申出ツヘシ

第二十九條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ遲滯ナク第六號ニ揭クル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一　氏名及生月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　乘組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶）ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

三　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四　療養ノ給付開始ノ年月日

五　當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル事實竝ニ第三者ノ住所及氏名（第三者ノ住所又ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

六　當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

第三十條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ遞信局長ノ指定シタル藥劑師（以下保險藥劑師ト稱ス）ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受クル保險醫ヨリ處方箋ノ交付ヲ受ケ之ヲ保險藥劑師ニ提出スヘシ

第三十一條　保險醫ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ遲滯ナク第六號ニ揭クル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一　氏名及生月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　乘組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶）ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

三　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四　療養ノ給付開始ノ年月日

五　當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

六　當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十七條第一項第二號乃至第四號ニ揭クル事項

遞信局長保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルトキハ樣式第六號ニ依ル承認書ヲ以付スヘシ

第三十二條　被保險者タリシ者ハ保險醫變更ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所、氏名及生年月日

二　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三　療養ノ給付開始ノ年月日

四　現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

五　保險醫ノ變更ヲ必要トスル事由

六　當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十七條第一項第二號乃至第四號ニ揭クル事項

遞信局長保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルトキハ樣式第六號ニ依ル承認書ヲ以付スヘシ

第三十三條　前條第二項ノ規定ニ依リ遞信局長ノ交付シタル承認書ハ第二十八條第一項ノ診療券ト看做ス

第三十四條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條第一項第三號（一回ノ費用二十圓ヲ超ユルモノニ限ル）乃至第五號ノ給付ヲ受クルコトノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫（申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滯ナク左ニ揭クル事項及已ムヲ得サリシ事由ヲ管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三　療養ノ給付開始ノ年月日（申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地）

四　現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

五　當該疾病又ハ負傷ノ年月日

六　當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十七條第一項第二號乃至第四號ニ揭クル事項

遞信局長保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルトキハ樣式第六號ニ依ル承認書ヲ以付スヘシ

第三十五條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地（申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三　療養ノ給付開始ノ年月日（申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地）

四　現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遅滞ナク第一號ノ事項及入院シタル診療所ノ名稱、所在地竝ニ已ムヲ得サリシ事由ヲ管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ届出ツヘシ

一　前條第一項各號ニ揭クル事項
二　入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地

前項ノ申請書又ハ届書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

遞信局長診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ樣式第七號ニ依ル承認書ヲ交付スヘシ

第三十六條　遞信局長カ被保險者タリシ者ニ對シ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十七條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ遞信局長ヨリ交付ヲ受ケタル診療所入院承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ入院スヘキ診療所カ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診

療所入院承認書ハ第二十八條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第三十八條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハサルニ至リタルトキハ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルコトヲ得

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リタルトキハ遲滯ナク左ニ揭クル事項ヲ入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ届出ツヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
二　診療所入院ノ承認アリタル年月日
三　診療所入院ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地
四　入院シタル診療所ノ名稱及所在地竝ニ入院ノ年月日

第三十九條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第二十三條第二號ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スヘシ

一　氏名及生年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
二　乘組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶）ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
三　職務及標準報酬ノ等級（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級）
四　被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
五　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
六　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ旨
七　疾病又ハ負傷ノ經過
八　診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地竝ニ其ノ診療ヲ受ケントスル事由
九　當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノ開始アリタル者ニ在リテハ其ノ開始ノ年月日及其ノ際診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地
十　船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後承認ヲ受ケントスル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ期間ヲ經過シタル事由
十一　當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ住所及氏名（第三者ノ住所又ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨）
十二　被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ遞信局長ヨリ發セラルヘキ書類ノ送付先

前項ノ申請書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲナス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

二　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十三條第二項ノ規定ハ前項第二號（但書ヲ除ク）ニ掲クル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ申請書ヲ診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第四十一條　令第二十三條第一號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一　第三十九條第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ掲クル事項

二　療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル事由

三　診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地

四　受ケタル診療ノ內容、期間及之ニ要シタル費用ノ額

前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ第二號又ハ第三號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　前項第四號ニ掲クル費用ノ額ニ關スル證憑書類

二　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明者

三　當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十三條第二項ノ規定ハ前項第三號（但書ヲ除ク）ニ

掲クル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條　令第二十三條第二號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一　氏名及年月日竝ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二　受ケタル診療ノ內容、期間及之ニ要シタル費用ノ額

三　被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ依ル療養費ニ關シ遞信局長ヨリ發セラルヘキ書類ノ送付先

前項ノ申請書ニハ前項第二號ニ掲クル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添附スヘシ

第四十三條　令第二十三條第三號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一　第三十九條第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ掲クル事項

二　緊急ナリシコトノ事由

三　手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所及氏名

四　受ケタル手當ノ內容、期間及之ニ要シタル費用ノ額

第四十一條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ハ之ヲ準用ス

第四十四條　被保險者タリシ者ハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ第十二號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所、氏名及生年月日

二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級

五　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

六　療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間

七　當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受クルトキハ療養ノ給付開始ノ年月日

八　當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ船舶所有者ノ扶助開始ノ年月日及其ノ扶助ノ義務カ終了シタル場合ニ於テハ其ノ年月日

九　當該疾病又ハ負傷ニ付キ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ支

給ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ理由

十　診療所ニ收容セラレタル被保險者ニ在リテハ其ノ診療所ノ名稱、所在地及之ニ收容セラレタル期間竝ニ專ラ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保險者タリシ者トノ續柄又ハ關係

十一　第六號ニ揭クル期間內ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二回目以後ノ分ノ傷病手當金ノ支給ノ請求書ニ付テハ第二號ニ揭クル書類ヲ添附スルコトヲ要セス

一　前項第六號ニ揭クル期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書

二　當該疾病又負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ前項第四號、第八號及第九號ニ揭クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十三條　第二項ノ規定ハ第一項第九號後段ニ揭クル事項ニ關スル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ法施行地外ノ地ニシテ別ニ指定スル地ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シテハ法第五十三條第一項但書ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十六條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ內地又ハ臺灣ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二節　養老年金

第四十七條　養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ養老年金證書ヲ交付ス

養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所、氏名及生年月日

二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル當時第五十一條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

五　第六十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ受ケントスル者ニ在リテハ其ノ旨

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一　戶籍ノ抄本

二　印鑑票

三　前項第五號ニ揭クル者ニシテ癈疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其證書

第四十八條　養老年金證書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載ス

一　證書ノ記號番號

二　養老年金受給者ノ氏名、生年月日及男女ノ別

三　養老年金ノ額

四　養老年金ノ支給開始ノ年月

第四十九條　養老年金ハ每年一月、四月、七月及十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スヘカリシ養老年金又ハ養老年金受給者カ死亡シタル場合ニ於テノ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非サル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

第五十條　養老年金受給者ハ養老年金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ別ニ指定スル官署ニ就キ養老年金證書ヲ呈示シテ其ノ支給ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ使用スヘキ印章ハ第四十七條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章タルコトヲ要ス

第五十一條　傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受クル者ニハ法第三十八條ノ規定ニ依リ其ノ支給ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間ニ係ル養老年金ノ支給ヲ停止ス

第五十二條　養老年金受給者ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ第五十五條第一項ノ請求書ヲ提出シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　住所及氏名

二　養老年金證書ノ記號番號

三　傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四　傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給開始ノ年月日

第五十三條 養老年金受給者ハ第五十一條ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一 住所及氏名
二 養老年金證書ノ記號番號
三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
四 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給終了ノ年月日

第五十四條 養老年金受給者ハ被保險者ト爲リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一 住所及氏名
二 養老年金證書ノ記號番號
三 被保險者資格取得ノ年月日
四 乘組ム船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

前項ノ規定ハ養老年金受給者カ內地、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 法第三十九條第二項ノ規定ニ依ル養老年金ノ額ノ改正ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一 住所及氏名
二 養老年金證書ノ記號番號
三 被保險者資格喪失ノ年月日
四 被保險者資格喪失ノ際乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
五 被保險者ノ資格喪失當時第五十一條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

前項ノ請求書ニハ養老年金證書ヲ添附スヘシ

第五十六條 養老年金受給者ハ被保險者ト爲リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一 住所及氏名
二 養老年金證書ノ記號番號
三 變更ノ氏名及變更ノ年月日

前項ノ屆書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一 養老年金證書
二 戶籍ノ抄本又ハ氏名ノ變更ニ關スル府尹邑面長ノ證明書

遞信局長ハ前項ノ屆出アリタルトキハ養老年金證書ヲ訂正ノ上之ヲ養老年金受給者ニ交付スヘシ

第五十七條 養老年金受給者ハ其ノ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ屆出ツヘシ

一 住所及氏名
二 養老年金證書ノ記號番號
三 變更前ノ住所及變更ノ年月日

第五十八條 養老年金受給者ハ第四十七條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章ヲ變更セントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル屆書ニ新印鑑票ヲ添ヘ之ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一 住所及氏名
二 養老年金證書ノ記號番號

第五十九條 養老年金受給者ハ每年二月末日迄ニ戶籍ノ抄本ヲ遞信局長ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ養老年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル戶籍ノ抄本ハ提出ノ日前一月以內ニ作成セラレタルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ル戶籍ノ抄本ノ提出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ提出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ一時差止ムコトアルヘシ

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ養老年金受給者ハ養老年金證書ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

一 養老年金證書ヲ亡失シタルトキ
二 養老年金證書カ毀損汚斑シテ不判明トナリタルトキ

前項ノ規定ニ依リ請求ヲ爲サントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一 住所及氏名
二 養老年金證書ノ記號番號
三 亡失シタルトキハ其ノ事實

第一項第二號ノ場合ニ於テハ前項ノ請求書ニ養老年金證書ヲ添附スヘシ

第六十一條 養老年金證書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ養老年金證書ハ其ノ効力ヲ失フ

第六十二條 養老年金受給者カ死亡シタルトキハ其ノ遺族ハ遲滯ナク左ニ揭クル事項ヲ遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ其ノ者ニ於テ法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ノ請求ヲ爲サントスル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一 屆出者ノ住所及氏名
二 養老年金受給者ノ氏名及養老年金證書ノ記號番號
三 養老年金受給者ノ死亡ノ年月日

前項ノ屆書ニハ養老年金證書ヲ添附スヘシ但シ之ヲ添附スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第六十三條　被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十七條但書ノ規定ニ依リ一時金ノ支給ヲ受クヘキ者ヲ豫告ニ依リ指定セントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル豫告書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ其ノ指定ヲ變更セントスルトキ亦同シ

一　豫告者ノ住所、氏名及生年月日

二　豫告者カ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號番號

三　豫告者カ養老年金受給者ニ非サルトキハ被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日、最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱、現ニ被保險者タル者ニ在リテハ其ノ乘組ム船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　指定セラルル者ノ住所、氏名及生年月日竝ニ豫告者トノ續柄又ハ關係

前項ノ豫告書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一　指定セラルル者ト豫告者トノ續柄ヲ證スヘキ書類

二　豫告者ニ押捺シタル印章ニ付テノ府尹邑面長ノ印鑑證明書

第六十四條　前條ノ指定ヲ取消サントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル豫告取消書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　前條第一號乃至第三號ニ掲クル事項

二　指定セラレタル者ノ氏名

前項ノ届書ニハ之ニ押捺シタル印章ニ付テノ府尹邑面長ノ印鑑證明書ヲ添附スヘシ

第六十五條　法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　請求者ノ住所、氏名及生年月日

二　養老年金受給者ノ氏名及死亡ノ年月日

三　養老年金證書ノ記號番號

四　養老年金受給者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五　請求者カ令第十七條各號ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一　指定セラルル者ト豫告者トノ續柄ヲ證スヘキ書類

二　豫告者ニ押捺シタル印章ニ付テノ府尹邑面長ノ印鑑證明書

認ムル旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一　養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

二　養老年金受給者ノ死亡ニ關シ府尹邑面長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シアル事項ノ府尹邑面長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類

三　請求者カ養老年金受給者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ナルトキハ其ノ事實ヲ認メ得ヘキ書類

四　請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫

五　養老年金證書

第六十六條　法第三十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　請求者ノ住所、氏名及生年月日

二　被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日

三　被保險者タリシ者カ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）

四　被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五　請求者カ令第十七條各號ニ掲クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨

六　請求者カ令第十七條第三號ニ掲クル者ナルトキハ前號ニ掲クル事項ノ外自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三節　癈疾年金及癈疾手當金

第六十七條　養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ癈疾年金ハ之ヲ支給セス養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル者カ同時ニ癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇

ニ依リ一ノ年金ヲ支給ス

第六十八條 癈疾年金又ハ癈疾手當金ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十七條ニ規定スル期間經過ノ日（其ノ期間内ニ癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ治癒シタルトキハ其ノ治癒シタル日）ヨリ十日以内ニ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所、氏名及生年月日
二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
四　癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日竝ニ治癒シタリヤ否ヤ及治癒シタルトキハ其ノ年月日
五　癈疾ノ狀態ノ程度
六　癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ醫科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地
七　癈疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ住所及氏名（第三者ノ住所又ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一　癈疾ノ狀態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書
二　印鑑票

第一項ノ請求書ハ同項第六號ニ揭クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ之ヲ提出スヘシ

第六十九條 前條第一項ノ請求書ノ提出アリタルトキハ遞信局長ハ其ノ給付ニ關スル決定ヲ爲シ之ヲ請求者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ癈疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ遞信局長ハ請求者ニ癈疾年金證書ヲ交付スヘシ

第七十條 癈疾年金證書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載ス

一　證書ノ記號番號
二　癈疾年金受給者ノ氏名、生年月日及男女ノ別
三　癈疾年金ノ額
四　癈疾年金ノ支給開始ノ年月

第七十一條 癈疾年金受給者ハ每年二月一日ノ現在ニ於ケル癈疾ノ狀態ニ付左ニ揭クル事項ヲ記載シタル届書ヲ同

月末日迄ニ遞信局長ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ癈疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　住所及氏名
二　癈疾年金證書ノ記號番號
三　癈疾ノ狀態ノ程度

前項ノ届書ニハ同項第三號ニ揭クル事項ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ癈疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルヘシ

第七十二條 癈疾年金受給者ハ其ノ癈疾カ癈疾年金ヲ受クル程度ノ狀態ニ該當セサルニ至リタルトキハ左ニ揭クル事項ヲ十日以内ニ遞信局長ニ届出ツヘシ

一　住所及氏名
二　癈疾年金證書ノ記號番號
三　癈疾カ癈疾年金ヲ受クル程度ノ狀態ニ該當セサルニ至リタル年月日（年月日カ不詳ナルトキハ其ノ推定ノ年月日）

前項ノ届書ニハ癈疾年金證書ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出アリタル場合ニ於テハ其ノ期ノ

癈疾年金ハ支給期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第七十三條 第四十九條、第五十條、第五十六條乃至第五十八條及第六十條乃至第六十二條ノ規定ハ癈疾年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第七十四條 第六十三條乃至第六十五條ノ規定ハ法第四十二條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第四節　脫退手當金

第七十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡シタル場合ニ於ケル脫退手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　請求者ノ住所、氏名及生年月日
二　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日
三　被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）
四　被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄

前項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ府尹邑

面長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類

二　請求者カ請求權ヲ有スルコトヲ證スヘキ書類

第七十六條　被保險者タリシ者ハ脫退手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所、氏名及生年月日

二　最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三　最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　第六十八條第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル者ニ在リテハ其ノ旨

第七十七條　第七十五條又ハ前條ノ規定ニ依リ脫退手當金ノ支給ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ脫退手當金カ法附則第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ請求書ニ昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間（昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ內地臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間ヲ含ム以下之ニ同シ）ヲ記載シ左ニ揭クル書類ヲ添附スヘシ

一　被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍ノ抄本

二　昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書又ハ其ノ期間ヲ證スヘキ書類

第七十八條　法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　住所及氏名

二　癈疾年金證書ノ記號番號

三　第七十二條第一項ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲シタル年月日

第五節　死亡手當金

第七十九條　死亡手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一　請求者ノ住所及氏名

二　被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日

三　被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）

四　被保險者ノ資格ヲ喪失シ三月ヲ經過シタル後死亡シタル者ニ在リテハ死亡當時診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所及氏名

五　死亡カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ住所及氏名（第三者ノ住所又ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

六　被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

七　請求者カ令第十七條各號ニ揭クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨

八　請求者カ令第十七條第三號ニ揭クル者ナキトキハ前號ニ揭クル事項ノ外自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

第六十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受ケタルモノカ死亡シタル場合ノ死亡手當金ノ支給ノ請求書ハ第一項第四號ニ揭クル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ之ヲ提出スヘシ

第八十條　第六十三條及第六十四條ノ規定ハ死亡手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第六節　雜則

第八十一條　本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ屆書ニ船舶所有者若ハ府尹邑面長ノ證明書又ハ醫師若ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ其ノ申請書、請求書又ハ屆書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ證明書又ハ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八十二條　船舶所有者ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ屆書ニ添附スヘキ證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ證明書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得ヘキ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十三條　保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ屆書

ニ添附スヘキ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ第八十一條ノ規定ニ依リ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得ヘキ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十四條 遞信局長ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ保險給付ニ關シ帳簿書類ヲ閱覽シ、說明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第八十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ保險給付ニ關シ遞信局長ニ對シ申請、請求又ハ屆出ヲ爲ス場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請書、請求書又ハ屆書ニ添附スヘキ書類ハ申請、請求又ハ屆出ノ際之ヲ提出スヘシ但シ遞信局長ニ於テ其ノ必要ナシト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

口頭ヲ以テ申請、請求又ハ屆出ヲ爲シタル者アル場合ニ於テ遞信局長ハ必要アリト認ムルトキハ其ノ申請、請求又ハ屆出ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作成シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名捺印セシムヘシ

第八十六條 被保險者、被保險者タリシ者又ハ其ノ他ノ者ヨリ遞信局長ニ提出スル保險給付ニ關スル申請書、請求

書又ハ屆書ハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第三章 朝鮮船員保險審查會ノ審查手續

第八十七條 審查ノ請求ヲ爲サントスル者ハ審查請求書ニ記名捺印シ證據書類アルトキハ之ヲ添附シ朝鮮船員保險審查會（以下單ニ審查會ト稱ス）ニ提出スヘシ

審查會ニ對スル審查請求書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一 審查請求人ノ住所、氏名及生年月日竝ニ審查請求人カ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ非サルトキハ其ノ職業及被保險者又ハ被保險者タリシ者トノ續柄又ハ關係

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ乘組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶）ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

三 保險給付ニ關スル處分ノ通知ヲ受ケタル年月日

四 請求ノ事件及一定ノ申立

五 請求ノ理由

六 證據方法

七 年月日

第八十八條 審查會ハ審查ノ請求ヲ受ケタルトキハ遞信局長ニ審查請求書ノ寫ヲ送付スヘシ

遞信局長ハ前項ノ審查請求書ノ寫ノ送付ヲ受ケタルトキハ十日以內ニ答辯書及證據書類ヲ審查會ニ提出スヘシ

第八十九條 審查會ハ必要アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ當事者交互ニ辯駁書及答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第九十條 審查ノ決定書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載スヘシ

一 審查請求人ノ住所、氏名及生年月日

二 決定主文

三 決定ノ理由

四 年月日

前項ノ決定書ノ原本ニハ會長ハ署名捺印スヘシ

第九十一條 審查會ハ前條第一項ノ決定書ノ原本ニ基キ正本及副本各一通ヲ作成シ審查會ノ印ヲ押捺シテ遲滯ナク正本ハ之ヲ審查請求人ニ交付シ副本ハ之ヲ遞信局長ニ送付スヘシ

審查請求人ニ對シ決定書ヲ交付スルコトヲ得サルトキハ審查會ハ其ノ決定書ヲ揭示板ニ揭示スヘシ

前項ノ揭示アリタル後七日ヲ經過シタルトキハ決定書ノ交付アリタルモノト看做ス

第九十二條 審查請求人ハ審查會ニ對シ決定書ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第四章 雜 則

第九十三條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ樣式第八號ニ依ル

第九十四條 道ノ官吏カ保險料滯納處分ノ爲財產ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テハ樣式第九號ニ依ル證票ヲ携帶スヘシ

第九十五條 法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ保險料其ノ他法ニ依ル徵收金納入ノ告知及督促ニ關スル書類ニ付テハ朝鮮總督府遞信局（以下單ニ遞信局ト稱ス）ニ於テ滯納處分ニ關スル書類ニ付テハ道又ハ府邑面ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十六條 令第三十五條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載シ船舶毎ニ之ヲ備フヘシ

一 被保險者ノ氏名

二 控除シタル保險料ノ所屬月分及金額

三 控除シタル年月日

第九十七條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ毎月ノ保

険料ヲ其ノ月ノ十日迄ニ納付スヘシ

第九十八條 船舶所有者ハ船員保険ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

第九十九條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ事項ニシテ左ニ揭クルモノニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

一 第八條第一項、第九條、第十條、第十條ノ二及第十二條ノ規定ニ依ル屆出（船長タル被保険者ニ關スルモノヲ除ク）ヲ爲スコト

二 第十八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ決定ヲ爲スコト

三 第十九條第一項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ變更ヲ爲スコト

四 第二十條ノ規定ニ依リ船員手帳ニ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ爲スコト

五 第二十三條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲スコト

六 第二十三條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ爲スコト

七 第三十九條第二項、第四十一條第二項及第四十三條第二項ノ規定ニ依ル證明書ノ交付（被保険者タリシ者ニ對スルモノヲ除ク）ヲ爲シ又ハ其ノ交付ニ代フル記載ヲ爲スコト

第五章 罰則

第百條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第一條乃至第四條ノ規定ニ依ル屆書ヲ怠リ又ハ其ノ屆書ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者

二 第十八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者

三 第十九條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ變更ヲ怠リ又ハ不當ノ變更ヲ爲シタル者

四 第二十條ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者

五 第二十三條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲スコト

六 故ナク診療券ノ交付ヲ爲シ又ハ診療券ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者

七 第二十三條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ爲スコト

リ準用セラルル第二十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者

八 第二十三條第六項ノ規定ニ依ル診療券ノ提出ヲ怠リタル者

九 第八十二條ノ規定ニ違反シ又ハ同條ノ請求ニ對シ虛僞ノ證明ヲ爲シタル者

十 保険料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付若ハ記載ヲ怠リ虛僞ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保険者ニ對シ其ノ閱覽ヲ拒ミタル者

十一 第九十八條ノ規定ニ違反シタル者

第百一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十四條、第二十九條、第三十八條第二項、第五十二條、第五十四條又ハ第七十二條第一項ノ規定ニ依ル屆出ヲ怠リ又ハ其ノ屆書ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者

二 第七條又ハ第十一條ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リ又ハ虛僞ノ申出ヲ爲シタル者

三 第二十三條第五項ノ規定ニ依ル診療券ノ返納ヲ怠リタル者

第百二條 遞信局ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者ハ第八十四條ノ規定ニ依ル閱覽、訛明又ハ報告ニ依リ知得シタル他人ノ秘密ヲ故ナク漏洩シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第百三條 第一條乃至第七條、第十一條、第九十八條、第百條及第百一條ノ規定ハ昭和十五年三月一日ヨリ、第八條乃至第十條、第十二條乃至第二十一條及第九十九條ノ規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ、第二十二條乃至第九十七條及第百二條ノ規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百四條 本令發布ノ際現ニ被保険者ノ乘組ム船舶ヲ所有スル船舶所有者ハ其ノ所有スル船舶ニ付第一條第一號乃至第九號ニ揭クル事項ヲ其ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シテ昭和十五年三月三十一日迄ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第百五條 昭和十五年五月一日ニ於テ現ニ被保険者タル船員ヲ雇傭スル船舶所有者ハ其ノ雇傭スル船員タル被保険者ニ付同日現在ニ依リ樣式第一號ニ準スル屆書ヲ昭和十五年五月三十一日迄ニ遞信局長ニ提出スヘシ

昭和十五年五月一日ニ於テ施行地外ニ在ル船舶ニ乘組ム